



ハードウェアおよびソフトウェア ガイド

HP Compaq ノートブック シリーズ

製品番号 : 372368-292

2005年3月

このガイドでは、お使いのノートブック コンピュータで使用可能なハードウェアおよびソフトウェアの機能の確認方法、アクセス方法、および使用方法について説明します。また、コンピュータの電源およびセキュリティを管理する方法、およびコンピュータの持ち運びの際に役立つ要件についても説明します。

© Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeおよびAcrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標です。

SDロゴは、その所有者の商標です。

Bluetoothは、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいてHewlett-Packard Companyが使用しています。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ハードウェアおよびソフトウェアガイド

HP Compaqノートブックシリーズ

改訂第1版 2005年3月

初版 2005年2月

参照番号：nc8200、nw8200、nx8200

製品番号：372368-292

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 各部の名称

表面の各部	1-1
ランプ	1-1
ポインティング デバイス	1-3
ボタン	1-5
キー	1-7
前面の各部	1-8
背面の各部	1-9
右側面の各部	1-10
左側面の各部	1-11
裏面の各部	1-13
その他のハードウェア コンポーネント	1-15
その他のコンポーネント	1-16
ラベル	1-16

2 電源

電源ボタン類とランプの位置	2-1
電力の供給	2-3
スタンバイおよびハイバネーション	2-4
スタンバイ	2-4
ハイバネーション	2-5
スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行	2-6
デフォルトの電源設定	2-8
ノートブック コンピュータまたはディスプレイの オン/オフ	2-8
スタンバイからの復帰または起動	2-10
ハイバネーションからの復帰または起動	2-11
緊急停止手順の使用	2-12

電源オプション	2-12
[電源オプション] ウィンドウへのアクセス	2-13
[電源メーター] アイコンの表示	2-13
電源設定の指定または変更	2-14
セキュリティ パスワードの使用	2-14
プロセッサ パフォーマンスの制御 (一部のモデルのみ)	2-15
バッテリ パック	2-16
バッテリ パックの概要	2-17
メイン バッテリ パックの装着	2-18
メイン バッテリ パックの取り外し	2-19
バッテリ パックの充電	2-20
バッテリ パックの充電の監視	2-22
ローバッテリ 状態の対処	2-23
バッテリ ゲージの調整	2-26
バッテリ の節電	2-30
バッテリ パックの保管	2-32
使用済みのバッテリ パックの処理	2-33
3 ポイントティング デバイスおよびキーボード	
ポイントティング デバイス	3-1
タッチパッドの使用	3-3
ポイントティング スティックの使用 (一部のモデルのみ)	3-4
マウスのプロパティ	3-5
ホットキー	3-6
ホットキーのクリック リファレンス	3-7
ホットキー コマンドの使用	3-7
テンキー	3-10
内蔵テンキーの使用	3-11
Quick Launch Buttons	3-14
Quick Launch Buttons の位置	3-14
Quick Launch Buttons ソフトウェアの使用	3-15
Info Center	3-20
4 マルチメディア	
オーディオ機能	4-1
オーディオ入力 (マイク) コネクタの使用	4-3
オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタの使用	4-3
音量の調整	4-4

4-5	ビデオ機能
4-6	Sビデオ出力コネクタの使用
4-7	モニタまたはプロジェクタの接続
4-8	マルチメディア ソフトウェア
4-8	著作権に関する警告について
4-9	ソフトウェアのインストール
4-10	自動再生の有効化
4-10	DVDの地域設定の変更
5-1	ドライブの取り扱い上の注意
5-3	IDE ドライブ ランプ
5-4	メイン ハード ドライブ
5-4	メイン ハード ドライブの取り外し
5-6	メイン ハード ドライブの再取り付け
5-8	マルチベイ II ドライブ
5-8	マルチベイ II 固定ネジ
5-9	マルチベイ II ハード ドライブ
5-11	マルチベイ II オプティカル ドライブ
6-1	PCカード
6-2	PCカードとは
6-2	PCカードの挿入
6-4	PCカードの取り出し
7-1	SDカード
7-2	SDカードとは
7-2	SDカードの挿入
7-3	SDカードの取り出し
8-1	メモリ モジュール
8-1	メモリ モジュールとは
8-2	拡張メモリ モジュール スロット
8-7	メイン メモリ モジュール スロット
8-13	ハイバネーション ファイル

9 USBデバイス

USBとは.....	9-1
USBデバイスの接続.....	9-2
オペレーティング システムおよびソフトウェア.....	9-2
USBレガシー サポート	9-3

10 モデムおよびネットワーク接続

内蔵モデム	10-1
モデム ケーブルの接続.....	10-2
各国仕様のモデム ケーブルアダプタの使用	10-3
モデムの使用地域の選択	10-4
プリインストールされている通信ソフトウェア	10-7
ネットワーク	10-7

11 無線（一部のモデルのみ）

無線ローカルエリア ネットワーク（一部のモデルのみ）	11-3
社内無線LANへの無線ノートブック コンピュータの 接続	11-4
公共の無線LANへの無線ノートブック コンピュータの 接続	11-4
自宅での無線LANの設定	11-5
無線LAN接続の使用	11-6
無線セキュリティ機能の使用	11-7
無線ソフトウェアのインストール（オプション）	11-7
無線デバイスのトラブルシューティング	11-9
Bluetooth（一部のモデルのみ）.....	11-10
デバイスの電源状態	11-12
デバイスの電源投入	11-14
デバイスの電源切断および無効化	11-15
赤外線通信	11-16
赤外線転送の設定	11-17
赤外線転送中のスタンバイの使用	11-17
Mobile Printing.....	11-18

12 セキュリティ

セキュリティの機能	12-1
[Computer Setup]でのセキュリティ設定	12-3
パスワード	12-4
HPパスワードとWindowsのパスワード	12-4
HPパスワードとWindowsのパスワードに関するガイドライン	
HP管理者パスワード	12-6
HP管理者パスワードの設定	12-7
HP管理者パスワードの入力	12-8
電源投入時パスワード (Power-On Password)	12-9
電源投入時パスワードの設定	12-9
電源投入時パスワードの入力	12-10
再起動時の電源投入時パスワードの要求	12-11
DriveLock (ドライブロック)	12-12
DriveLockパスワードの設定	12-13
DriveLockパスワードの入力	12-14
再起動時のDriveLockパスワードの要求	12-15
DriveLockパスワードの変更	12-16
DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除	12-17
デバイスの無効化	12-18
システム情報	12-19
ウィルス対策ソフトウェア	12-20
ファイアウォールソフトウェア	12-21
Windows XPの緊急セキュリティ アップデート	12-23
スマートカードリーダーの使用 (一部のモデルのみ)	12-24
スマートカードリーダーの保護	12-25
スマートカードの挿入	12-25
スマートカードの取り出し	12-26
HP ProtectTools内蔵セキュリティ マネージャ	
(一部のモデルのみ)	12-27
Embedded Security for ProtectTools	12-27
Credential Manager for ProtectTools	12-28
BIOS Configuration for ProtectTools	12-29
Smart Card Security for ProtectTools	12-30
別売のセキュリティ ロック ケーブル	12-31

13 [Computer Setup]

[Computer Setup]へのアクセス	13-2
[Computer Setup]のデフォルト設定	13-3
[Computer Setup]のメニュー	13-4
[File] (ファイル) メニュー	13-4
[Security] (セキュリティ設定) メニュー	13-5
[Tools] (ツール) メニュー	13-6
[Advanced] (詳細設定) メニュー	13-6

14 ソフトウェアの更新と修復

ソフトウェアの更新	14-1
ノートブック コンピュータ情報へのアクセス	14-2
ソフトウェアの更新およびHPのWebサイト	14-3
最新のROMのダウンロード	14-3
その他のHPソフトウェアのダウンロード	14-5
システムの復元	14-6
データの保護	14-6
Altiris Local Recovery	14-7
[システムの復元]ポイントの使用	14-8
アプリケーションの修復または再インストール	14-10
ハードドライブからのアプリケーションの 再インストール	14-10
オペレーティング システムの修復	14-11
オペレーティング システムの再インストール	14-12
デバイス ドライバとその他のソフトウェアの 再インストール	14-13

15 ノートブック コンピュータの手入れ

温度	15-2
キーボード	15-3
ディスプレイ	15-4
タッチパッド	15-4
別売の外付けマウスの清掃	15-5

16 持ち運びおよび送付

持ち運びおよび送付の準備	16-1
持ち運びの際の注意	16-2

A 仕様

作業環境	A-1
定格入力電源	A-2

B マルチブート

デフォルトのブート シーケンス	B-2
[Computer Setup]でのブート可能なデバイスの設定	B-4
マルチブートの結果	B-5
マルチブート設定	B-6
新しいデフォルトのブート シーケンスの設定	B-6
MultiBoot Express画面の設定	B-7
MultiBoot Express設定の入力	B-8

C HP Client Management Solutions

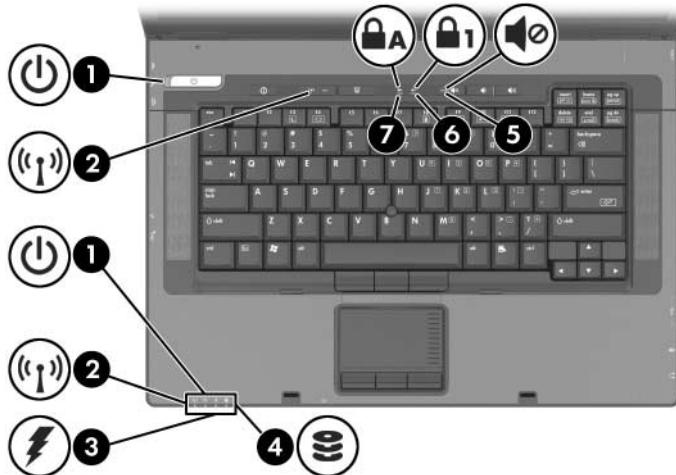
出荷時設定の変更	C-2
ソフトウェアの管理とアップデート	C-3
HP Client Manager Software	C-3
Altiris PC Transplant Pro	C-5
System Software Manager	C-6

索引

各部の名称

表面の各部

ランプ



名称	機能
① 電源/スタンバイ ランプ（×2）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 点灯：ノートブック コンピュータの電源がオンになっています ■ 点滅：コンピュータがスタンバイ モードになっています
② 無線ランプ（×2）	内蔵無線デバイス（一部のモデルのみ）がオンになっているときに点灯します

（続く）

名称	機能
③ バッテリ ランプ	<ul style="list-style-type: none">■ オレンジ色に点灯：バッテリ パックが充電中です■ 緑色に点灯：バッテリ パックが完全充電時に近い状態です■ オレンジ色に点滅：電源にバッテリ パックのみを使用している状態で、ローバッテリ 状態になっています。完全なローバッテリ 状態になると、バッテリ ランプがすばやく点滅します■ 消灯：コンピュータが外部電源に接続されている場合は、コンピュータのすべてのバッテリ が完全に充電されるとバッテリ ランプが消灯します。コンピュータが外部電源に接続されていない場合は、ローバッテリ 状態になるまでランプが消灯したままになります
④ IDE ドライブ ランプ	ハード ドライブ ベイまたは外付けマルチベイ II 内の ドライブ にアクセスしているときに点灯します
⑤ ミュート ランプ	システムの音量が消音されているときに点灯します
⑥ Num Lock ランプ	Num Lock がオンのときまたは内蔵テンキーが使用可能なときに点灯します
⑦ Caps Lock ランプ	Caps Lock がオンのときに点灯します

ポインティング デバイス



ポインティング デバイスの機能はモデルによって異なります。



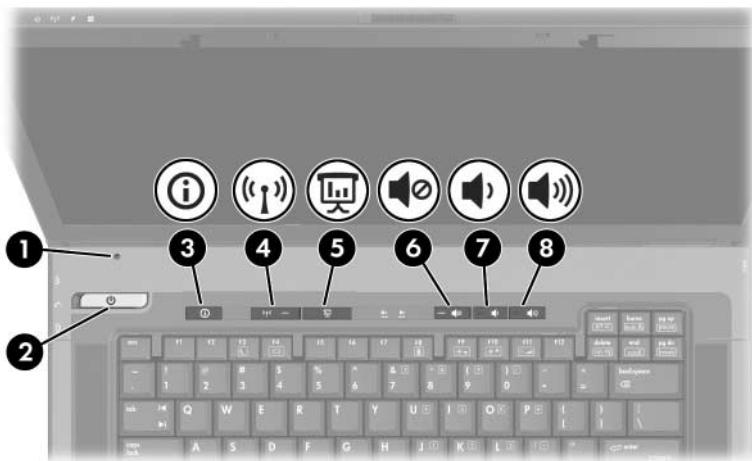
名称	機能
① ポインティング スティック (一部のモデルのみ)	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします
② 左のポインティング スティック ボタン (一部のモデルのみ)	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
③ タッチパッド*	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします。スクロールやダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます
④ 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
⑤ 中央のタッチパッド ボタン (一部のモデルのみ)	外付けマウスの中央のボタンと同様に機能します
⑥ 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します

(続く)

名称	機能
⑦ タッチパッドのスクロール ズーン*	画面を上下にスクロールします
⑧ 右のポインティング スティック ボタン (一部のモデルのみ)	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑨ 中央のポインティング スティック ボタン (一部のモデルのみ)	外付けマウスの中央のボタンと同様に機能します

*この表ではデフォルト設定について説明しています。タッチパッドの機能の変更については、[第3章の「マウスのプロパティ」](#)を参照してください。

ボタン



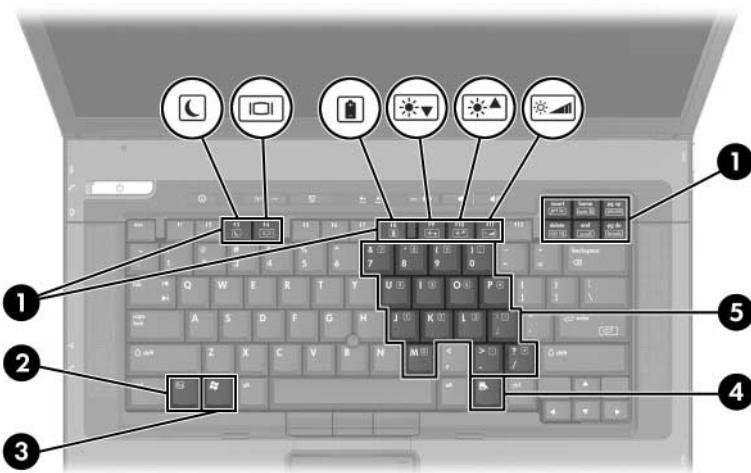
名称	機能
① ディスプレイスイッチ*	ノートブックコンピュータの電源が入ったままディスプレイを閉じたときに、スタンバイを起動します
② 電源/スタンバイボタン*	<p>コンピュータの状態によって次のように機能します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コンピュータの電源が切れているときに押すと、電源が入ります ■ コンピュータの電源が入っているときに押すと、電源が切れます ■ スタンバイ状態のときに短く押すと、スタンバイから復帰します ■ ハイバネーション状態のときに短く押すと、ハイバネーションから復帰します <p> システムが応答せず、Microsoft® Windows® のシャットダウン手順を実行できないときは、電源/スタンバイボタンを4秒以上押したままですると、コンピュータの電源が切れます</p>

(続く)

名称	機能
③ Info Center Button (Info Centerボタン)	よく使用するソフトウェア ソリューションの一覧を表示します
④ 無線ボタン*	無線LANまたはBluetooth®デバイス（一部のモデルのみ）の有効/無効を切り替えます
⑤ Presentation Mode Button (プレゼンテーション モード ボタン)	プレゼンテーション モードをオンにします
⑥ ミュート ボタン	コンピュータの音量を消音（ミュート）します
⑦ 音量下げボタン	コンピュータの音量を下げます
⑧ 音量上げボタン	コンピュータの音量を上げます

*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源の機能の変更については、[第2章の「電源オプション」](#)を参照してください。無線機能の変更については、[第11章の「無線ローカル エリア ネットワーク（一部のモデルのみ）」](#)を参照してください。

キー

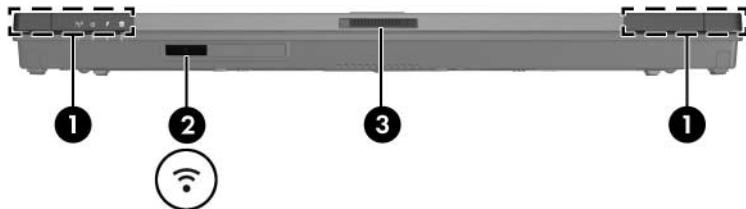


名称	機能
① ファンクションキー ([f3]、[f4]、[f8]～[f11])	[fn]キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
② [fn]キー	ファンクションキーまたは[esc]キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
③ Windowsロゴキー	Windowsの[スタート]メニューを表示します
④ Windowsアプリケーションキー	マウスポインタが指しているアイテムのショートカットメニューを表示します
⑤ テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます



上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。

前面の各部



名称	機能
① 無線アンテナ（×2）*	無線デバイスの信号を送受信します
② 赤外線ポート	別売のIrDA互換デバイスとの間で無線通信を行います
③ ディスプレイリリースラッチ	コンピュータを開けるときにスライドさせます

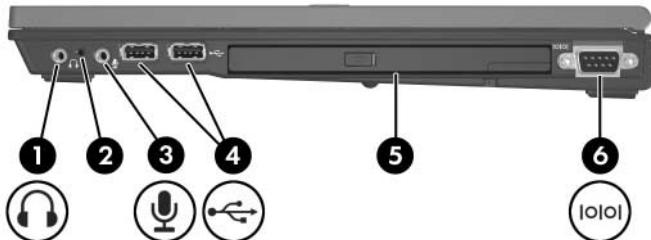
*アンテナは一部のモデルでのみ使用可能で、コンピュータの外側からは見えません。最適な転送のため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

背面の各部



名称	機能
① 電源コネクタ	ACアダプタまたはカーライフアダプタ（別売）を接続します
② 外付けモニタポート	別売のVGAモニタまたはプロジェクタを接続します

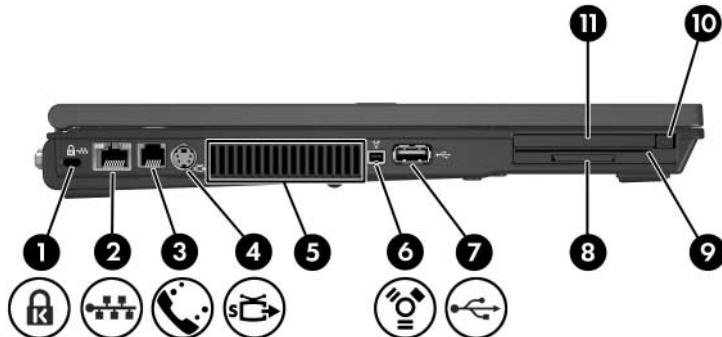
右側面の各部



名称	機能
① オーディオ出力（ヘッドフォン） コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカ、ヘッドフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続したときに、システムのサウンドを出力します
② 内蔵マイク	サウンドを録音します
③ オーディオ入力（マイク） コネクタ	別売のモノラルマイクを接続します
④ USBポート（×2）	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスをノートブックコンピュータに接続したり、別売の外付けマルチベイや外付けマルチベイIIをコンピュータに接続したりします。外付けマルチベイは、外部電源にも接続する必要があります
⑤ マルチベイII	別売のマルチベイIIデバイスを挿入します
⑥ シリアルポート	別売のシリアルデバイスを接続します

左側面の各部

左側面にある機能は、モデルによって異なります。



名称	機能
① セキュリティ ロック ケーブル用 スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルでノート ブック コンピュータを固定物に接続すること によって、盗難を防止します
② RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
③ RJ-11 (モデム) コネクタ	モデム ケーブルを接続します

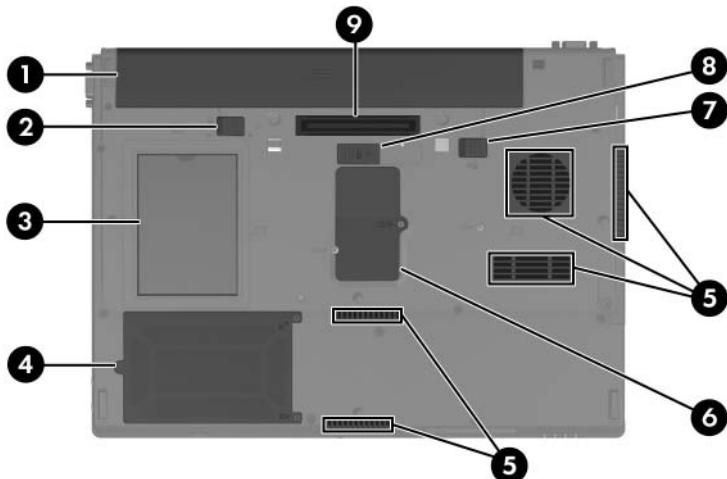


注意：セキュリティ機能は、誤った取り扱いに 対処することを目的としていますが、コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません

(続く)

名称	機能
④ Sビデオ出力コネクタ	2つの用途がある、7ピンのコネクタです テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッド プロジェクタ、ビデオ キャプチャカードなどの別売のSビデオ機器を、別売の標準（4ピン）Sビデオ ケーブルで接続します 追加の3ピンを使用して、別売のSビデオ-コンポジット アダプタをコンピュータに接続することもできます
⑤ 通気孔	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します
	 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕、厚手のじゅうたん、衣服などのように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりすることは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください
⑥ 1394ポート（4ピン）	ビデオカメラなど、別売の4ピンの1394デバイスを接続します
⑦ USBポート	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスをコンピュータに接続したり、別売の外付けマルチベイや外付けマルチベイIIをコンピュータに接続したりします。外付けマルチベイは、外部電源にも接続する必要があります
⑧ SDカード スロット	SD (Secure Digital) メモリ カードを挿入します
⑨ スマート カード リーダー	スマート カードを挿入します
⑩ PCカード スロット	別売のType IまたはType II PCカードに対応しています
⑪ PCカード イジェクト ボタン	PCカードをPCカード スロットから取り出します

裏面の各部

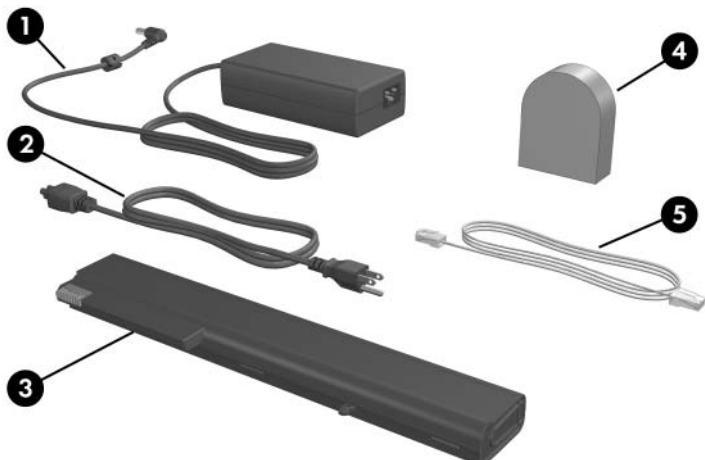


名称	機能
① メイン バッテリ ベイ	メイン バッテリ パックを装着します
② メイン バッテリ リリース ラッチ	バッテリ ベイからメイン バッテリ パックを取り外します。メイン バッテリ 固定ラッチのロックは、あらかじめ解除しておく必要があります
③ 名刺ホルダ	標準サイズの名刺を入れます
④ ハード ドライブ ベイ	メイン ハード ドライブを装着します
⑤ 通気孔（×5）	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します
<p>△ 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕、厚手のじゅうたん、衣服などのように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりすることは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください</p>	

(続く)

名称	機能
⑥ メモリ モジュール コンパートメント	メモリ スロットが1基あります
⑦ メイン バッテリ 固定ラッチ	メイン バッテリ パックをバッテリ ベイに固定します。バッテリを取り外すには、このラッチのロックを解除する必要があります
⑧ トラベル バッテリ コネクタ	別売のトラベル バッテリを装着します
⑨ ドッキング コネクタ	ノートブック コンピュータを別売のドッキング デバイスに接続します

その他のハードウェア コンポーネント



名称	機能
① ACアダプタ	ノートブック コンピュータに外部電力を供給し、バッテリ パックを充電します
② 電源コード*	ACアダプタと電源コンセントを接続します
③ メイン バッテリ パック*	コンピュータが外部電源に接続されていないときに、コンピュータを動作させます
④ モデム アダプタ*	モデム ケーブルをRJ-11 モデム コネクタ以外のコネクタに接続するときに使用します 日本ではRJ-11 モデム コネクタが標準ですので、日本で購入された製品にはモデム アダプタは同梱されていません
⑤ モデム ケーブル*	内蔵のモデムを電話コネクタまたは各国仕様のモデム アダプタに接続するときに使用します

*電源コード、モデム ケーブル、およびモデム アダプタは、地域や国によって外観が異なります。バッテリ パックの種類は、モデルによって異なります。

このコンピュータを日本国内で使用する場合は、製品に同梱されていた電源コードをお使いください。同梱されていた電源コードは、他の製品では使用できません。

その他のコンポーネント

ラベル

ノートブック コンピュータに付いているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピュータを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

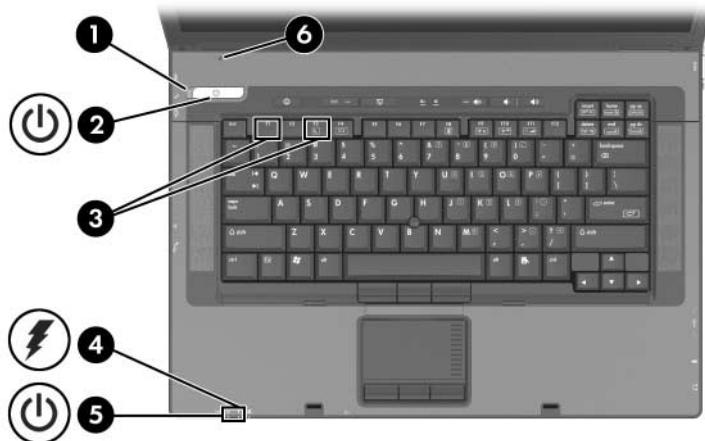


ラベルの位置は、モデルによって異なる場合があります。

- サービス タグ：コンピュータの製品名、製品番号 (P/N)、およびシリアル番号 (S/N) が記載されています。製品番号およびシリアル番号は、サポート窓口に問い合わせるときに必要です。サービス タグラベルは、コンピュータの裏面に付いています。サービス タグに記載されている情報をコンピュータの画面に表示するには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
- Microsoft Certificate of Authenticity : Microsoft Windows のプロダクトキー (Product Key、Product ID) が記載されています。プロダクトキーは、オペレーティング システムのアップデートまたは問題解決のときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピュータの裏面に付いています。
- 規定ラベル：コンピュータの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、コンピュータの裏面に付いています。
- モデム認定/認証ラベル：モデムの規定に関する情報、および各国でのモデムの認定/認証マークや番号の一覧が記載されています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。モデム認定/認証ラベルは、コンピュータの裏面に付いています。
- 無線認定/認証ラベル：コンピュータの一部のモデルには、オプションの無線LANデバイスやBluetooth®デバイスが付属しています。お使いのコンピュータに1つ以上の無線デバイスが付属している場合は、それぞれのデバイスの規定に関する情報、および各国でのデバイスの認定/認証マークや番号の一覧が記載されたラベルが付いています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、コンピュータの裏面に付いています。

電源

電源ボタン類とランプの位置



名称	機能
① 電源/スタンバイ ランプ	<ul style="list-style-type: none">■ 点灯：ノートブック コンピュータの電源がオンになっています■ 点滅：コンピュータがスタンバイ モードになっています

(続く)

名称	機能
② 電源/スタンバイ ボタン*	<p>コンピュータの状態によって次のように機能します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コンピュータの電源が切れているときに押すと、電源が入ります ■ コンピュータの電源が入っているときに押すと、電源が切れます ■ スタンバイ状態のときに短く押すと、スタンバイから復帰します ■ ハイバネーション状態のときに短く押すと、ハイバネーションから復帰します <p> システムが応答せず、Microsoft Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源/スタンバイ ボタンを4秒以上押したままにすると、コンピュータの電源が切れます</p>
③ [fn]+[f3]キー	スタンバイを起動します
④ バッテリ ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ■ オレンジ色に点灯：バッテリ パックが充電中です ■ 緑色に点灯：バッテリ パックが完全充電時に近い状態です ■ オレンジ色に点滅：電源にバッテリ パックのみを使用している状態で、ローバッテリ状態になっています。完全なローバッテリ状態になると、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます ■ 消灯：コンピュータが外部電源に接続されている場合は、コンピュータのすべてのバッテリが完全に充電されるとバッテリ ランプが消灯します。コンピュータが外部電源に接続されていない場合は、ローバッテリ状態になるまでランプが消灯したままになります

(続く)

名称	機能
⑤ 電源/スタンバイ ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 点灯：コンピュータの電源がオンになっています ■ 点滅：コンピュータがスタンバイ モードになっています
⑥ ディスプレイ スイッチ*	コンピュータの電源が入ったままディスプレイを閉じたときに、スタンバイを起動します

*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源の機能の変更については、この章の「[電源オプション](#)」を参照してください。

電力の供給

このノートブック コンピュータは、内部または外部電力で動作できます。以下の表で、一般的な作業に最適な電源について説明します。

作業	推奨される電源
一般的なソフトウェア アプリケーションを使用する	<ul style="list-style-type: none"> ■ 充電済みのバッテリ パックをコンピュータに装着します ■ 次の機器の1つから外部電力を供給します <ul style="list-style-type: none"> □ 付属のACアダプタ □ 別売のACアダプタ □ 別売のドッキング デバイス □ 別売のカー アダプタ
コンピュータのバッテリ パックを充電または調整する	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次の機器から外部電力を供給します <ul style="list-style-type: none"> ■ 付属のACアダプタ ■ 別売のACアダプタ ■ 別売のドッキング デバイス ■ 別売のカー アダプタ
システム ソフトウェアをインストールまたは変更する、またはCDやDVDに書き込む	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次の機器から外部電力を供給します <ul style="list-style-type: none"> ■ 付属のACアダプタ ■ 別売のACアダプタ ■ 別売のドッキング デバイス

スタンバイおよびハイバネーション

スタンバイおよびハイバネーションは省電力機能であり、電力を節約し、起動時間を短縮します。スタンバイおよびハイバネーションは、ユーザまたはシステムが起動できます。それぞれの設定の使用条件について詳しくは、この章の「[スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行](#)」を参照してください。

スタンバイ



注意: 完全なローバッテリ状態になることを防ぐため、お使いのノートブックコンピュータを長時間スタンバイ状態にしておかないとください。コンピュータは外部電源に接続してください。

スタンバイは、使用されていないシステムコンポーネントへの電力供給を少なく抑えます。スタンバイが起動されると、データがランダムアクセスメモリ (RAM) に保存され、画面がクリアされます。ユーザがスタンバイから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。

- 通常、スタンバイを起動する前にデータを保存する必要はありませんが、念のため保存しておくことをおすすめします。
- コンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイランプが点滅します。

ハイバネーション



注意: ハイバネーションの起動中にノートブック コンピュータのシステムのコンフィギュレーションを変更すると、ハイバネーションから復帰できなくなることがあります。ハイバネーションの起動中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- コンピュータを、ドッキング デバイスに取り付けたり取り外したりしないでください。
- メモリ モジュールを着脱しないでください。
- ハードドライブを着脱しないでください。
- 外付けデバイスを取り付けたり取り外したりしないでください。
- PCカードやSD (Secure Digital) カードを挿入したり取り出したりしないでください。

ハイバネーションは省電力機能の1つで、データをハードドライブのハイバネーション ファイルに保存した後、コンピュータの電源を切る保護機能でもあります。ハイバネーションから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。電源投入時パスワード (Power-on password) が設定されている場合は、ハイバネーションから復帰するときにパスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションは、無効に設定することができます。ただし、ハイバネーションが無効に設定されており、コンピュータがローバッテリ状態に達した場合、コンピュータの電源がオンまたはスタンバイ状態のときにデータは自動的に保存されません。

ハイバネーションが無効に設定されている場合、[電源オプション] ウィンドウに**[休止状態]**オプションは表示されません。[電源オプション] ウィンドウで**[休止状態]**オプションを選択するには、ハイバネーションを有効にしておく必要があります。

ハイバネーションが有効に設定されているかを確認するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態を有効にする]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。

スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行

ここでは、スタンバイやハイバネーションの起動、およびノートブックコンピュータの電源切断をいつ行うかについて説明します。

作業を中断する場合

- スタンバイを起動すると画面がクリアされ、通常の動作時より消費電力が抑えられます。スタンバイ状態から復帰すると、直ちに画面が元の状態に戻ります。
- ハイバネーションを起動すると画面がクリアされ、データがハードドライブに保存され、スタンバイより消費電力をさらに少なく抑えることができます。
- 長時間ノートブックコンピュータを外部電力に接続しない場合は、バッテリパックの寿命を延ばすためにコンピュータの電源を切り、バッテリパックを取り出しておくことをおすすめします。バッテリパックの保管方法について詳しくは、この章の「[バッテリパックの保管](#)」を参照してください。

電力の供給が不安定な場合

ハイバネーションが有効に設定されていることを確認します。バッテリ電源を使用しており、外部電源に接続できない場合は特に注意してください。バッテリパックが消耗すると、ハイバネーションによりデータがハイバネーションファイルに保存され、ノートブックコンピュータの電源が切れます。

電力の供給が不安定なときに作業を中断する場合は、次の操作のどれかを行うことをおすすめします。

- ハイバネーションを起動する
- コンピュータの電源を切断する
- データを保存してからスタンバイを起動する

赤外線通信またはドライブメディアの使用中



注意：オプティカルドライブメディアの使用中にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。起動すると、ビデオやオーディオが劣化したり、オーディオやビデオの再生機能が損失したりする恐れがあります。

スタンバイおよびハイバネーションは、赤外線通信、Bluetooth®通信、およびオプティカルドライブメディアの使用の妨げとなります。以下のガイドラインをお読みください。

- ノートブックコンピュータがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合、赤外線またはBluetoothによる通信を開始できません。
- オプティカルドライブメディア(CDまたはDVDなど)を使用中に、誤ってハイバネーションまたはスタンバイを起動した場合、次のことが発生します。
 - 再生が中断される場合があります。

- [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。[いいえ]を選択します。
- オーディオやビデオの再生を再開する必要があることがあります。

デフォルトの電源設定

次の表では、ノートブック コンピュータの工場出荷時の電源設定について説明します。ほとんどの設定は、ユーザの好みに応じて変更することができます。電源設定を変更する方法について詳しくは、この章の「[電源オプション](#)」を参照してください。

ノートブック コンピュータまたはディスプレイのオン/オフ

操作	手順	結果
コンピュータの電源を入れる	電源/スタンバイ ボタンを押します  電源 / スタンバイ ボタンを押すと、スタンバイ、ハイバネーション、またはシャットダウンから、コンピュータの電源が入った状態に復帰します	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが点灯します ■ オペレーティング システムがロードされます

(続く)

操作	手順	結果
コンピュータの電源を切る*	<p>データを保存し、開いているすべてのアプリケーションを閉じます。以下のどちらかの手順で操作します</p> <p>■ 電源/スタンバイ ボタンを押し、画面の指示（表示される場合）に従ってノートブックコンピュータの電源を切ります</p> <p>または</p> <p>■ 次のどちらかの手順で、オペレーティング システムを使用してコンピュータの電源を切ります</p> <p>□ [スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]の順に選択します</p> <p>□ Windowsロゴ キーを押し、[終了オプション]→[電源を切る]の順に選択します</p>	<p>■ 電源/スタンバイ ランプが消灯します</p> <p>■ オペレーティング システムが終了します</p> <p>■ コンピュータの電源が切れます</p>
電源が入ったままディスプレイの電源を切る	コンピュータのディスプレイを閉じます	コンピュータを閉じるとディスプレイスイッチが作動し、スタンバイが起動します。これによりバッテリ電力が節約されます

*システムが応答せず、この手順でコンピュータの電源を切ることができない場合は、この章の「緊急停止手順の使用」を参照してください。

スタンバイからの復帰または起動

操作	手順	結果
スタンバイを起動する	<p>ノートブック コンピュータの電源が入った状態で、以下のどれかの操作を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [fn]+[f3]キーを押します ■ ディスプレイを閉じます ■ [スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順に選択します ([スタンバイ]オプションが表示されない場合は、[shift]キーを押します) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが点滅します ■ 画面がクリアされます
システムによってスタンバイを起動する	<p>操作は必要ありません</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータがバッテリ電源で動作している場合、10分間コンピュータを使用しないとスタンバイが起動します（デフォルト設定） ■ コンピュータが外部電源に接続されている場合は、スタンバイは起動しません ■ 電源設定およびタイムアウトは、[電源オプション]ウィンドウで変更できます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが点滅します ■ 画面がクリアされます
ユーザまたはシステムによって起動されたスタンバイから復帰する	電源/スタンバイ ボタンを押します	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが点灯します ■ 画面が元の状態に戻ります

ハイバネーションからの復帰または起動

操作	手順	結果
ハイバネーションを起動する	<p>ノートブックコンピュータの電源が入った状態で、[スタート]→[シャットダウン]→[休止状態]の順に選択します ([休止状態]オプションが表示されない場合は、[Shift]キーを押したままにします)</p> <p> コンピュータがスタンバイ状態の場合は、ハイバネーションを起動する前にスタンバイから復帰する必要があります</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイランプが消灯します ■ 画面がクリアされます
システムによってハイバネーションを起動する（ハイバネーションが有效地に設定されている場合）	<p>操作は必要ありません</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コンピュータがバッテリ電源で動作している場合は、30分間コンピュータを使用していないとき、または装着されているバッテリパックが完全なローバッテリ状態になったときにハイバネーションが起動します ■ コンピュータが外部電源に接続されている場合は、ハイバネーションは起動しません ■ 電源設定およびタイムアウトは、[電源オプション]ウィンドウで変更できます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイランプが消灯します ■ 画面がクリアされます
ユーザまたはシステムによって起動されたハイバネーションから復帰する	<p>電源/スタンバイボタンを押します</p> <p> 注意：完全なローバッテリ状態からハイバネーションが起動された場合は、外部電源に接続するか充電済みのバッテリパックを装着してから電源/スタンバイボタンを押します。電源/スタンバイランプが消灯するまで電源を入れないでください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイランプが点灯します ■ 画面が元の状態に戻ります

緊急停止手順の使用



注意: 緊急停止手順を使用すると、保存されていないデータは失われます。

ノートブック コンピュータが応答せず、通常の Microsoft Windows のシャットダウン手順を使用できない場合は、記載されている順に次の緊急手順を試みてください。

- [ctrl]+[alt]+[delete]キーを押し、[シャットダウン]を選択します。
- 電源/スタンバイ ボタンを5秒間以上押し続けます。
- コンピュータを外部電源から切断し、バッテリ パックを取り外します。バッテリ パックの取り外しと保管について詳しくは、この章の「[バッテリ パックの保管](#)」を参照してください。

電源オプション

ほとんどのデフォルトの電源設定は、[電源オプション] ウィンドウで変更できます。たとえば、バッテリ パックがローバッテリ 状態になったときに警告音を鳴らすように設定できます。また、電源/スタンバイ ボタンのデフォルトの設定も変更できます。

デフォルトでは、ノートブック コンピュータの電源が入っている状態で、以下の機能を使用できます。

- [fn]+[f3] ホットキーを押すと、スタンバイが起動します。
- ディスプレイ スイッチによりスタンバイが起動します。ディスプレイ スイッチは、ディスプレイを閉じると機能します。

[電源オプション]ウィンドウへのアクセス

[電源オプション] ウィンドウにアクセスするには、以下の操作を行います。

» 通知領域（タスクバーの右端）の[電源メーター]アイコンをダブルクリックします。

または

» [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

[電源メーター]アイコンの表示

デフォルトでは、[電源メーター]アイコンは通知領域（タスクバーの右端）に表示されます。このアイコンは、ノートブックコンピュータがバッテリパックまたは外部電源のどちらで動作しているかを示す形に変わります。アイコンをダブルクリックすると、[電源オプション]ウィンドウが表示されます。

通知領域の[電源メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [アイコンをタスクバーに常に表示する]チェックボックスにチェックを入れるか外します。
4. [適用]を選択します。
5. [OK]を選択します。



通知領域に配置したアイコンが見当たらない場合は、アイコンが隠れている可能性があります。通知領域の矢印または太い縦線をクリックして拡大し、隠れているアイコンが表示されるようにします。

電源設定の指定または変更

[電源オプション] ウィンドウの[電源設定]タブでは、システム コンポーネントに電源レベルを割り当てることができます。ノートブック コンピュータがバッテリ パックと外部電源のどちらで動作しているかによって、異なる電源設定を割り当てることができます。

また、指定した時間が経過した後にスタンバイを起動するように、またはディスプレイかハードドライブの電源を切断するように電源レベルを設定できます。

電源レベルを設定するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. [電源設定]タブを選択します。
3. 変更する電源設定を選択して、画面上の一覧のオプションを調節します。
4. [適用]を選択します。

セキュリティ パスワードの使用

ノートブック コンピュータの電源を入れたり、スタンバイまたはハイバネーションから復帰したりするときにパスワード入力を求めるように、セキュリティ機能を追加することができます。

パスワード入力を求めるように設定するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める] チェック ボックスにチェックを入れます。
4. [適用]を選択します。

セキュリティ パスワードの使い方について詳しくは、「[第12章 セキュリティ](#)」を参照してください。

プロセッサ パフォーマンスの制御 (一部のモデルのみ)

一部のノートブック コンピュータ モデルでは、Windows XPでプロセッサのパフォーマンスを制御するための独自のソフトウェアがインストールされています。中央演算処理装置 (CPU) の速度を最適のパフォーマンス モードに設定でき、電力消費を最適に設定できます。

たとえば、電源が外部電力からバッテリ パックの電力に切り替わるとき、またはコンピュータの使用がアクティブ状態とアイドル状態で切り替わるときに、プロセッサ速度を自動的に変更するようにソフトウェアを設定できます。

プロセッサ パフォーマンスの制御は、[電源オプション] ウィンドウで行います。

Windows XPのプロセッサ パフォーマンスの制御にアクセスするには、次の操作を行います。

» [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択します。

選択した電源設定によって、コンピュータが外部電源に接続されているとき、またバッテリ電力で動作しているときのプロセッサのパフォーマンスが判断されます。外部電力やバッテリ電力に対応する各電源設定によって、特定のプロセッサの状態が設定されます。

コンピュータが外部電力とバッテリ電力のどちらで動作しているかに応じて、さまざまな設定を使用できます。電源レベルの設定後は、コンピュータのプロセッサ パフォーマンスを制御するためのその他の操作は必要ありません。次の表では、外部電源およびバッテリ電源で使用可能な電源設定でのプロセッサ パフォーマンスを示します。

電源設定	外部電力使用時のプロセッサパフォーマンス	バッテリ電力使用時のプロセッサパフォーマンス
[自宅または会社のデスク]	常に最大のパフォーマンス状態で動作します	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[ポータブル/ラップトップ]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[プレゼンテーション]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	最小のパフォーマンス状態で起動します
[常にオン]	常に最大のパフォーマンス状態で動作します	常に最大のパフォーマンス状態で動作します
[最小の電源管理]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[バッテリの最大利用]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	最小のパフォーマンス状態で起動します

バッテリ パック

外部電源に接続しているときは、ノートブック コンピュータは外部電源で動作します。充電済みのバッテリ パックを装着し、外部電源に接続していないときは、コンピュータはバッテリ 電源で動作します。

コンピュータでは、外部電源が利用できるかどうかによって、外部電源とバッテリ 電源が自動的に切り替わります。たとえば、充電済みのバッテリ パックを装着し、ACアダプタを通して外部電源を使用しているときにACアダプタをコンピュータから取り外すと、バッテリ 電源の使用に切り替わります。

バッテリ パックをコンピュータに装着しておくかどうかは、作業状況に応じて決めることができます。バッテリ パックを装着しておくと、コンピュータを外部電源に接続している間にバッテリ パックを充電できます。また、停電があった場合でも作業中のファイルを守ることができます。

ただし、コンピュータの電源が切れている間に、バッテリパックは少しずつ放電します。このため、メインバッテリパックはコンピュータに装着していない状態で出荷されます。コンピュータをバッテリ電源で動作させるには、バッテリを装着してください。

バッテリパックの概要

お使いのノートブックコンピュータには、バッテリパックを2つまで装着できます。

- メインバッテリパックは、バッテリベイでのみ使用可能です。お使いのコンピュータには、メインバッテリパック1個が装着されています。
- 別売のトラベルバッテリパックは、コンピュータの裏面に装着可能です。

2週間以上コンピュータを使用しない場合は、バッテリパックを取り出して保管すると、バッテリパックの寿命を延ばすことができます。この章の「[バッテリパックの保管](#)」を参照してください。



ACアダプタおよびバッテリパックは、コンピュータに対応しているものを使用する必要があります。詳しくは、HPのWebサイト(<http://www.hp.com/jp/>)を参照するか、またはサポート窓口にお問い合わせください。

メイン バッテリ パックの装着

メイン バッテリ パックを装着するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを裏返して、メイン バッテリ ベイを手前に向けます。
2. 所定の位置に固定されるまで、バッテリ ベイにバッテリ パックをスライドさせます。



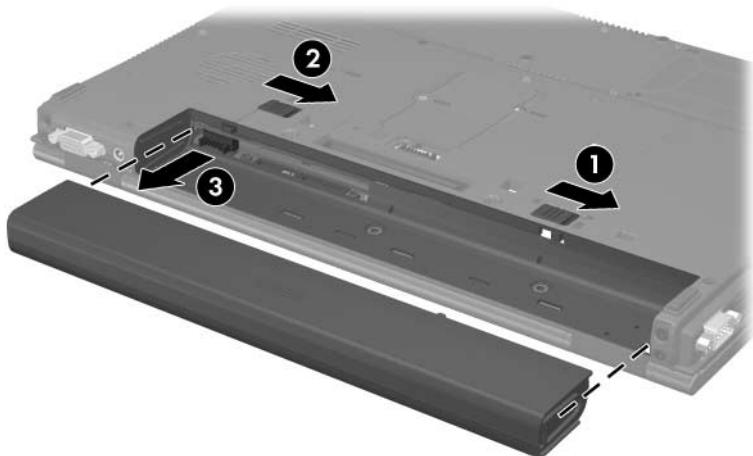
メイン バッテリ パックの取り外し



注意：ノートブック コンピュータの電源としてバッテリ パックのみを使用しているときに、そのバッテリ パックを取り外す場合は、データの損失を防ぐため、ハイバネーションを起動するかコンピュータの電源を切ってから作業を行ってください。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイ ボタンを短く押し、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。

メイン バッテリ パックを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータを裏返して、メイン バッテリ ベイを手前に向けます。
2. バッテリ 固定ラッチを右方向に押します❶。（バッテリ パックの右側が少し押し出されます。）
3. バッテリ リリース ラッチを右方向に押したままにして❷、バッテリ パックをコンピュータの外側にスライドさせます❸。



バッテリ パックの充電

バッテリ パックを複数使用している場合、各バッテリ パックは、あらかじめ設定された順序で充電および放電されます。

■ 充電の順序：

1. ノートブック コンピュータのバッテリ ベイに装着されているメイン バッテリ パック
2. トラベル バッテリ パック

■ 放電の順序：

1. トラベル バッテリ パック
2. コンピュータのバッテリ ベイに装着されているメイン バッテリ パック

バッテリ パックの充電中は、コンピュータのバッテリ ランプがオレンジ色に点灯します。バッテリ パックがほぼ完全に充電されると、バッテリ ランプが緑色に点灯します。すべてのバッテリ パックが完全に充電されると、バッテリ ランプが消灯します。



コンピュータの外観は、モデルによって異なります。

メイン バッテリ パックがコンピュータに装着されており、コンピュータが外部電源に接続されている場合、メイン バッテリ パックが充電されます。外部電源は、次の機器から供給できます。

- 付属のACアダプタ
- 別売のACアダプタ
- 別売のドッキング デバイス
- 別売のカーアダプタ

新しいバッテリ パックの充電

ACアダプタを使ってノートブック コンピュータを外部電源に接続し、バッテリ パックを完全に充電してください。

新しいバッテリ パックは、完全に充電されていない状態でも使用できますが、バッテリ残量の表示が不正確になることがあります。

使用中のバッテリ パックの充電

バッテリの寿命を延ばし、バッテリ残量が正確に表示されるようにするには、次の点に注意します。

- 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント未満になるまでバッテリ パックを放電してから充電してください。
- バッテリ パックを充電するときは、完全に充電してください。

バッテリ パックの充電の監視

ここでは、バッテリ パック内の電力の残量を判断する方法をいくつか説明します。

正確なバッテリ残量の表示

バッテリ残量が正確に表示されるようにするには、次のことに注意します。

- 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント未満になるまでバッテリ パックを放電してから充電します。
- バッテリ パックを充電するときは、完全に充電してください。
- バッテリ パックを 1 か月以上使用していなかった場合は、充電ではなくバッテリ ゲージの調整を行います。バッテリ ゲージの調整方法については、この章の「[バッテリ ゲージの調整](#)」を参照してください。

充電情報画面の表示

ここでは、充電情報画面を表示して画面の情報を読む方法について説明します。

充電情報の表示

ノートブック コンピュータに装着したバッテリ パックの状態について情報を表示するには、次のどちらかの操作を行います。

- » 通知領域（タスク バーの右端）にある[電源メーター]アイコンを選択します。

または

- » [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源メーター]タブの順に選択します。

充電情報の読み方

ほとんどの場合、充電情報には、バッテリの状態がバッテリ残量のパーセントと残りの使用可能時間（分）で示されます。

- パーセントは、バッテリパック内の電力の残量を示します。
- 時間は、現在のレベルでバッテリパックの電力を使い続けた場合にバッテリパックを使用できる残り時間を示します。たとえば、DVDの再生を開始すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

ほとんどの充電情報では、バッテリパックが位置番号で示されます。

- #1はメインバッテリベイのバッテリパックです。
- #2は別売のトラベルバッテリパックです。

画面によっては、画面上のバッテリパックの位置表示の隣に稲妻のマークが表示されます。このマークは、その位置のバッテリパックが充電中であることを示します。

ローバッテリ状態の対処

ローバッテリ状態の警告とシステム応答の設定は、オペレーティングシステムの[電源オプション]ウィンドウで変更できます。ここでは、出荷時設定の警告およびシステム応答について説明します。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

ローバッテリ状態の識別

ノートブック コンピュータの電源としてバッテリ パックのみを使用しているときに、バッテリ パックがローバッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅します。

ローバッテリ状態を解決しないと、コンピュータは完全なローバッテリ 状態に入ります。

完全なローバッテリ状態になると、システムは次のように応答します。

- ハイバネーションが有効で、コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、ハイバネーションが起動します。
- ハイバネーションが無効で、コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存していない情報は失われます。

ハイバネーションが有効になっていることを確認するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態を有効にする]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。

ローバッテリ状態の解決



注意: ノートブック コンピュータが完全なローバッテリ状態になり、ハイバネーションが起動した場合は、電源/スタンバイ ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

外部電源が利用できる場合

外部電源が利用できる場合にローバッテリ状態を解決するには、ACアダプタまたは別売のカーライフアダプタを接続します。

充電済みのバッテリ パックが利用できる場合

充電済みのバッテリ パックが利用できる場合にローバッテリ状態を解決するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を切るかハイバネーションを起動します。
2. 充電済みのバッテリ パックを装着します。
3. コンピュータの電源を入れます。

電源が利用できない場合

電源が利用できない場合にローバッテリ状態を解決するには、以下のどちらかの操作を行います。

» ハイバネーションを起動します。

または

» 作業中のファイルを保存し、システムを終了します。

ハイバネーションを終了できない場合

ハイバネーションを終了するための電力がノートブック コンピュータに残っていない場合にローバッテリ状態を解決するには、以下の手順で操作します。

1. 充電済みのバッテリ パックを装着するか、コンピュータを外部電源に接続します。
2. 電源/スタンバイ ボタンを押して、ハイバネーションから復帰します。

バッテリ ゲージの調整

ここでは、バッテリ ゲージを調整するタイミングと調整方法について説明します。

バッテリ ゲージの調整が必要な時

バッテリ パックを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上調整を行う必要はありません。また、新しいバッテリ パックを初めて使用する前にバッテリ ゲージを調整する必要はありません。次の場合は、バッテリ ゲージの調整が必要です。

- バッテリ 充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリ の通常の動作時間が極端に変化した場合
- バッテリ パックを1か月以上使用していない場合

バッテリ ゲージの調整方法

バッテリ ゲージを調整するには、バッテリ パックを完全に充電し、完全に放電してから、再び完全に充電します。

バッテリ パックの充電

バッテリ パックは、ノートブック コンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず充電できますが、電源を切ったときの方が充電が早く完了します。

バッテリ パックを充電するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータにバッテリ パックを装着します。
2. コンピュータを電源コンセントまたは別売のアダプタあるいはチャージャに接続します。(コンピュータのバッテリ ランプが点灯します。)
3. バッテリ パックが完全に充電されるまで、コンピュータを外部電源に接続しておきます。(充電が完了すると、コンピュータのバッテリ ランプが消灯します。)

バッテリ パックの放電

バッテリ パックを完全に放電する前に、ハイバネーションを無効にします。

ハイバネーションを無効にするには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態を有効にする]チェック ボックスのチェックを外します。
3. [適用]を選択します。

バッテリ パックの放電中は、ノートブック コンピュータの電源を入れたままにする必要があります。バッテリ パックは、コンピュータを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が放電が早く完了します。

- 放電中にコンピュータを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にコンピュータを使用する予定で、省電力設定を利用していた場合、放電処理中はシステムの動作が次のようになります。
 - モニタが自動的にオフになりません。
 - コンピュータがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度が自動的に下がりません。
 - システムによるスタンバイの起動が実行されません。

バッテリ パックを完全に放電するには、以下の手順で操作します。

1. 次のどちらかの操作を行います。

- 通知領域（タスク バーの右端）にある[電源メーター]アイコンを選択します。

または

- [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択します。

2. バッテリ ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[電源に接続]列の2つの設定と[バッテリ使用]列の2つの設定をメモに取っておきます。

3. ドロップダウンリストで、これら4つ（各列に2つ）のオプションをすべて[なし]に設定します。

4. [OK]を選択します。

5. コンピュータを外部電源から切断します。ただし、コンピュータの電源は切らないでください。

6. バッテリ パックが完全に放電するまで、バッテリ 電源でコンピュータを動作させます。バッテリ パックがローバッテリ 状態まで放電すると、バッテリ ランプが点滅し始めます。バッテリ パックが完全に放電すると、バッテリ ランプが消灯して、コンピュータの電源が切れます。

バッテリ パックの再充電



注意: バッテリ ゲージの調整後はハイバネーションを再び有効にしてください。ハイバネーションを有効にしないと、完全になくなるまでバッテリ電力を消費し続けてデータが失われる恐れがあります。ハイバネーションを再び有効にするには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態を有効にする]チェック ボックスにチェックを入れます。
3. [適用]を選択します。

バッテリ パックを再充電するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、バッテリ パックが完全に再充電されるまで接続したままにします。(充電が完了すると、コンピュータのバッテリ ランプが消灯します。)
バッテリ パックの再充電中でもコンピュータは使用できますが、電源を切つておく方が充電が早く完了します。
2. コンピュータの電源を切っていた場合は、バッテリ パックが完全に充電されてバッテリ ランプが消灯したら、コンピュータの電源を入れます。
3. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択します。
4. [電源に接続]列と[バッテリ使用]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
5. [OK]を選択します。

バッテリの節電

ここで説明するバッテリ節電方法および設定を使用して、1回の充電でノートブックコンピュータを動作させる時間を長くすることができます。

作業中のバッテリの節電

ノートブックコンピュータの使用時に節電するには、次の操作を行います。

- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続をオフにして、使用していないモデムアプリケーションを終了します。
- ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続する必要がないときはLANデバイスをオフにします。ネットワークケーブルを取り外すと、LAN節電モードによりLANデバイスがオフになります。詳しくは、この章の「[LAN節電モードの使用](#)」を参照してください。
- 外部電源に接続されておらず、使用していない外付けデバイスを取り外します。
- 使用していないPCカードを停止するか取り外します。詳しくは、「[第6章 PCカード](#)」を参照してください。
- 使用していないCDやDVDを取り出します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、[fn]+[f9]および[fn]+[f10]ホットキーを使用します。
- 内蔵スピーカの代わりに、別売の電源付きスピーカを使用します。または、音量ボタンを使用してシステム警告音の音量を調節します。
- Sビデオ出力コネクタに接続しているデバイスをオフにするとときは、[fn]+[f4]ホットキーを使用するか、WindowsでSビデオデバイスのサポートをオフにします。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、コンピュータの電源を切ります。

節電の設定

ノートブック コンピュータの節電を設定するには、次の操作を行います。

- スクリーン セーバが起動するまでの時間を短くし、グラフィックスおよび動きの少ないスクリーン セーバを選択します。

スクリーン セーバの設定画面を表示するには、次の操作を行います。

» [スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[スクリーン セーバーを選択する]の順に選択します。

- オペレーティング システムで、消費電力の少ない電源設定を選択します。この章の「[電源設定の指定または変更](#)」を参照してください。

LAN節電モードの使用

お使いのノートブック コンピュータにはLAN節電機能が搭載されており、バッテリ電力の消費を抑えることができます。コンピュータが外部電源から切断され、ネットワーク ケーブルが取り外されると、LAN節電モードによりLANデバイスがオフになります。

LAN節電モードはデフォルトで有効に設定されています。LAN節電モードの設定は[Computer Setup]で変更できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」の「[\[Advanced\] \(詳細設定\) メニュー](#)」を参照してください。

LAN節電モードを起動するには、次の操作を行います。

» ネットワーク ケーブルを取り外します。



LAN節電モードを実行している間は、LANデバイスが[デバイス マネージャ]に表示されません。LANデバイスにアクセスするには、次のどちらかの操作を行います。

- 外部電源に接続します。
- ネットワーク ケーブルを接続します。
- [Computer Setup]でLAN節電モードを無効に設定します。

バッテリ パックの保管



注意: バッテリ パックの損傷を防ぐため、長期間にわたって高温の場所に放置しないでください。

2週間以上ノートブック コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリ パックを取り出して別々に保管します。

高温の場所にバッテリ パックを保管すると、自然放電の速度が速まります。保管中にバッテリ パックが放電することを抑えるには、バッテリ パックを気温や湿度の低い場所に保管します。

バッテリ パックを安全に保管できる期間については、次の表を参考にしてください。ここに示す保管期間は、バッテリ パックが50パーセント充電されている場合の期間です。完全に充電されている場合は、安全に保管できる期間はこれよりも長くなります。また、電力の残量が少ない場合は、これよりも短くなります。

1か月以上保管したバッテリ パックを使用するときは、最初にバッテリ ゲージの調整を行ってください。

温度の範囲	安全に保管できる期間
46~60°C	1か月未満
26~45°C	3か月以下
0~25°C	1年

使用済みのバッテリ パックの処理



警告: 化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリ パックをつぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたりしないでください。さらに、60°Cより高温の環境に放置しないでください。バッテリ パックを交換する場合は、この製品専用のバッテリ パックをお使いください。



日本では、バッテリ パックを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

3

ポインティング デバイス およびキー ボード

ポインティング デバイス

ポインティング スティック（一部のモデルのみ）とタッチパッドのどちらを使用しても外付けマウスと同様の機能を実行できます。



ポインティング デバイスの機能はモデルによって異なります。



名称	機能
① ポインティング スティック (一部のモデルのみ)	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします
② 左のポインティング スティック ボタン (一部のモデルのみ)	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
③ タッチパッド*	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします。スクロールやダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます
④ 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
⑤ 中央のタッチパッド ボタン (一部のモデルのみ)	外付けマウスの中央のボタンと同様に機能します
⑥ 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑦ タッチパッドの スクロール ゾーン*	画面を上下にスクロールします

(続く)

名称	機能
⑧ 右のポインティング スティック ボタン (一部のモデルのみ)	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑨ 中央のポインティング スティック ボタン (一部のモデルのみ)	外付けマウスの中央のボタンと同様に機能します

*この表ではデフォルト設定について説明しています。タッチパッドの機能の変更については、[第3章の「マウスのプロパティ」](#)を参照してください。

タッチパッドの使用

- ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指を動かします。
- タッチパッドの左ボタンと右ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。
- タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの上で指を上下にスライドさせます。

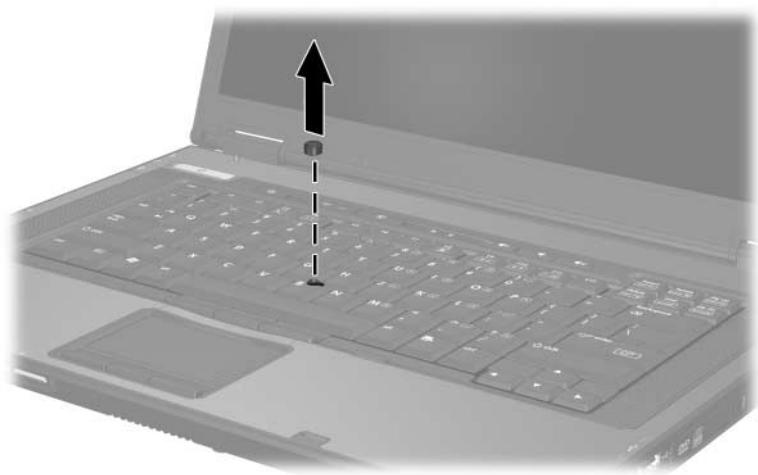
ポインティング スティックの使用（一部のモデルのみ）

ポインタを移動するには、ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。

ポインティング スティックの左ボタンと右ボタン（一部のモデルのみ）は、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

ポインティング スティックのキャップを交換するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。
2. ポインティング スティックの古くなったキャップをゆっくりと引き抜きます。



3. 新しいキャップを取り付けます。

マウスのプロパティ

Windowsの[マウスのプロパティ]を使用して、次のようにポインティング デバイスの設定をカスタマイズできます。

- ポインティング デバイスを有効または無効に設定します（デフォルトで有効に設定されています）。
- タッチパッドのタップ。タッチパッドを1回タップするとオブジェクトを選択し、2回タップするとオブジェクトをダブルクリックするように設定できます（デフォルトで有効に設定されています）。
- エッジ モーション。指がタッチパッドの端まできてもスクロールし続けるように設定できます（デフォルトで無効に設定されています）。
- パーム チェック。入力中にタッチパッドに手が触れても、カーソルが意図せず移動しないように設定できます（デフォルトで無効に設定されています）。

マウスの速度や軌跡などの機能も[マウスのプロパティ]ウィンドウで設定できます。

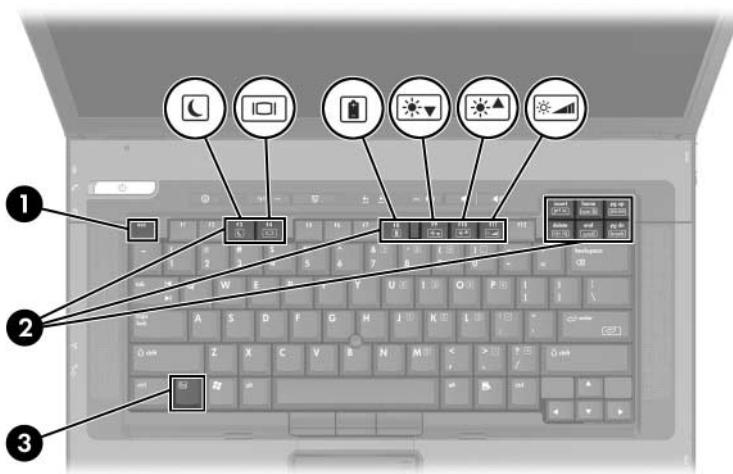
[マウスのプロパティ]にアクセスするには、次の操作を行います。

- » [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハード ウェア]→[マウス]の順に選択します。

ホットキー

ホットキーは、[esc]キー①、ファンクションキー②、および[fn]キー③の組み合わせです。

ホットキーの機能は、[esc]、[f3]、[f4]、および[f8]～[f11]のファンクションキーにアイコンで示されています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。



上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。

ホットキーのクイック リファレンス

機能	機能をアクティブにするキーの組み合わせ	機能を非アクティブにするキーの組み合わせ
スタンバイの起動	[fn]+[f3]	電源/スタンバイ ボタンを押す
ノートブック コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの画面の切り替え	[fn]+[f4]	[fn]+[f4]
バッテリ情報の表示	[fn]+[f8]	[fn]+[f8]
画面の輝度を下げる	[fn]+[f9]	[fn]+[f10]
画面の輝度を上げる	[fn]+[f10]	[fn]+[f9]
周辺光センサのオン/オフの切り替え	[fn]+[f11]	[fn]+[f11]
システム情報の表示	[fn]+[esc]	[fn]+[esc]

ホットキー コマンドの使用

スタンバイの起動 ([fn]+[f3])

ノートブック コンピュータの電源が入っているときに [fn]+[f3] ホットキーを押すと、スタンバイが起動します。スタンバイが起動すると、作業中のファイルがランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面が消えて、節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイランプが点滅します。

スタンバイから復帰するには、次の操作を行います。

» 電源/スタンバイ ボタンを押します。

[fn]+[f3] ホットキーは、スタンバイを起動するように出荷時に設定されています。[fn]+[f3] ホットキーの機能 (Windowsでは「スリープ ボタン」と呼ばれます) は、変更することができます。たとえば、[fn]+[f3] ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。スタンバイ、ハイバネーション、および [fn]+[f3] ホットキーの機能の変更方法について詳しくは、「[第2章 電源](#)」を参照してください。

表示画面の切り替え ([fn]+[f4])

[fn]+[f4] ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータの外付けモニタコネクタと Sビデオ出力コネクタに接続されているディスプレイ デバイスの間で表示画面を切り替えることができます。たとえば、コンピュータに外付けモニタを接続している場合は、[fn]+[f4] ホットキーを複数回押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外部VGAビデオ方式を使ってコンピュータからビデオ情報を受け取ります。[fn]+[f4] ホットキーでは、外部VGA以外の方式を使用するデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

次の5つのビデオ伝送方式が [fn]+[f4] ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD (コンピュータ本体のディスプレイ)
- 外部VGA (ほとんどの外付けモニタ)
- Sビデオ (Sビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャ ボード)
- コンポジット ビデオ (コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャ ボード)
- DVI-D (DVI-Dインターフェースをサポートする外付けモニタ)



DVI-Dデバイスは、コンピュータが別売のドッキング デバイスに接続されている場合にのみ、コンピュータに接続できます。

バッテリ充電情報の表示 ([fn]+[f8])

[fn]+[f8] ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリ パックの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリ パックと、各バッテリ パックの残量が確認できます。

バッテリ パックの位置は、次の番号で表示されます。

- #1はメイン バッテリ パックです。
- #2はトラベル バッテリ パックです。

輝度を下げる ([fn]+[f9])

[fn]+[f9] ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度のレベルが増分します。

輝度を上げる ([fn]+[f10])

[fn]+[f10] ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度のレベルが増分します。

周辺光センサ ([fn]+[f11])

[fn]+[f11] ホットキーを押すと、周辺光センサのオン/オフを切り替えることができます。周辺光センサについて詳しくは、この章の「[周辺光センサ](#)」を参照してください。

システム情報の表示 ([fn]+[esc])

[fn]+[esc] ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやソフトウェアのバージョン番号に関する情報が表示されます。[fn]+[esc] ホットキーをもう1回押すと、システム情報が画面から消えます。



システム BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号です。BIOS の日付は 10/19/2002 F.07 などの 10 進数形式で表示される場合があります。

外付けキーボードでのホットキーの使用

接続する別売の外付けキーボードの種類によって、使用できるホットキーが異なります。USBキーボードはQuick Launch Buttonsソフトウェアで制御されるホットキー機能のみをサポートします。Quick Launch Buttonsソフトウェアについて詳しくは、この章の「[Quick Launch Buttons](#)」を参照してください。

以下の表に、一部のホットキー機能を外付けキーボードで実行する方法を示します。

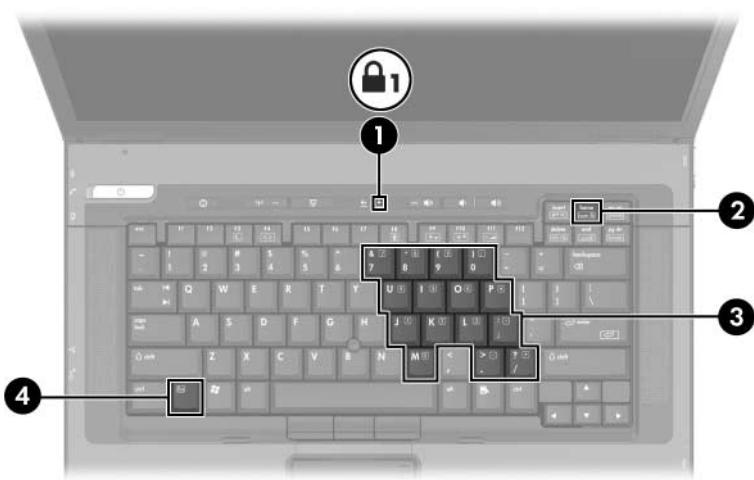
ノートブック コンピュータのキー	外付けキーボードのキー
[fn]+[f3]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f3] (PS/2キーボードのみ)
[fn]+[f4]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f4] (PS/2キーボードのみ)
[fn]+[f8]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f8]
[fn]+[f9]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f9] (PS/2キーボードのみ)
[fn]+[f10]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f10] (PS/2キーボードのみ)
[fn]+[f11]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f11]
[fn]+[esc]	[scroll lock]+[scroll lock]+[esc]

テンキー

お使いのノートブック コンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

内蔵テンキーの使用

15個の内蔵テンキーは外付けテンキーと同じように使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの右上隅にあるアイコンで示された機能が実行されます。



名称	機能
① Num Lockランプ	Num Lockまたは内蔵テンキーが有効なときに点灯します
② [num lock]キー	[fn]キーと組み合わせて使用することで、内蔵テンキーのオン/オフを切り替えます
③ 内蔵テンキー	15個のテンキーです。[fn] + [num lock]キーを押してオン/オフを切り替えます
④ [fn]キー	[num lock]キーと組み合わせて使用することで、内蔵テンキーのオン/オフを切り替えます



上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、[fn]+[num lock]キーを押します。Num Lockランプが点灯します。[fn]+[num lock]キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。



外付けキーボードやテンキーがノートブック コンピュータまたは別売のドッキングデバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

[fn]キーまたは[fn]+[shift]キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーの機能をテンキーの入力機能に変更するには、次の操作を行います。
 - [fn]キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、次の操作を行います。
 - 小文字を入力するには、[fn]キーを押しながら文字を入力します。
 - 大文字を入力するには、[fn]+[shift]キーを押しながら文字を入力します。

外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lockモードがオンのときとオフのときとで機能が異なります。たとえば、次のようにになります。

- Num Lockがオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lockがオフのときは、矢印キー、[page up]キー、[page down]キーと同様に機能します。

外付けテンキーでNum Lockモードをオンにすると、ノートブック コンピュータのNum Lockランプが点灯します。外付けテンキーでNum Lockをオフにすると、コンピュータのNum Lockランプが消灯します。

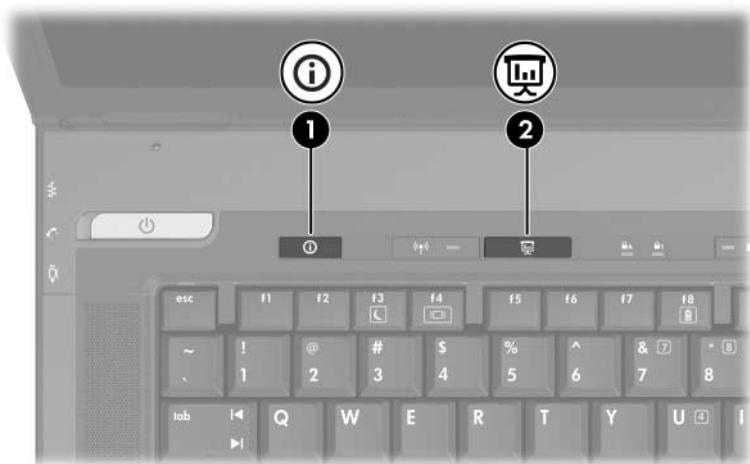
外付けテンキーを接続すると、内蔵テンキーを使用することができません。

作業中に外付けテンキーのNum Lockモードのオンとオフを切り替えるには、コンピュータではなく、外付けテンキーの[num lock]キーを押します。

Quick Launch Buttons

Quick Launch Buttonsの位置

このノートブック コンピュータには、よく使用するアプリケーションを起動できるQuick Launch Buttonsが2つあります。



名称	機能
① Info Center Button (Info Centerボタン)	よく使用するソフトウェア ソリューションの一覧を表示します
② Presentation Mode Button (プレゼンテーション モード ボタン)	プレゼンテーション モードを起動します。プレゼンテーション モードについては、この章の「 プレゼンテーション モード 」を参照してください

Quick Launch Buttonsソフトウェアの使用

Quick Launch Buttons ソフトウェアは、Quick Launch Buttons と、ノートブック コンピュータのキーボードおよび別売の外付けキーボードのホットキーをサポートします。外付けキーボードは、コンピュータまたは別売のドッキング デバイスにあるUSBポートに接続できます。

Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動するには、次の操作を行います。

- » [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。

通知領域またはデスクトップのアイコンを使用して、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動することもできます。アイコンを通知領域またはデスクトップに追加するには、以下の手順で操作します。

1. Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. 通知領域にアイコンを追加するには、[タスクバーにアイコンを表示]の隣にチェック マークを入れます。

アイコンをダブルクリックすると、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動できます。アイコンを左クリックすると現在の設定を変更でき、右クリックすると以下のようなメニュー項目が表示されます。

- [Quick Launch Buttonsのプロパティの調整] : Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。
- [アイコンを隠す] : システム トレイからアイコンを削除します。
- [プレゼンテーションをオンにする]または[プレゼンテーションをオフにする] : プrezentation モードをオンまたはオフにします。
- [周辺光センサをオンにする]または[周辺光センサをオフにする] : 周辺光センサをオンまたはオフにします。

プレゼンテーション モード

Presentation Mode Buttonを初めて押したときに、[ようこそ]ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで、Presentation Mode Buttonを押したときに自動的に項目が開き、電源の設定が最適な状態に調整されるようにプログラムできます。また、Presentation Mode Buttonを押すたびに[ようこそ]ダイアログ ボックスを開くかどうかも、このダイアログ ボックスで制御できます。

[ようこそ]ダイアログ ボックスで[今後このダイアログ ボックスを表示しない]チェック ボックスにチェックを入れた場合、設定を変更するにはQuick Launch Buttonsソフトウェアを起動する必要があります。

プレゼンテーション モード ボタン

Presentation Mode Buttonを使用すると、プレゼンテーション モードのオンとオフが切り替わります。プレゼンテーション モードをオンにすると、指定したアプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWeb サイトが起動または表示されます。画像は、ノートブック コンピュータの画面と、背面の外付けモニタ ポートやSビデオ出力コネクタまたは別売のドッキング デバイスのポートやコネクタに接続された外付けデバイスに、同時に表示されます。



プレゼンテーション モードの設定

プレゼンテーション モードの設定は、Quick Launch Buttons ソフトウェアを使用して変更することができます。プレゼンテーション モードの設定を変更するには、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。Quick Launch Buttons ソフトウェアについて詳しくは、この章の「[Quick Launch Buttons ソフトウェアの使用](#)」を参照してください。

[起動するプログラム] フィールドでは、Presentation Mode Button を押すと起動または表示されるファイル、アプリケーション、Web サイト、またはフォルダを指定できます。[参照] ボタンをクリックして項目を参照するか、[起動するプログラム] フィールドの下向き矢印をクリックして最近設定した項目を指定します。

周辺光センサ

このノートブック コンピュータには、周囲の明るさに応じて画面の輝度を自動的に調節する光センサが内蔵されています。周囲の明るさが変わると、周辺光センサが変化を感知して画面の輝度を自動的に調節します。

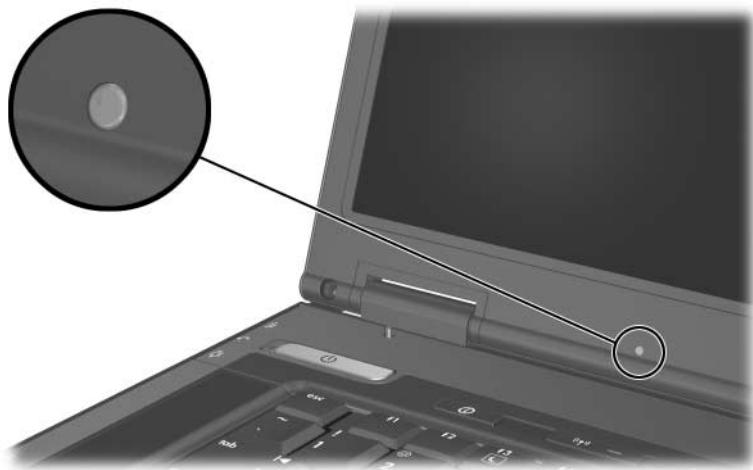
次の3つの方法で、周辺光センサのオン/オフを切り替えられます。

- [fn]+[f11] ホットキーを押す
- Quick Launch Buttons ソフトウェアを使用する
- 通知領域の[Quick Launch Buttons] ソフトウェア アイコンを使用する



Quick Launch Buttons ソフトウェアまたは通知領域のソフトウェア アイコンを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、Quick Launch Buttons ソフトウェアがインストールされている必要があります。

ホットキーを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、周辺光センサ用の組み合わせである[fn]+[f11]ホットキーを押します。



Quick Launch Buttons ソフトウェアを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、以下の手順で操作します。

1. 次のどちらかの方法で、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。
 - [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons] アイコンの順に選択します。
 - または
 - 通知領域の[Quick Launch Buttons] ソフトウェア アイコンをダブルクリックします。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [周辺光センサを有効にする]チェック ボックスにチェックを入れるか外します。
4. [適用]→[OK]の順に選択します。

通知領域の[Quick Launch Buttons]ソフトウェア アイコンを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、以下の手順で操作します。

1. 通知領域の[Quick Launch Buttons]ソフトウェア アイコンを右クリックします。
2. [周辺光センサをオンにする]または[周辺光センサをオフにする]を選択します。

Quick Tile

Quick Tileを使用して、デスクトップに表示されているウィンドウをすばやく整理できます。

1. 次のどちらかの方法で、Quick Launch Buttonsソフトウェアを起動します。
 - [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]アイコンの順に選択します。
 - または
 - 通知領域の[Quick Launch Buttons]ソフトウェア アイコンをダブルクリックします。
2. [Quick Tile]タブを選択します。
3. [上下に並べて表示]または[左右に並べて表示]オプションを選択します。
4. 適用するソフトウェアを、[現在実行中のアプリケーション]リストから選択します。
5. [OK]を選択します。

Info Center

Info Centerを使用して、次のソフトウェアをすばやく起動することができます。

- Data Protection Solutions
- ヘルプとサポート
- HPノートブック オプション製品ツアー
- Software Setup
- Wireless Assistant
- システム設定

Info Centerにアクセスするには、以下の操作を行います。

- Info Centerボタンを押します。

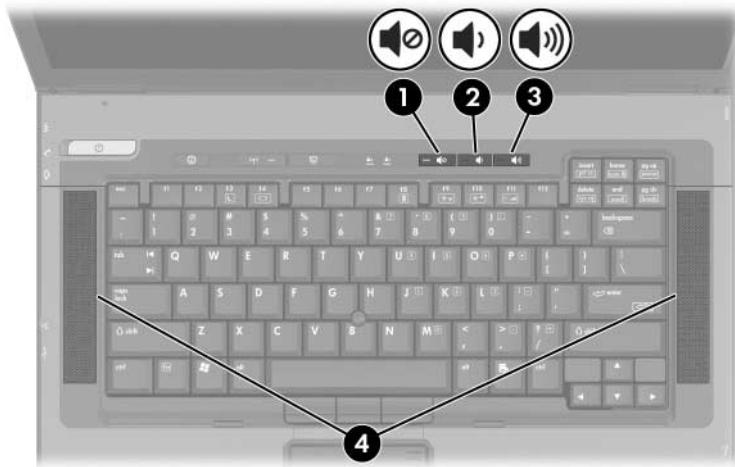
または

- [スタート]→[Info Center]の順に選択します。

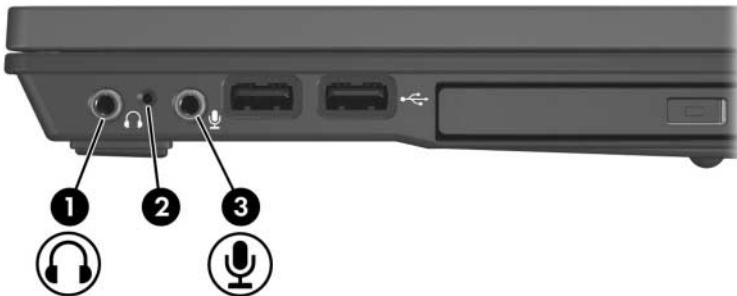
詳しくは、Info Centerのヘルプを参照してください。

マルチメディア

オーディオ機能



名称	機能
① ミュート ボタン	ノートブックコンピュータの音量を消音（ミュート）します
② 音量下げボタン	コンピュータの音量を下げます
③ 音量上げボタン	コンピュータの音量を上げます
④ スピーカー（×2）	コンピュータのサウンドを出力します



名称	機能
① オーディオ出力（ヘッドフォン） コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカ、ヘッドフォン、ヘッドセット、テレビオーディオなどを接続したときに、システムのサウンドを出力します
② 内蔵ステレオマイク	ステレオサウンドを録音します
③ オーディオ入力（マイク） コネクタ	別売のモノラルマイクを接続します

オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

お使いのノートブック コンピュータには、ステレオのマイク コネクタが装備されています。マイクをマイク コネクタに接続する場合は、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

- ステレオ（デュアル チャンネル）マイクを接続する場合、ステレオ サウンドが録音されます。
- モノラル（シングル チャンネル）マイクを接続する場合、左 チャンネルのサウンドが両方のチャンネルに録音されます。
- ダイナミックマイクを接続する場合、感度が不足して明瞭に録音できない可能性があります。
- 外付けマイクを接続する場合、コンピュータ本体の内蔵マイクは無効になります。

オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用



警告：突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォンやヘッドセットを使用してください。



注意：外付けデバイスの損傷を防ぐため、モノラル コネクタをヘッド フォン コネクタに接続しないでください。

ヘッドフォン コネクタは、テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ機器のオーディオ機能を接続するためにも使用します。

ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続する場合、次の点に注意してください。

- 3.5 mmのステレオ プラグのみを使用してください。
- 最高の音質を得るには、24~32 Ωのヘッドフォンを使用してください。



ノートブック コンピュータの内蔵スピーカは、オーディオ/ビデオ機器を接続すると無効になります。

音量の調整

音量の調整には、次のどちらかを使用します。

■ ノートブック コンピュータ本体の音量ボタン

- 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュートボタンを押します。また、[−]ボタンと[+]ボタンを同時に押して、消音したり音量を元に戻したりすることもできます。
- 音量を下げるには、音量下げボタンを押します。
- 音量を上げるには、音量上げボタンを押します。

■ Windowsの[ボリューム コントロール]

1. 通知領域（タスクバーの右端）の[音量]アイコンを1回クリックします。
2. スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。（[ミュート]の隣のチェックボックスにチェックを入れて、音量を消音することもできます。）

または

1. [音量]アイコンをダブルクリックします。
2. [ボリューム コントロール]列で音量スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。音量のバランスの調節や消音もできます。



ソフトウェアによっては、音量調節機能を持つものもあります。

[音量]アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の手順でアイコンを通知領域に追加します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]の順に選択します。
2. [音量]タブを選択します。
3. [タスクバーに音量アイコンを配置する]チェックボックスにチェックを入れます。
4. [適用]を選択します。

ビデオ機能

ノートブック コンピュータの7ピンのSビデオ出力コネクタには2つの用途があり、テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッドプロジェクタ (OHP)、またはビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を、別売の標準 (4ピン) Sビデオ ケーブルで接続できます。Sビデオ出力コネクタの追加の3ピンを使用して、別売のSビデオ-コンポジット アダプタをコンピュータに接続できます。

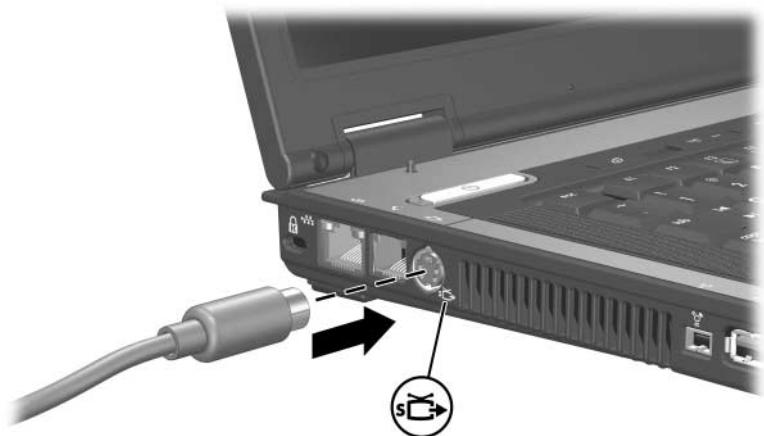
コンピュータのSビデオ出力コネクタには、1台のSビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイとその他のサポートされている外付けディスプレイに、画面を同時に表示できます。通常、Sビデオの接続では、コンポジット ビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ信号をSビデオ出力コネクタ経由で送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能なSビデオ ケーブルが必要です。別売のマルチベイドライブのDVDの動画をテレビで再生するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオ ケーブルが必要です。

Sビデオ出力コネクタの使用

ビデオ機器をSビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. Sビデオケーブルの一端をノートブックコンピュータのSビデオ出力コネクタに接続します。



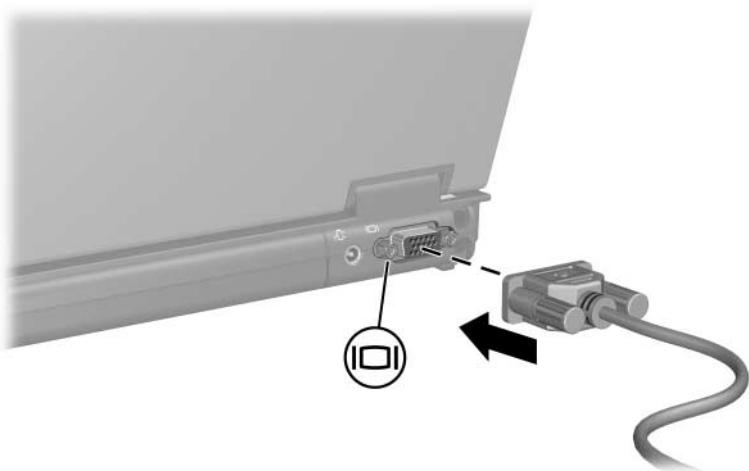
2. ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。詳しくは、ビデオ機器のマニュアルを参照してください。



コンピュータに別売のドッキングデバイスを装着しているためにコンピュータのSビデオ出力コネクタを使用できない場合は、ドッキングデバイスのSビデオ出力コネクタに機器を接続します。

モニタまたはプロジェクタの接続

外付けモニタまたはプロジェクタをノートブックコンピュータに接続するには、コンピュータ背面の外付けモニタポートにモニタケーブルを差し込みます。



外付けモニタまたはプロジェクタを正しく接続しても画面が表示されない場合は、[fn]+[f4]ホットキーを押して、モニタに画面を切り替えます。

マルチメディア ソフトウェア

ノートブック コンピュータでは以下のソフトウェアがサポートされています。

- Windows Media Player : オーディオCDとビデオDVDを再生し、オーディオ CD とデータ CD をコピーします。このソフトウェアは Windows オペレーティング システムに含まれています。
- InterVideo WinDVD : ビデオCDおよびDVDの動画を再生します。このソフトウェアは一部のコンピュータにプリインストールされています。このソフトウェアは、以下のどちらの方法で入手することもできます。
 - ほとんどのHPコンピュータに付属しているApplication and Driver Recoveryディスクから InterVideo WinDVD をインストールします。
 - Application and Driver Recoveryディスクがない場合は、サポート窓口に連絡し、お使いのコンピュータのリストアCDのコピーを入手します。
 - HPのWeb サイト (<http://www.hp.com/jp>) からダウンロードします。
- InterVideo WinDVD Creator Plus : DVDやビデオCD上で動画を作成および編集したり、ディスクに動画を焼き付けたりする機能を備えています。このソフトウェアは、一部のコンピュータに同梱されています。InterVideo WinDVD Creatorディスクに収録されています。
- Sonic RecordNow! : データ/オーディオCDおよびDVDのコピーを作成したり、個人用のオーディオCDおよびDVDを作成したりできます。RecordNow!は一部のコンピュータにプリインストールされています。

著作権に関する警告について

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法違反です。このノートブック コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

ソフトウェアのインストール

ノートブック コンピュータに同梱されているディスクからソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. 適切なオプティカル ドライブを外付けマルチベイまたはマルチベイIIに挿入します。「[第5章 ドライブ](#)」の「[マルチベイIIオプティカル ドライブ](#)」を参照してください。
2. 安定した電源を供給している電源コンセントに、コンピュータの電源コードを差し込みます。
3. 開いているアプリケーションをすべて閉じます。
4. ソフトウェアディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
 - 自動実行機能が有効な場合は、インストール ウィザードが表示されます。
 - 自動実行機能が無効な場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択してから、次のように入力します。

x:\\$setup.exe

(xはオプティカル ドライブを示します) その後、[OK]を選択します。

5. インストール ウィザードが表示されたら、画面上のインストール指示に従って操作します。
6. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。



インストールする各ソフトウェアに対してこのインストール手順を繰り返します。



WinDVD Creatorを正しくインストールするには、ドライブが特別な要件を満たしている必要があります。WinDVD Creatorのインストールについては、InterVideo WinDVD Creatorディスクに付属のインストール手順を参照してください。

自動再生の有効化

自動再生は、自動実行機能を有効または無効にするWindowsのオプションです。自動実行機能により、ディスクをドライブに入れてドライブのトレイを閉めるとすぐにプログラムが起動されたりトラックが再生されたりします。デフォルトでは、ノートブックコンピュータの自動再生機能は有効になっています。

自動再生機能を無効にしたり、無効になっている自動再生機能を有効にしたりする方法については、お使いのオペレーティングシステムのマニュアルまたはMicrosoftのWebサイト (<http://www.microsoft.com/japan/>) を参照してください。

DVDの地域設定の変更



注意：オプティカルドライブの地域設定は、5回までしか変更できません。

- 5回目に選択した地域設定が、オプティカルドライブの永続的な地域設定になります。
- ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[地域確認] ウィンドウの[この変更前に確定するまで、残りの変更が許可されます。] フィールドに表示されます。このフィールドの数には、5回目の永続的な変更が含まれます。

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどのDVDには、地域コードも含まれています。地域コードは、世界的なレベルで著作権を保護します。

DVDの地域コードが、お使いのオプティカルドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれているDVDを再生できます。

DVDの地域コードがお使いのドライブの地域設定と一致しない場合は、そのDVDをドライブに挿入すると[このコンテンツの再生は、この地域(リージョンコード)では許可されていません。]というメッセージが表示されます。このDVDを再生するには、お使いのオプティカルドライブの地域設定を変更する必要があります。DVDの地域設定は、オペレーティングシステムまたは一部のDVDプレーヤで変更できます。

オペレーティングシステムを使用する場合

オペレーティングシステムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [デバイスマネージャ]を開きます。まず、[スタート]→[マイコンピュータ]の順に選択します。
2. ウィンドウを右クリックして[プロパティ]→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]→[DVD/CD-ROMドライブ]の順に選択します。
3. 地域設定を変更するオプティカルドライブを右クリックして、次に[プロパティ]を選択します。
4. [DVD地域]タブで変更を行います。
5. [OK]を選択します。
6. 詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。

WinDVDを使用する場合

WinDVDを使用してドライブの地域設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. 以下のどちらかを実行して、WinDVDを起動します。
 - タスクバーの[InterVideo WinDVD]アイコンをダブルクリックします。
 - [スタート]→[すべてのプログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。
2. WinDVD Playerのウィンドウを右クリックします。
3. [セットアップ]を選択します。
4. 地域のボタンを選択して、現在地を選択します。
5. [OK]を選択します。

他のDVDソフトウェアを使用する場合

WinDVD以外のDVDプレーヤを使用してドライブの地域設定を変更する場合は、そのプレーヤに付属のマニュアルを参照してください。

ドライブ

リムーバブル ドライブを使うと、データを保存したり、データにアクセスしたりできます。

- 標準的なドライブをシステムに追加するには、ノートブック コンピュータのマルチベイIIまたは別売のドッキング デバイスにドライブを取り付けます。
- USB ドライブを追加するには、コンピュータまたは別売のドッキング デバイスのUSBポートに接続します。

USB ドライブの接続については、「[第9章 USBデバイス](#)」を参照してください。

ドライブの取り扱い上の注意

ドライブは、ノートブック コンピュータ コンポーネントの中でも繊細なコンポーネントです。そのため、注意して取り扱う必要があります。次に示すのは、すべてのドライブに適用される注意事項です。特定の手順に関する注意事項は、操作手順の説明に含まれています。



注意：コンピュータやドライブが損傷したりデータが失われたりすることを防ぐために、次の点に注意してください。

- ドライブは、落としたり、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。
- ドライブを取り付けるときには、無理な力を加えないでください。差し込む力が強すぎると、コネクタが壊れる恐れがあります。
- 洗剤などの液体をドライブに垂らしたり、高温の場所にドライブを放置したりしないでください。
- 修理または交換を行うとき以外は、メインハードドライブ（ハードドライブベイ内のハードドライブ）を取り外さないでください。
- 静電気によって電子部品が損傷する可能性があります。静電気の放電によってコンピュータやドライブが損傷することを防ぐために、以下の予防措置をとってください。
 - ドライブに触れる前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまつた静電気を放電してください。
 - ドライブのコネクタに触れないようにしてください。

静電気による損傷を防止する方法について詳しくは、Notebook Documentationディスクに収録されている『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

- 磁気を発する装置にドライブやフロッピーディスクを近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をベルトコンベア上でチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ドライブやフロッピーディスクには影響しません。
- ドライブを郵便や宅配便で送付する場合は、衝撃、振動、および高温多湿の環境からドライブを保護するように緩衝材で包み、しっかりと梱包して「コワレモノ—取り扱い注意」などのラベルを貼ってください。

IDE ドライブ ランプ

メイン ハード ドライブ、またはマルチベイ II に挿入された ハード ドライブ や オプティカル ドライブ にアクセスしているときは、IDE ドライブ 動作 ランプ が点灯します。



メイン ハードドライブ



注意: コンピュータや外付けハードドライブの電源を入れたままある場所から別の場所へ移動させるような場合は、重要なデータの損失を防ぐため、必ず事前にスタンバイを起動してください。スタンバイを起動するには、[スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順に選択します。スタンバイからの復帰および起動について詳しくは、「[第2章 電源](#)」を参照してください。

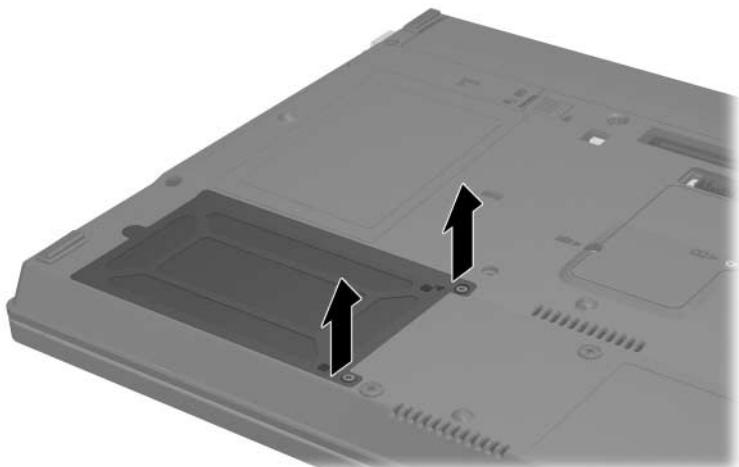
メイン ハードドライブの取り外し

メイン ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

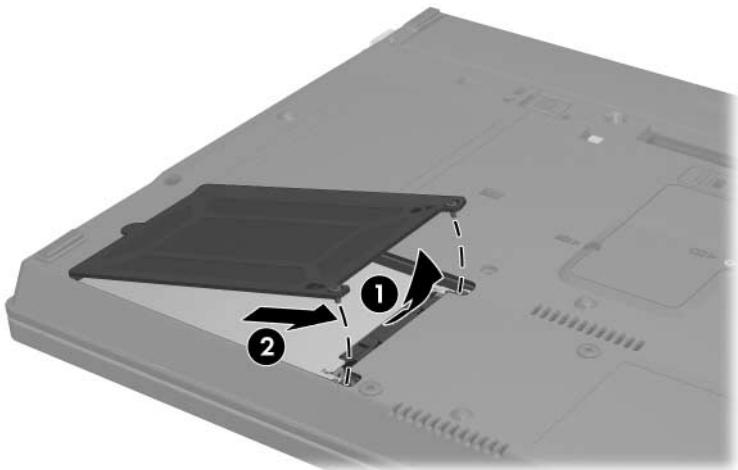
1. 必要なデータを保存して、開いているアプリケーションを閉じます。
2. ノートブック コンピュータの電源を切り、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータを裏返します。
4. ハードドライブ ベイ カバーのネジを緩めます。



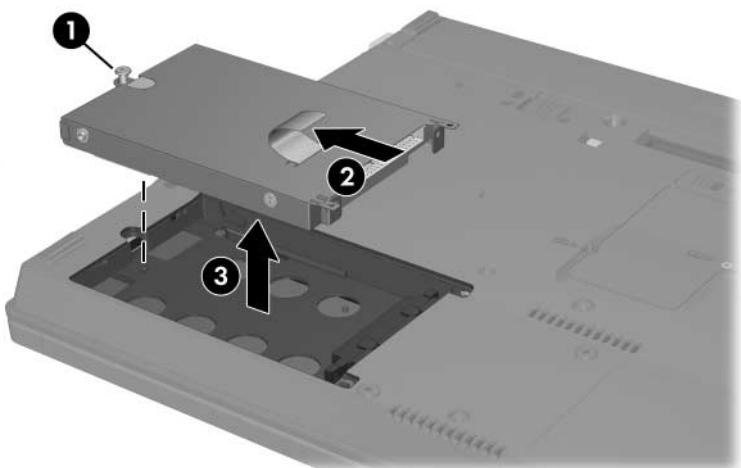
ハードドライブ ベイ カバーのネジは取り外せないように設計されていますので、取り外そうとしないでください。



5. ハードドライブベイカバーを持ち上げて①、コンピュータから取り外します②。



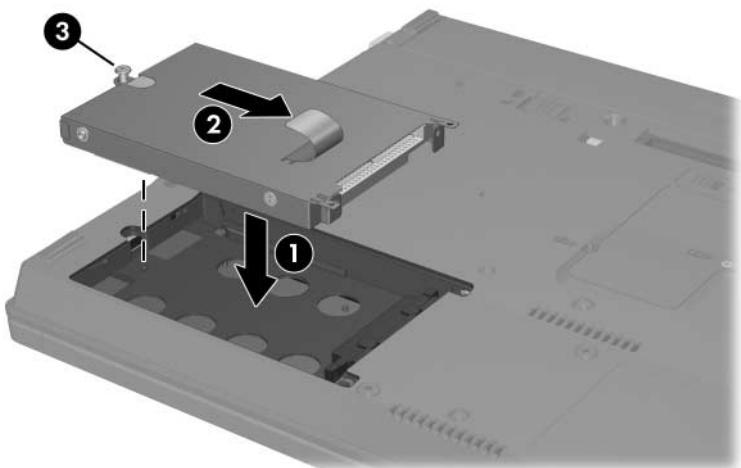
6. ハードドライブのネジ①を緩めます。
7. ハードドライブをコンピュータの端の方向にスライドさせ②、持ち上げて取り外します③。



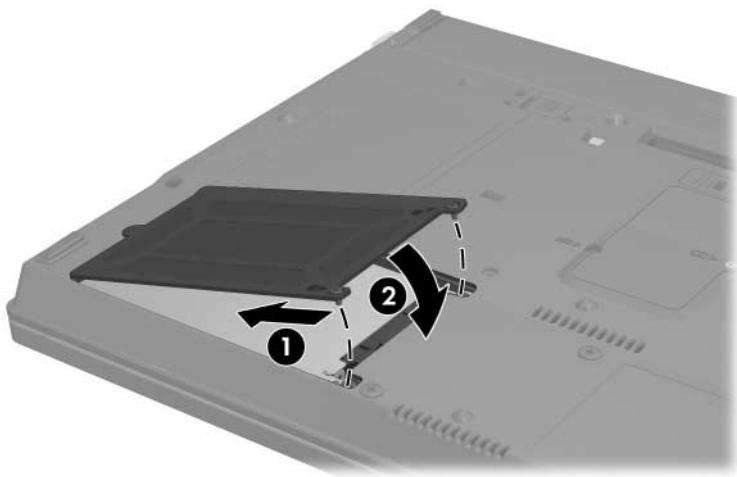
メイン ハード ドライブの再取り付け

メイン ハード ドライブをもう一度取り付けるには、以下の手順で操作します。

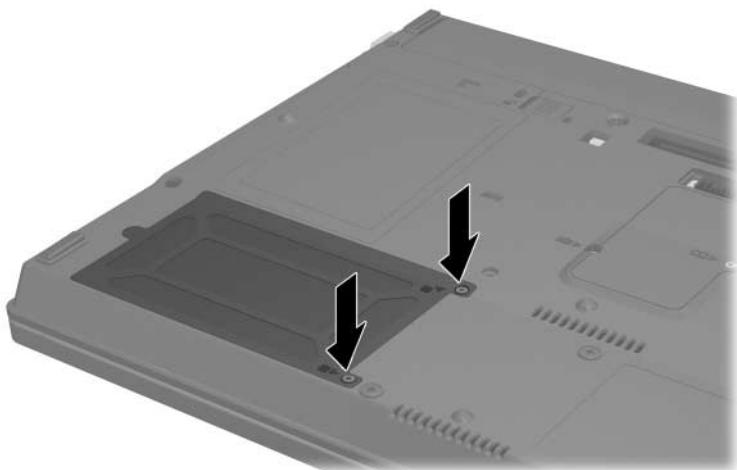
1. ハード ドライブをハード ドライブ ベイの位置まで下げ①、所定の位置に固定されるまでコンピュータの端と逆の方向にスライドさせます②。
2. ハード ドライブのネジ③を締めます。



3. ハードドライブ カバーのタブをノートブック コンピュータの溝に合わせて①、所定の位置に固定されるまでハードドライブ カバーを押し下げます②。



4. ハードドライブ ベイ カバーのネジを締めます。



マルチベイIIドライブ

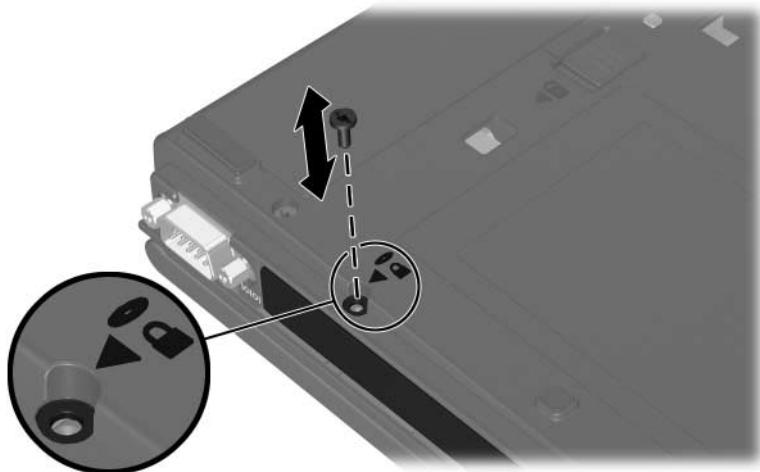
マルチベイIIでは、別売のオプティカル ドライブの他、専用のアダプタを装着した別売のハードドライブ モジュールを使用できます。

マルチベイII固定ネジ

ノートブック コンピュータ裏面のマルチベイIIの下にあたる部分に取り付けられている固定ネジにより、マルチベイIIに装着したドライブのセキュリティが強化されます。コンピュータを持ち運んだり送ったりする時は固定ネジを取り付けておく必要がありますが、通常の使用時は取り外しておいて構いません。



マルチベイIIへのドライブの着脱を行う場合は、事前に固定ネジを取り外す必要があります。



マルチベイIIハードドライブ

マルチベイIIには、ハードドライブがアダプタに装備されている、別売のハードドライブモジュールを挿入できます。

ハードドライブモジュールの挿入

ハードドライブモジュールをマルチベイIIに挿入するには、ハードドライブモジュールの右側面を押して、所定の位置に固定されるまでマルチベイIIにゆっくりとスライドさせます。



ハードドライブ モジュールの取り出し

ハードドライブをマルチベイIIから取り出すには、以下の手順で操作します。

1. 必要なデータを保存して、開いているアプリケーションをすべて閉じます。
2. 画面右下隅の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。(接続または装着されている取り外し可能なデバイスの一覧が表示されます。)
3. ハードドライブを選択し、[停止]ボタンをクリックします。停止するデバイスの確認ダイアログボックスが表示されたら、正しいデバイスが選択されていることを確認してから[OK]ボタンをクリックします。(通知領域の付近に、安全に取り外す準備が整ったことを知らせるメッセージが表示されます。)
4. ハードドライブ モジュールの右側面をゆっくりと押して①、ロックを解除します。
5. ハードドライブ モジュールをスライドさせてマルチベイIIから取り出します②。



マルチベイIIオプティカル ドライブ

ここでは、マルチベイIIでのオプティカルディスク（CDやDVDなど）の使用方法について説明します。

オプティカル ドライブの挿入

オプティカル ドライブをマルチベイIIに挿入するには、ドライブの右側面を押して、所定の位置に固定されるまでマルチベイIIにゆっくりとスライドさせます。



オプティカル ドライブの取り出し

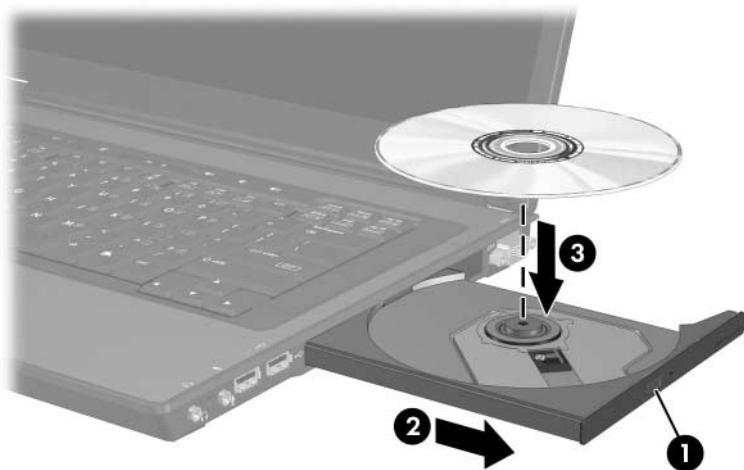
オプティカル ドライブをマルチベイIIから取り出すには、以下の手順で操作します。

1. 必要なデータを保存して、開いているアプリケーションをすべて閉じます。
2. 画面右下隅の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。(接続または装着されている取り外し可能なデバイスの一覧が表示されます。)
3. オプティカル ドライブを選択し、[停止]ボタンをクリックします。停止するデバイスの確認ダイアログ ボックスが表示されたら、正しいデバイスが選択されていることを確認してから[OK]ボタンをクリックします。(通知領域の付近に、安全に取り外す準備が整ったことを知らせるメッセージが表示されます。)
4. オプティカル ドライブの右側面をゆっくりと押して①、ロックを解除します。
5. オプティカル ドライブをスライドさせてマルチベイIIから取り出します②。



オプティカル ディスクの挿入

1. ノートブック コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタンを押して①、メディア トレイを押し出します。
3. 完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します②。CDまたは片面 DVDを、ラベルを上にしてトレイに置きます。
4. ディスクをそつと下に押して ③、トレイの回転軸にはめ込みます。
(ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて回転軸の上に置き、押してはめ込みます。)



5. メディア トレイを閉じます。

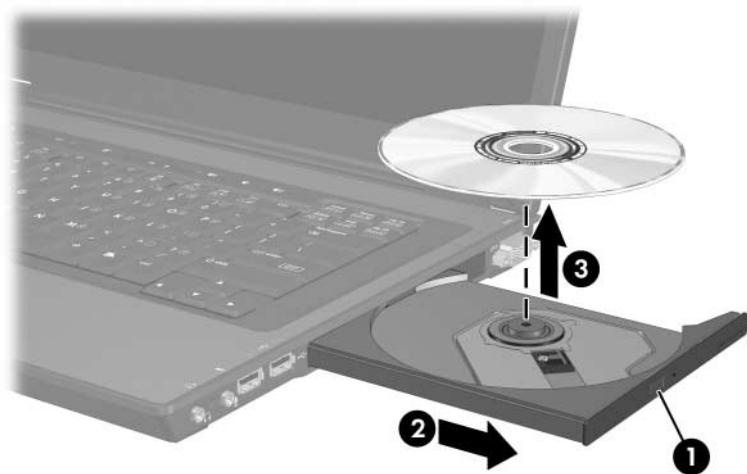


DVDの挿入後、自動実行機能によってDVDおよびWinDVD Playerが起動されるまでに少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

オプティカル ディスクの取り出し（電源使用時）

電源使用時には、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン①を押して、メディア ドライブが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します②。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します③。（ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。メディア ドライブが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて取り出します。）

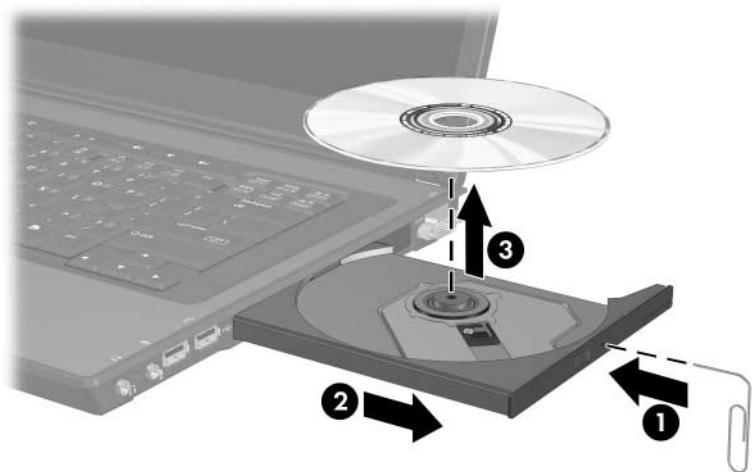


4. メディア ドライブを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

オプティカル ディスクの取り出し（電源切断時）

電源を利用できないときは、以下の手順で操作します。

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース アクセスにクリップの端を差し込みます①。
2. クリップをそっと押して、メディア レイフが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します②。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します③。（ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。メディア レイフが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて取り出します。ディスクを保護するには保護ケースに入れます。）



4. メディア レイフを閉じます。

オプティカル ディスクの内容の表示

オプティカルディスクをドライブに挿入すると、自動実行機能が有効な場合はディスクの内容が画面に自動的に表示されます。

自動実行機能が有効にされていないときは、次の方法でディスクの内容を表示します。

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択し、次のように入力します。

X:

Xはディスクが挿入されているドライブ名を示します。

2. [enter]キーを押します。

スタンバイまたはハイバネーションの防止



注意: ビデオの劣化およびオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、メディアを再生しているときにスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

ドライブ メディア（CD、CD-RW、DVDなど）を使用中に、誤ってスタンバイまたはハイバネーションを起動した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断される場合があります。
- [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。[いいえ]を選択します。

電源/スタンバイ ボタンを押して、ハイバネーションまたはスタンバイから復帰します。オーディオまたはビデオが再開されるか、ドライブ メディアを再起動する必要があります。

PCカードとは



注意: このPCカード ソフトウェアを他社製のソフトウェアまたはイネーブラで上書きしてしまった場合、他のPCカードが正常に動作しなくなる場合があります。PCカードに付属のマニュアルに専用のデバイス ドライバをインストールするように記載されている場合は、次のようにします。

- お使いのオペレーティング システム用のデバイス ドライバだけをインストールしてください。
- PCカードの製造販売元が他のソフトウェア（カード サービス、ソケット サービス、イネーブラなど）を提供していても、それらをインストールしないでください。

PCカードは、クレジットカードと同じくらいの大きさのデバイスで、PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association) の標準仕様に準拠しています。

- お使いのノートブック コンピュータは32ビット (CardBus) および16ビットのPCカードに対応しています。
- お使いのコンピュータには1基のPCカード スロットが装備されており、1枚のType IカードまたはType IIカードに対応しています。
- ズーム ビデオ用PCカードには対応していません。
- 12-V PCカードには対応していません。

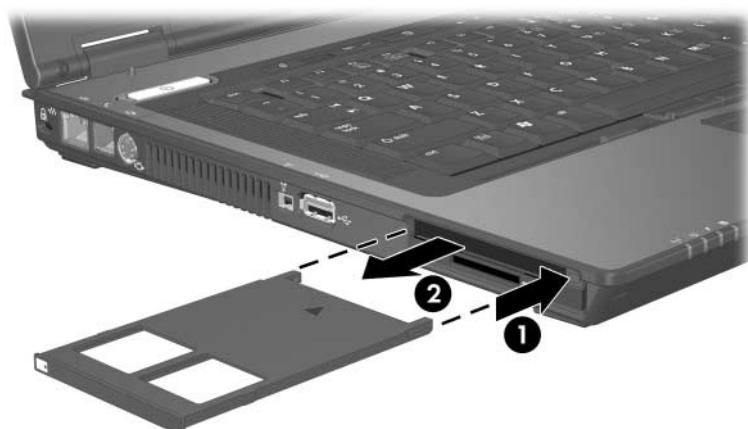
PCカードの挿入



注意:PCカード コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- PCカード スロットにPCカードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。
- PCカードがPCカード スロットに挿入されているときには、ノートブック コンピュータを動かしたり、持ち運んだりしないでください。

1. PCカードイジェクト ボタンを押して①PCカード カバーを解放します。ボタンを飛び出させるために1回、PCカード カバーを解放するために1回、合計2回PCカードイジェクト ボタンを押す必要がある場合もあります。
2. PCカード カバーをゆっくりとスライドさせて取り出します②。



3. PCカードのラベル側を上にし、コネクタをコンピュータ側に向けて持ちます。
4. カードがしっかりとはまるまで、PCカードスロットに静かにスライドさせて挿入します。(オペレーティングシステムによって音が鳴り、デバイスが検出されたことが示されます。)



PCカードの取り出し



注意: データの損失やシステムが反応しなくなることを防ぐために、PCカードを取り出す前にPCカードを停止します。

1. 通知領域（タスクバーの右端）の[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択してからPCカードを選択し、PCカードを停止します（[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、タスクバーの[隠れているインジケータを表示します]を選択します）。
2. PCカードイジェクトボタンを押して①PCカードを解放します。ボタンを飛び出させるために1回、PCカードを解放するために1回、合計2回PCカードイジェクトボタンを押す必要がある場合もあります。
3. PCカードをゆっくりとスライドさせて取り出します②。



装着されているPCカードは、使用されていなくても電力を消費します。節電するには、使用していないPCカードを取り出すか、停止します。

SDカード**SDカードとは**

SD (Secure Digital) メモリ カードは切手くらいの大きさの記憶装置で、データを格納してそれをPDA、カメラ、その他のSD対応のPCなどのデバイス間で共有することができます。



SDカードの挿入



注意：SDカードコネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- SDカードスロットにSDカードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。
- SDカードがSDカードスロットに挿入されているときには、ノートブックコンピュータを動かしたり、持ち運んだりしないでください。

SDカードを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. カードのラベル側を上にし、コネクタをコンピュータ側に向けて持ちます。
2. カードがしっかりとはまるまで、スロットに静かにスライドさせて挿入します。



SDカードの取り出し



注意：データの損失やシステムのロックを防ぐために、SDカードを取り出す前にカードを停止します。

SDカードを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. SDカードを使用しているアプリケーションとファイルをすべて閉じます。
2. 通知領域（タスクバーの右端）の[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択してからSDカードを選択し、SDカードを停止します（[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、タスクバーの[隠れているインジケータを表示します]を選択します）。
3. SDカードを静かに押して解放し①、SDカードをスライドさせてスロットから取り出します②。



メモリ モジュール

メモリ モジュールとは



警告: ユーザがアクセスできるノートブック コンピュータの内部コンパートメントは、メモリ コンパートメントだけです。その他のコンパートメントに対して作業を行う必要がある場合は、必ず弊社のサポート窓口にご依頼ください。

お使いのコンピュータには、2基のメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。

- 拡張メモリ モジュール コンパートメントは、コンピュータの裏面にあります。
- メイン メモリ モジュール コンパートメントは、キーボードの下にあります。

コンピュータのメモリ容量をアップグレードするには、メモリ モジュールを拡張スロットに追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールをアップグレードします。

拡張メモリ モジュール スロット



警告: 感電や装置の損傷を防ぐため、メモリ モジュールを取り付ける前に、電源コードとすべてのバッテリ パックをコンピュータから取り外してください。



注意: 静電気 (ESD) によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまつた静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、Notebook Documentation CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

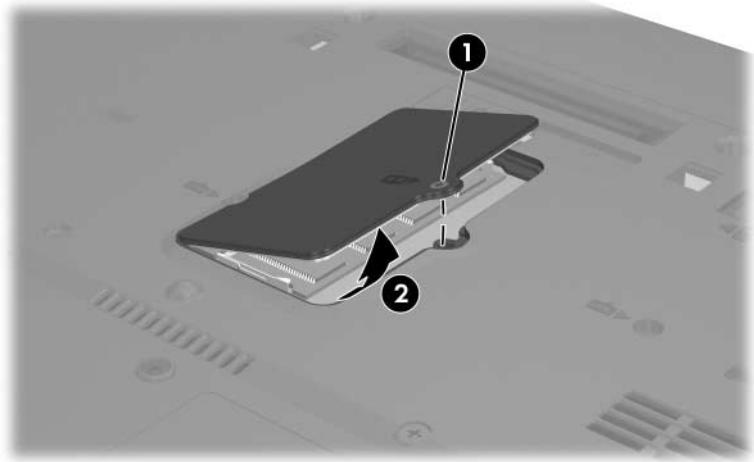
拡張メモリ スロットにメモリ モジュールを追加したり、メモリ モジュールをアップグレードしたりするには、以下の手順で操作します。

1. 作業中のデータを保存して、ノートブック コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムから電源を切ります。
2. コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを取り外します。
4. コンピュータを裏返します。
5. すべてのバッテリ パックをコンピュータから取り外します。

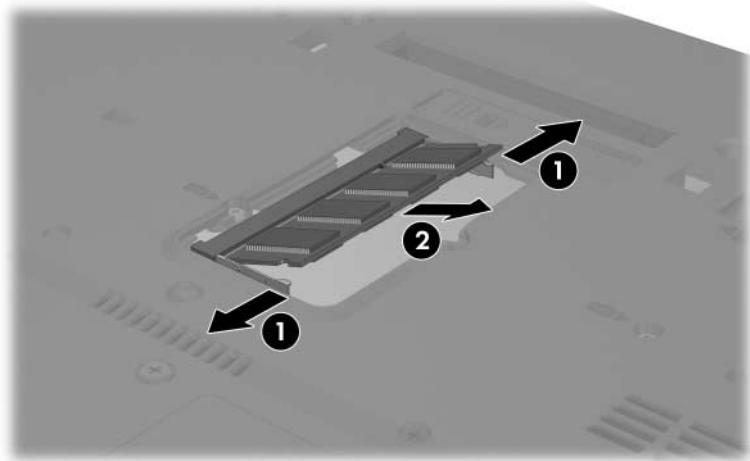
6. メモリ モジュール カバーのネジ①を緩めます。

 メモリ モジュール カバーのネジは取り外せないように設計されていますので、取り外そうとしないでください。

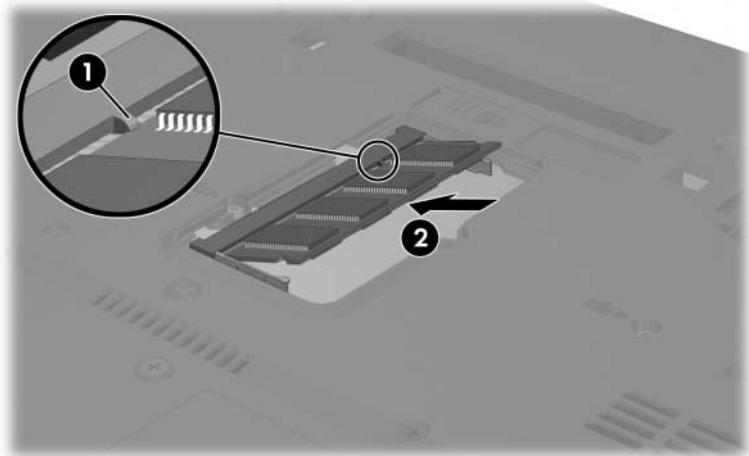
7. メモリ モジュール カバーをコンピュータから持ち上げて取り外します②。



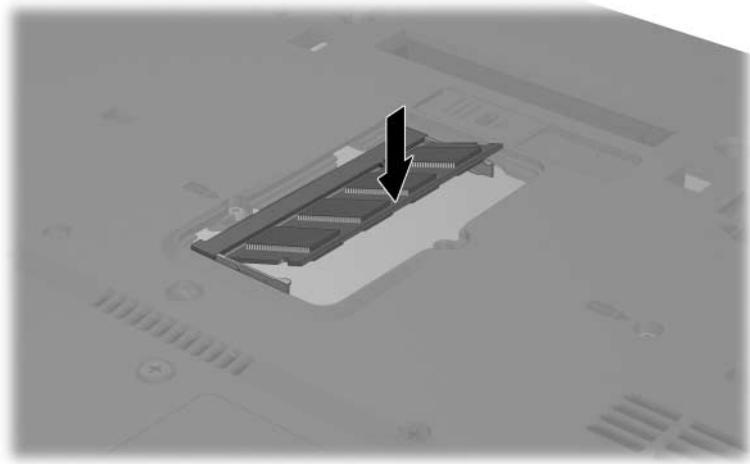
8. メモリ スロットにメモリ モジュールが取り付けられている場合は、以下の手順で取り外します。
 - a. メモリ モジュールの両側にあるプラスチック製の止め具を左右に引っ張ります①。モジュールが解放されると、少し上に出てきます。
 - b. モジュールの両端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて取り外します②。(取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。)



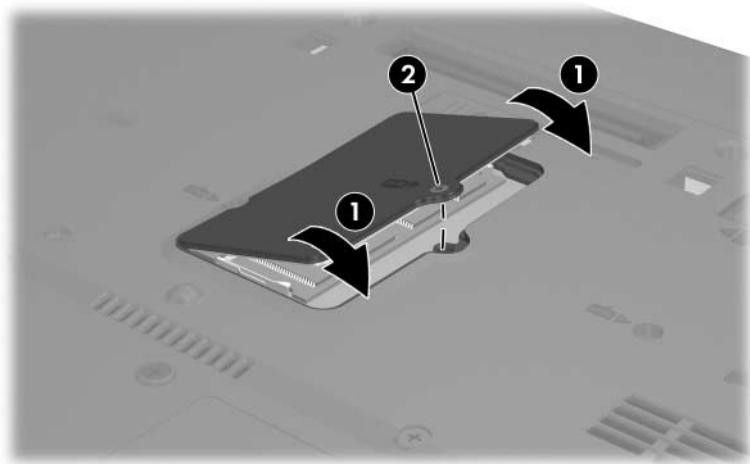
9. 以下の手順に従って、新しいメモリ モジュールを取り付けます。
 - a. モジュールの切り込みとメモリ スロットの切り込みを合わせます①。
 - b. メモリ スロットに収まるまで、メモリ コンパートメントの表面から 45° の角度でモジュールを差し込みます②。



- c. カチッと音がして留め具がモジュールを固定するまで、モジュールを押し下げます。



10. メモリ モジュール カバーを取り付けなおして①、メモリ モジュール カバーのネジ②を締めます。



メイン メモリ モジュール スロット



警告: 感電や装置の損傷を防ぐため、メモリ モジュールを取り付ける前に、電源コードとすべてのバッテリ パックをコンピュータから取り外してください。

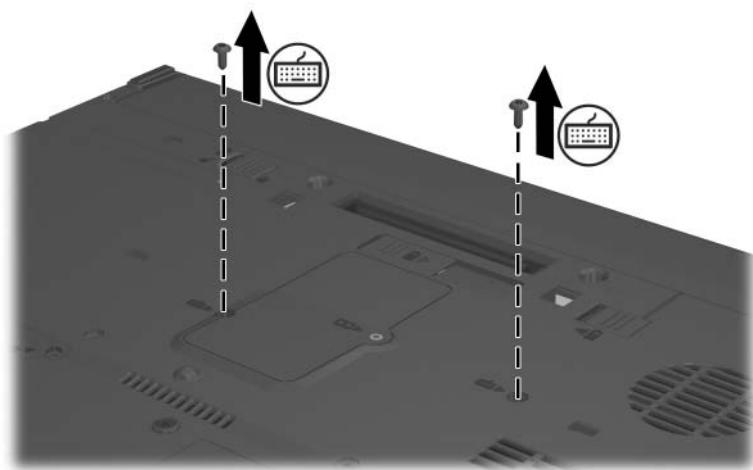


注意: 静電気 (ESD) によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまつた静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、Notebook Documentation CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

メイン メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するには、以下の手順で操作します。

1. 作業中のデータを保存して、ノートブック コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムから電源を切ります。
2. コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを取り外します。
4. すべてのバッテリ パックをコンピュータから取り外します。

5. コンピュータの裏面から、2 つのキーボード固定ネジを取り外します。(各キーボード固定ネジの横にはキーボードのアイコンが記されています。)

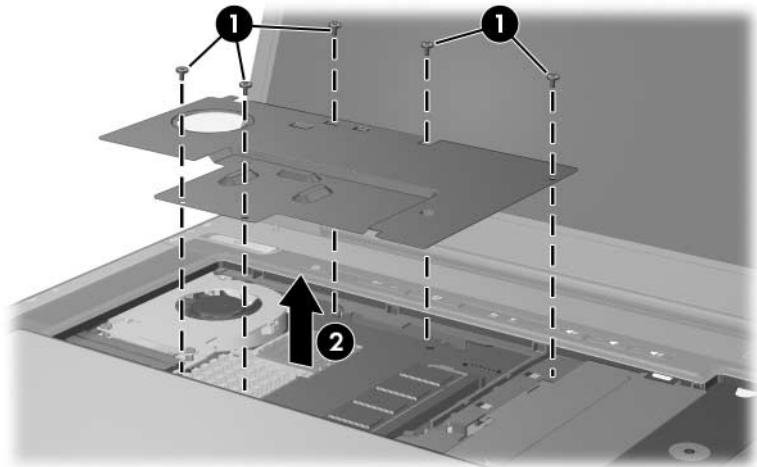


6. コンピュータを表に返して開きます。

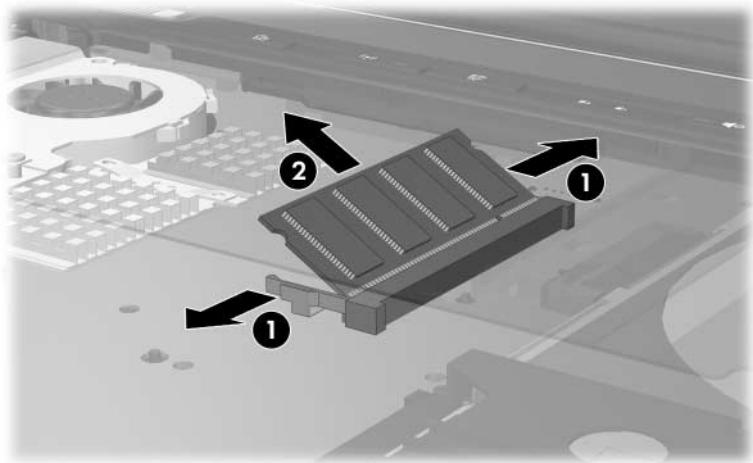
7. 4つのキーボード ラッチを、キーボードと反対の方向へスライドさせます①。
8. キーボードの上端部分を持ち上げて、コンピュータのパームレストに乗るまで回転させます②。(キーボードをコンピュータから取り外します。)



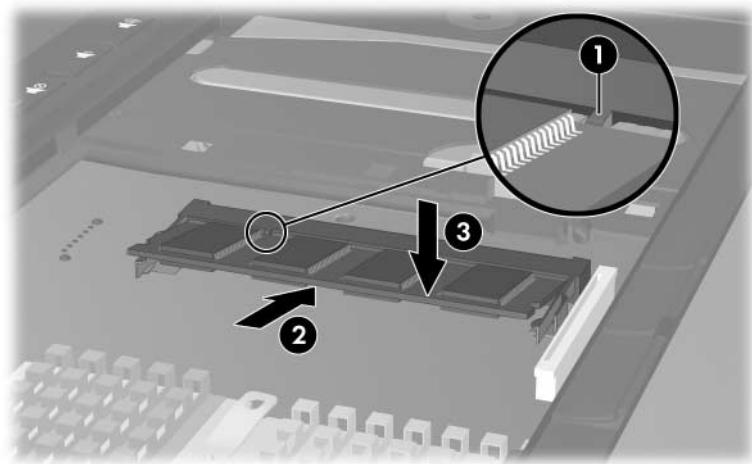
9. ネジをキーボードの台から取り外します①。
10. キーボードの台を持ち上げてコンピュータから取り外します②。



11. 以下の手順に従って、メモリ スロットからメモリ モジュールを取り外します。
 - a. メモリ モジュールの両端の留め具を外側に引っ張ります❶。(メモリ モジュールが解放されると、少し上に出てきます。)
 - b. メモリ モジュールの端を持ち、45° の角度でゆっくりとスロットからスライドさせて取り外します❷。



12. 以下の手順に従って、新しいメモリ モジュールをメモリ スロットに取り付けます。
 - a. モジュールの切り込みと拡張スロットの切り込みを合わせます①。
 - b. メモリ スロットに収まるまで、45° の角度でモジュールを差し込みます②。
 - c. カチッと音がして留め具がモジュールを固定するまで、モジュールを押し下げます③。



13. キーボードの台を取り付けなおします。
14. キーボードを取り付けなおし、キーボード リリース ラッチを上方向にスライドさせて固定します。
15. キーボード固定ネジをコンピュータの裏面に取り付けなおします。
16. バッテリ パックを装着しなおします。
17. 外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
18. コンピュータを起動しなおします。

ハイバネーション ファイル

ランダム アクセス メモリ (RAM) を増設すると、ハイバネーション ファイルに必要なハード ドライブ 領域がオペレーティング システムによって拡張されます。

メモリを増設した後にハイバネーションに関する問題が発生した場合は、ハイバネーション ファイルの拡張に必要な空き領域がハード ドライブに十分にあることを確認してください。

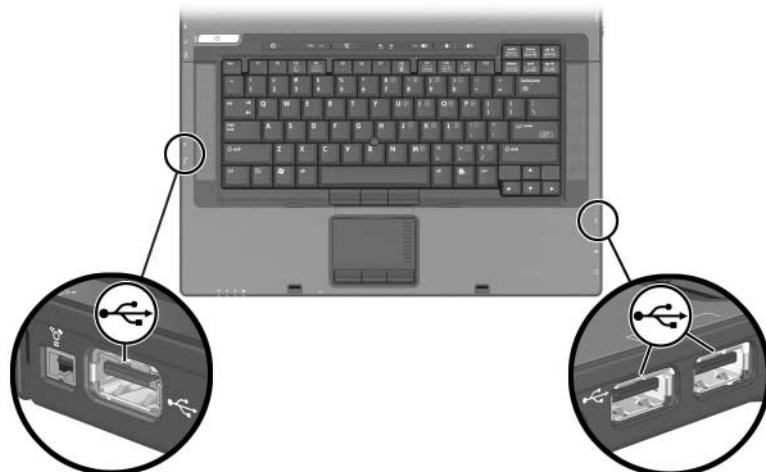
- システムに搭載されたRAMの容量を表示するには、次の操作を行います。
 - [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[全般]タブの順に選択します。
または
 - [fn]+[esc]キーを押します。
- ハード ドライブの空き領域を表示するには、次の操作を行います。
 - a. デスクトップの[マイ コンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
 - b. ハード ドライブを選択します（ドライブの容量についての情報が、ウィンドウの下部のステータス バーに表示されます）。
- ハイバネーション ファイルに必要な容量を表示するには、次の操作を行います。
 - » [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]アイコン→[休止状態]タブの順に選択します。

USBデバイス

USBとは

USB (Universal Serial Bus) は、USBキーボード、マウス、ドライブ、プリンタ、スキャナ、ハブなどの外付けデバイスをノートブックコンピュータに接続して使用できるハードウェアのインターフェースです。

お使いのコンピュータには、USB 1.1およびUSB 2.0のデバイスをサポートする標準USBポートが3つ装備されています。



USBデバイスの接続

USBデバイスを使用するには、次の操作を行います。

- » デバイスを、ノートブック コンピュータの3つのUSBポートのどれかに差し込みます。

USBハブは、コンピュータまたは別売のドッキング デバイスのUSBポートに接続できます。ハブは複数のUSBデバイスをサポートします。

- 外部電力を使用するハブの場合、外部電力に接続する必要があります。
- 外部電力を使用しないハブの場合、コンピュータのUSBポートまたは外部電力を使用するハブのポートに接続する必要があります。

オペレーティング システムおよびソフトウェア

USBデバイスは、対応するUSB以外のデバイスと同様に機能しますが、次の1点の例外があります。デフォルトでは、USBをサポートするオペレーティング システムがノートブック コンピュータにインストールされない限り、USBデバイスは動作しません。

USBデバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。追加サポート ソフトウェアおよびそのインストール方法について詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

USBレガシー サポート

次のような場合に、USBレガシー サポートを有効にする必要があります。

- ノートブック コンピュータの起動時、またはWindows以外のアプリケーションやユーティリティで、コンピュータのUSBポートに接続されたUSBキーボード、マウス、またはハブを使用する場合
- 別売の外付けマルチベイから起動する場合

USBレガシー サポートを有効にするには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. 画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
3. [Advanced] (詳細設定) →[Device Options] (デバイス オプション) の順に選択して、[USB legacy support] (USB レガシーサポート機能) を選択します。
4. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (設定を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

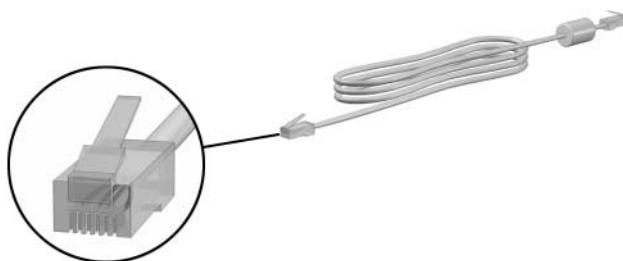
モデムおよびネットワーク接続

内蔵モデム



警告: ノートブック コンピュータをデジタル回線に接続すると、モデムが損傷して永久に使用できなくなる場合があります。デジタルPBXシステム用のコネクタは、アナログ電話回線用のモジュラ コンセントと似ていますが、このモデムには使用できません。間違ってモデム ケーブルをデジタルPBXシステム回線に接続した場合は、すぐに取り外してください。

6 ピンの RJ-11 コネクタが両端に付いたモデム ケーブルをアナログ電話回線に接続してください。国によっては、各国仕様のモデム アダプタが必要な場合があります。



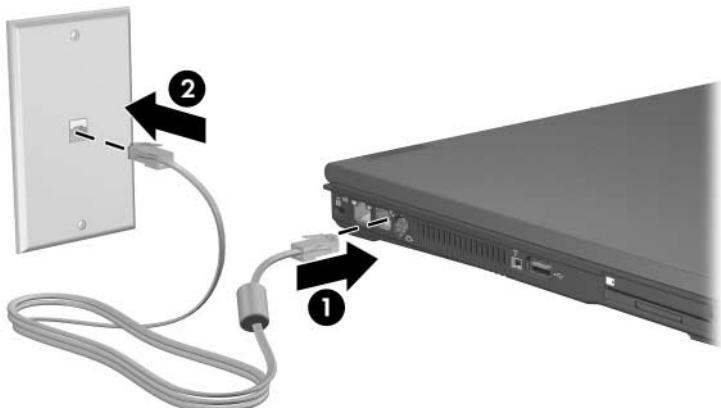
モデム ケーブルの接続

モデム ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。



警告：火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルを RJ-45 ネットワーク コネクタに接続しないでください。

1. モデム ケーブルに、TV やラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コアが付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をコンピュータ側に向けます。
1. モデム ケーブルをコンピュータ本体の RJ-11 (モデム) コネクタに差し込みます①。
2. モデム ケーブルのもう一方の端を電話回線用モジュラ コンセントに接続します②。



モデムの使用方法または AT コマンドやダイヤル設定コマンドの使用方法について詳しくは、Notebook Documentation CD に収録されている『モデムおよびネットワーク接続ガイド』または『モデム コマンドに関するガイドライン (上級者向け)』(英語版) を参照してください。

各国仕様のモデム ケーブル アダプタの使用

モジュラ コンセントは国により異なります。RJ-11 モデム コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラ コンセントにケーブルを接続する場合は、必要に応じて各国仕様のモデム アダプタを用意して、以下の手順で操作します。

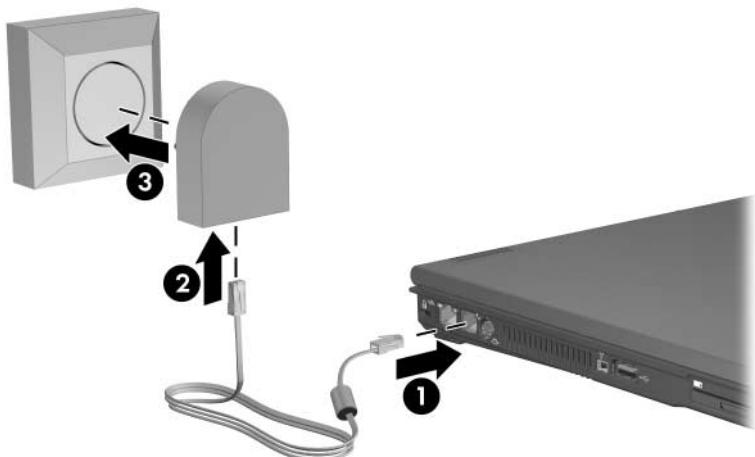


警告：火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルを RJ-45 ネットワーク コネクタに接続しないでください。

1. モデム ケーブルの一方の端をコンピュータ本体の RJ-11 (モデム) コネクタに差し込みます①。
2. モデム ケーブルのもう一方の端を各国仕様のモデム アダプタに接続します②。
3. 各国仕様のモデム アダプタを電話回線用モジュラ コンセントに接続します③。



モジュラ コンセントおよびアダプタは地域により異なります。



モデムの使用地域の選択

使用地域設定の確認

現在の国の設定を確認するには、以下の手順で操作します。



注意：日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の通信規格に準拠するように設定されています。このモデムを日本国内で使用する場合は、必ずこのまま日本用の設定でお使いください。日本以外の国用の設定で使用すると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]ウィンドウの左上部分に表示されているメニューから、[電話とモデムのオプション]を選択します。
3. [ダイヤル情報]を選択します。
4. [所在地]リストから現在の所在地を選択して、[編集]を選択します。[所在地の編集]ウィンドウが表示されます。
5. [国/地域]で、現在の国を確認します。
6. [市外局番]に適切な市外局番が表示されていることを確認します。

旅行先の所在地の新規追加



注意：モデムの日本用の設定は削除しないでください。日本用の設定を保持した状態で国外でモデムを使用できるようにするには、モデムを使用する国や地域ごとに所在地の構成を新規に追加します。



注意：お使いの地域とは異なる国を選択すると、その地域の通信規定や法律に違反した構成になる恐れがあります。また、国を正しく選択しないと、モデムが正しく機能しない場合があります。サポートされていない国を選択するとメッセージが表示されます。その国ではこのモデムの使用が認可されていないので、使用しないでください。

日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の規格に準拠するように設定されています。国外でこのモデムを使用する場合は、その国の規格に適合するように所在地の構成を追加する必要があります。

新しい所在地を追加するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[電話とモデムのオプション]→[ダイヤル情報]タブの順に選択します。
2. [新規]ボタンを選択して、[所在地]フィールドに新しい名前（自宅、仕事など）を入力します。
3. [国/地域]ドロップダウン リストから、国または地域を選択します。

 このドロップダウンリストには、お使いのモデムでサポートされない国が含まれている場合があります。サポートされない国を選択すると警告が表示され、デフォルトの[米国]または[英国]が選択されます。

4. [OK]→[OK]の順に選択します。

国外での接続に関する問題の解決

日本国外でモデムを使用するときに問題が生じた場合は、次の項目を参考にしてください。

■ 電話回線の種類の確認

モデムには必ずアナログ電話回線を使用します（デジタル回線を使用しないでください）。PBX回線と呼ばれる回線は、通常はデジタル回線です。データ回線、FAX回線、モデム回線、標準電話回線と呼ばれている電話回線のほとんどは、アナログ回線です。

■ トーンとパルスのどちらのダイヤル設定を使用しているかの確認

電話をダイヤルしてみて、クリック音（パルス音：トゥルルという音）とトーン（ピッ、ポッ、パッという音）のどちらの音がするかを聞きます。その後、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[電話とモデムのオプション]→[ダイヤル情報]タブの順に選択します。

2. 現在地を選択して[編集]を選択します。
3. ダイヤルしたときに聞こえた音に応じて、[トーン]または[パルス]を選択します。
4. [OK]→[OK]の順に選択します。

■ ダイヤル先の電話番号と受信先のモデムの応答の確認

電話で送信先の電話番号をダイヤルし、受信側のモデムが応答することを確認します。

■ ダイヤルトーンを無視するようにモデムを設定する

認識できないダイヤルトーンを受信すると、モデムはダイヤルせずに、[No Dial Tone]エラーメッセージを表示します。次の手順で、ダイヤル前のダイヤルトーンを無視するようにモデムを設定します。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[電話とモデムのオプション]→[モデム]タブの順に選択します。
2. お使いのモデムを選択し、[プロパティ]→[モデム]タブの順に選択します。
3. [発信音を待ってからダイヤルする]チェックボックスのチェックを外します。

このチェックボックスのチェックを外した後も引き続き[No Dial Tone]エラーメッセージが表示される場合は、次の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[電話とモデムのオプション]→[ダイヤル情報]タブの順に選択します。
2. お使いの地域を選択して、[編集]を選択します。
3. ドロップダウンリストから国/地域を選択します。
4. [適用]→[OK]の順に選択します。
5. [モデム]タブを選択します。
6. お使いのモデム→[プロパティ]の順に選択します。
7. [発信音を待ってからダイヤルする]チェックボックスのチェックを外します。

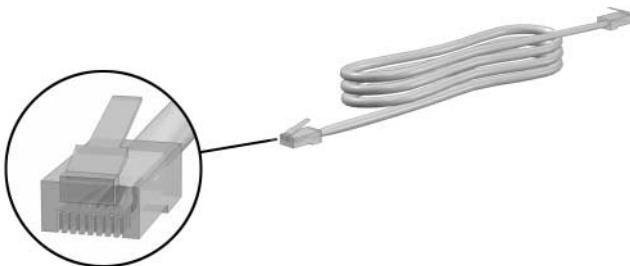
プリインストールされている通信ソフトウェア

ターミナルエミュレーションおよびデータ転送用に、プリインストールされているモデムソフトウェアを使用するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]の順に選択します。
2. 適切なターミナルエミュレーションプログラムを選択するか、インターネット接続ウィザードの指示に従います。

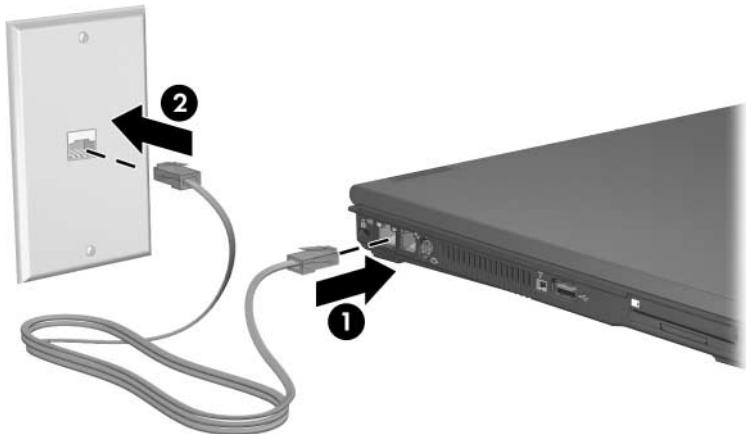
ネットワーク

ネットワークケーブルの両端には8ピンのRJ-45コネクタが付いています。ネットワークケーブルに、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コアが付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をコンピュータ側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。

1. ネットワーク ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-45 (ネットワーク) コネクタに差し込みます①。
2. ケーブルのもう一方の端を壁のRJ-45ネットワーク コネクタに差し込みます②。



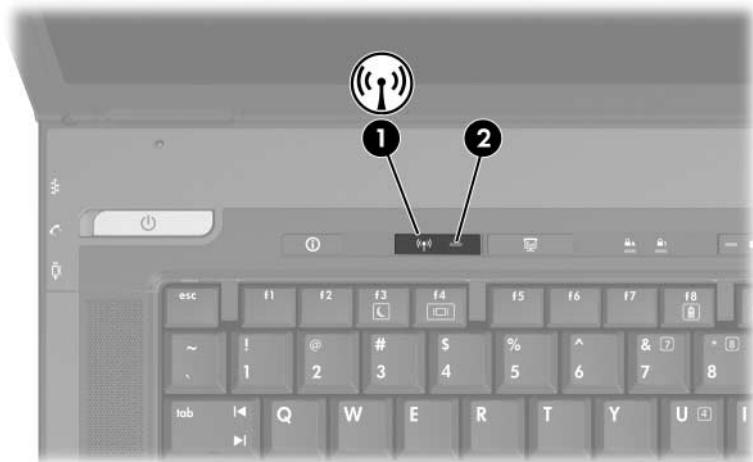
お使いのコンピュータにはLAN節電機能が搭載されており、バッテリ電力の消費を抑えることができます。コンピュータが外部電源から切断され、ネットワーク ケーブルが取り外されると、LAN節電モードによりLANデバイスがオフになります。詳しくは、「第2章 電源」の「[LAN節電モードの使用](#)」を参照してください。

無線（一部のモデルのみ）

802.11やBluetoothなどの無線デバイスが内蔵されているノートブックコンピュータは、無線コンピュータです。

- 802.11 無線コンピュータは職場、自宅、および公共の場所にある無線ネットワークに接続できます。無線ネットワークには、無線ローカルエリアネットワーク（無線LAN）または「無線LANスポット」があります。無線LANスポットは、空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学などの公共の場で使用できるアクセス ポイントです。
- Bluetoothは、Bluetooth無線対応のコンピュータを別のBluetooth対応デバイスに接続できる、無線パーソナルエリアネットワーク（無線PAN）です。別のBluetoothデバイスへの接続は、Bluetoothで提供されるさまざまなサービスのうち1つを使用して行います。

お使いのコンピュータには、802.11無線デバイスおよびBluetooth無線デバイスを有効/無効にできるボタンと、無線デバイスの状態を示す関連のランプがあります。次の図に、無線ボタン①および無線ランプ②を示します。



無線ボタンとランプの他に、コンピュータには、無線デバイスをオン、オフ、有効、および無効にできるソフトウェアがあります。次の表では、これらのソフトウェアについて説明します。

無線コントロール	説明
Wireless Assistant	802.11無線デバイスとBluetooth無線デバイスのオン/オフを個別に切り替えられるソフトウェア ユーティリティです。Wireless Assistantの使用方法について詳しくは、この章の「 デバイスの電源状態 」を参照してください
Computer Setup	[Computer Setup]で802.11無線デバイスとBluetooth無線デバイスの有効/無効を切り替えられます。[Computer Setup]を使用して802.11無線デバイスとBluetooth無線デバイスを制御する方法については、「 第13章 [Computer Setup] 」を参照してください

無線ローカルエリアネットワーク (一部のモデルのみ)

802.11無線デバイスを使用して、無線ローカルエリアネットワーク（無線LAN）にアクセスできます。無線LANは、無線ルータや無線アクセスポイントを使用して接続している他のコンピュータおよびデバイスで構成されています。

- 社内無線LANや公共の無線LANスポットなどの大規模無線LANでは通常、無線アクセスポイントが使用されます。無線アクセスポイントは、多数のコンピュータやデバイスに対応でき、重要なネットワーク機能を分離できます。
- 自宅または小規模オフィスの無線LANでは通常、無線ルータが使用されます。無線ルータを使用すると、ハードウェアやソフトウェアを追加せずに、数台の無線コンピュータや有線コンピュータでインターネット接続、プリンタ、およびファイルを共有できます。「無線アクセスポイント」および「無線ルータ」は、同じ意味で使用されることがあります。

802.11無線LANデバイスを搭載するノートブックコンピュータでは、次の3つのIEEE物理層規格のうち1つ以上をサポートしています。

- 802.11a
- 802.11b
- 802.11g

無線LANアダプタには、次の3つの一般的な実装があります。

- 802.11bのみ
- 802.11b/g
- 802.11a/b/g

802.11bは最初に普及した無線LAN規格で、最大11 Mbpsのデータ転送速度をサポートし、2.4 GHzの周波数で動作します。802.11gは後発の規格で、同様に2.4 GHzで動作しますが、最大54 Mbpsのデータ転送速度をサポートしています。802.11g無線LANデバイスは802.11bデバイスと下位互換性があるため、同じネットワーク上で動作できます。802.11aは最大54 Mbpsのデータ転送速度をサポートし、周波数5 GHzで動作します。802.11aは802.11bおよび802.11gと互換性がありません。コンピュータに搭載されているデバイスの種類については、この章の「[無線LANデバイスの識別](#)」を参照してください。

社内無線LANへの無線ノートブック コンピュータの接続

コンピュータを社内無線LANに接続する方法については、ネットワーク管理者またはIT部門に問い合わせてください。

公共の無線LANへの無線ノートブック コンピュータの接続

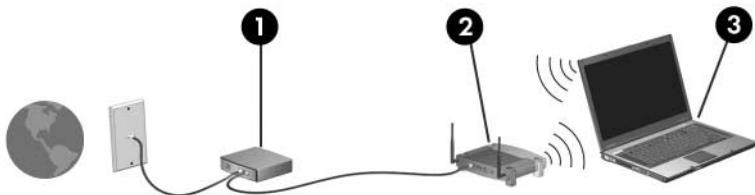
お近くの公共の無線LANの一覧については、インターネットサービスプロバイダ（ISP）に問い合わせるか、インターネットで検索してください。

公共の無線LANの範囲内では、画面の下部に[ワイヤレス ネットワーク接続]対話メッセージが表示されます。料金や接続の要件については、それぞれの公共の無線LANで確認してください。

自宅での無線LANの設定

自宅で無線LANを設定してインターネットに接続するには、次の設備が必要です。下の図に、完成した無線ネットワークの例を示します。この無線ネットワークには次のものが含まれます。

- インターネット サービス プロバイダ (ISP) から購入またはレンタルした、ブロードバンド モデム (DSLまたはケーブル) および高速インターネット サービス①
- 別売の無線ルータ (別途購入する必要があります) ②
- 無線ノートブック コンピュータ③



ネットワークの規模の拡大に応じて、追加の無線コンピュータおよび有線コンピュータをネットワークに接続してインターネットにアクセスできます。



無線LANのインストールの技術的な質問については、ルータの製造元またはISPに問い合わせてください。

無線LAN接続の使用

無線LAN接続を使用するには、以下のことを行います。

- 802.11 無線デバイスで必要なすべてのドライバがインストールされており、802.11無線デバイスが正しく設定されていることを確認します。
-  内蔵802.11無線デバイスを使用している場合は、必要なすべてのドライバのインストールおよびアグリゲートの設定があらかじめ行われており、すぐに使用できる状態になっています。
- 内蔵802.11無線デバイスを使用している場合は、802.11無線デバイスがオンになっていることを確認します。802.11無線デバイスがオンになっていると、無線ランプが点灯します。無線ランプが消灯している場合は、802.11無線デバイスをオンにします。この章の「[デバイスの電源状態](#)」を参照してください。
- ホーム無線LANの場合は、ルータが正しく設定されていることを確認します。手順については、ルータのマニュアルを参照してください。



その後の無線LAN接続の機能の範囲は、ノートブックコンピュータの無線LAN実装、ルータの製造元、さまざまな種類の壁面やその他の電子機器からの干渉によって、異なります。

無線LAN接続の使用について詳しくは、以下を参照してください。

- インターネットサービスプロバイダ (ISP) からの情報や、無線ルータおよびその他の無線LAN機器に付属するマニュアルを参照します。
- [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して表示される情報やWebサイトにアクセスします。
- コンピュータに付属のマニュアルを参照します。Notebook Documentationディスクに収録されている『トラブルシューティング』には、無線LANデバイスの問題と解決方法に関する項目が記載されています。

無線セキュリティ機能の使用

独自の無線LANを設定する場合や既存の無線LANにアクセスする場合は、常にセキュリティ機能によって無線LANを保護する必要があります。無線LANのセキュリティを有効にしないと、権限のない無線ユーザからノートブックコンピュータのデータにアクセスされ、知らないうちにインターネット接続を利用されることがあります。

最も一般的なセキュリティレベルはWi-Fi Protected Access (WPA)-PersonalおよびWired Equivalent Privacy (WEP)です。ルータでWPA-PersonalまたはWEPセキュリティ暗号化を有効にするほかに、次のセキュリティ対策を使用できます。

- デフォルトのネットワーク名 (SSID) およびパスワードを変更する
- ファイアウォールを使用する
- Webブラウザにセキュリティを設定する
- ルータでMACアドレス フィルタを有効にする

無線LANのセキュリティについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/wireless>（英語サイト）を参照してください。

無線ソフトウェアのインストール（オプション）

Microsoft Windows XPでは、Zero Client Configuration機能による無線LAN設定をサポートしています。HPでは、Cisco Compatible Extensionsの使用を予定している場合にインストールする必要がある、個別の無線LAN設定ユーティリティを提供しています。Cisco Compatible Extensionsによって、無線デバイスでCiscoベースの無線LANを使用できるようになります。

無線LANデバイスの識別

内蔵802.11無線デバイス用のHP無線LANソフトウェアをインストールするには、ノートブックコンピュータの内蔵802.11無線デバイスの名称を知っておく必要があります。コンピュータに搭載されている802.11無線デバイスを識別するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータに搭載されている802.11無線デバイスのすべての名前を表示します。
 - a. [スタート]→[マイコンピュータ]の順に選択します。
 - b. [マイコンピュータ]ウィンドウ内を右クリックします。
 - c. [プロパティ]→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]→[ネットワークアダプタ]の順に選択します。
2. 表示されたリストから、802.11無線デバイスを探します。
 - 802.11無線デバイスの名前には、「wireless LAN」、「WLAN」、または「802.11」という文字が含まれます。
 - リストに802.11無線デバイスが表示されない場合、コンピュータに内蔵802.11無線デバイスが搭載されていないか、802.11無線デバイス用のドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。

無線LANソフトウェアおよびマニュアルへのアクセス

無線LANソフトウェアはノートブックコンピュータにあらかじめプリロードされており、Software Setupユーティリティから使用できます。次の手順で、無線LANソフトウェアをインストールします。

- » [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択し、画面の指示に従います。インストールするソフトウェアを選択するように求められたら、対応するチェックボックスにチェックを入れるか外します。

無線LANソフトウェアはHPのWebサイトにて、SoftPaqとしても提供されています。SoftPaqにアクセスしてダウンロードし、お使いのコンピュータにインストールするには、次のどちらかの方法で操作します。

- [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

または

- HPのWebサイト (<http://www.hp.com/support>) にアクセスします。
 - a. 言語と地域を選択します。
 - b. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]のオプションボタンを選択します。
 - c. お使いのコンピュータのモデル情報を入力し、Webサイトに表示される指示に従います。



無線LANソフトウェアは[ネットワーク]カテゴリに分類されています。お使いのコンピュータのモデルに関する情報は、コンピュータ本体に貼付されているシリアル番号ラベルを参照してください。シリアル番号ラベルはコンピュータの裏面に貼付されています。

無線LANソフトウェアのマニュアルにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. この章で説明した手順に従って、無線 LAN ソフトウェアをインストールします。
2. ユーティリティを開きます。
3. メニュー バーの[ヘルプ]を選択します。

無線デバイスのトラブルシューティング

トラブルシューティングについて詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/go/wireless>、英語サイト) にアクセスするか、ノートブックコンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

Bluetooth（一部のモデルのみ）

Bluetoothデバイスによって近距離の無線通信が可能になり、次のような電子機器と接続するために従来使用されていた物理的なケーブル接続から無線通信へと、通信手段を変更できます。

- ネットワーク アクセス ポイント
- コンピュータ（デスクトップおよびノートブック コンピュータ、PDA）
- 電話（携帯電話、コードレス電話、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンタ、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカ）

Windows対応Bluetoothソフトウェアでは、デバイスは物理的な特徴を表すグラフィック アイコンで表示されます。これにより、デバイスを簡単に見分けられるようになります。他のクラスのデバイスと区別できます。

Windows対応Bluetoothソフトウェアには次の機能があります。

- 個人情報管理（PIM）アイテムの転送：他のBluetoothコンピュータやデバイスとの間で、名刺、予定表項目、メモ、メッセージ項目などの情報ファイルを送受信します。
- PIM 同期：Bluetoothを通じて、コンピュータ、PDA、または携帯電話間でPIMデータを同期します。
- ファイル転送：他のBluetoothコンピュータとの間でファイルの送受信を行います。
- ネットワーク アクセス（パーソナルエリア ネットワーク プロファイル）：2台以上のBluetooth対応デバイスでアドホック（ピアツーピア）ネットワークを構築できます。Bluetoothデバイスがネットワーク アクセス ポイントを通じてリモートネットワークに接続するための機能を提供します。ネットワーク アクセス ポイントとして、従来のLANデータ アクセス ポイント、または互いにのみ接続しているデバイスの組み合わせを表す複数のアドホック ネットワークを設定できます。

- ダイヤルアップ ネットワーク：Bluetooth対応デバイスをインターネットに接続します。
- Bluetoothシリアル ポート：仮想COMポートを使用して、Bluetoothリンク経由でデータを転送します。
- ハンズフリー：自動車内蔵型のハンズフリーユニットまたはハンズフリー ユニットとして機能するコンピュータで、携帯電話との無線通信を確立し、Bluetooth対応携帯電話のオーディオ入出力装置として動作させることができます。
- 基本イメージング：Bluetooth対応カメラと他のBluetoothデバイスとの間での無線接続を提供します。カメラをコンピュータからリモートで制御でき、イメージをカメラからコンピュータに転送して保存したり、印刷したりできます。
- ヒューマンインターフェース デバイス：キーボード、ポインティングデバイス、ゲーム デバイス、およびリモート監視デバイスなどの他のBluetoothデバイスとの無線接続を提供します。
- Fax：コンピュータで、Bluetooth携帯電話やBluetoothモ뎀を通じてFaxメッセージを送受信するためのBluetooth接続を提供します。
- ヘッドセット：ヘッドセットとコンピュータまたは携帯電話との無線接続を提供します。ヘッドセットは、デバイスのオーディオ入出力装置として機能し、移動性を高めます。

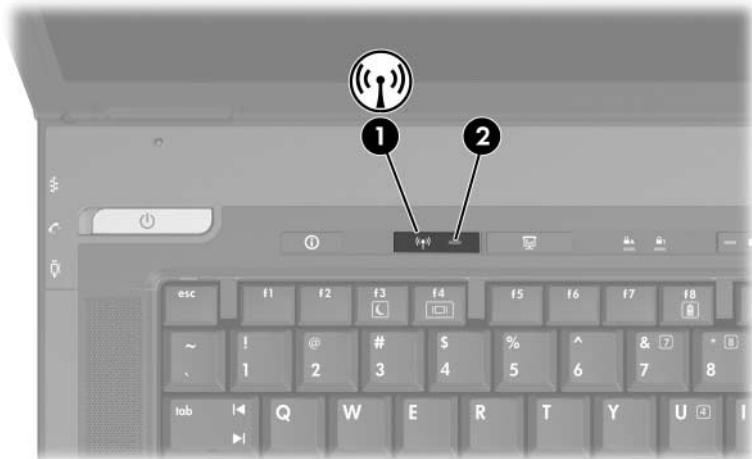
お使いのコンピュータでのBluetoothの使用について詳しくは、コンピュータに付属する Wireless Documentationディスクを参照してください。

デバイスの電源状態

Wireless Assistantとともに無線ボタン①を使用して、802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスを有効または無効にできます。デフォルトでは、ノートブックコンピュータの電源を入れると、802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスおよび無線ランプ②が点灯します。



無線デバイスをオンにしても、自動的に無線LANを確立したり、無線LANに接続したりすることはできません。無線LANの設定について詳しくは、この章の「[無線ローカルエリアネットワーク（一部のモデルのみ）](#)」を参照してください。



802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスには、次の2つの電源状態があります。

- 有効
- 無効

[Computer Setup]で無線デバイスを有効または無効にできます。

[Computer Setup]を使用して802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスを制御する方法について詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。無線ボタンを使用して、無線デバイスを有効または無効にすることもできます。

[Computer Setup]および無線ボタンで無線デバイスを有効にした場合、Wireless Assistantを使用して、デバイスのオン/オフを個別に切り替えることができます。無線デバイスが無効になっている場合は、Wireless Assistantでオン/オフを切り替える前にデバイスを有効にする必要があります。

無線デバイスの状態を表示するには、通知領域（タスクバーの右端にあります）の[Wireless Assistant]アイコンの上にカーソルを置くか、通知領域のアイコンをダブルクリックしてWireless Assistantを開きます。デバイスの状態がオン、オフ、または無効としてWireless Assistantに表示されます。さらに、Wireless Assistantには、[Computer Setup]でのデバイスの状態が有効または無効の形で表示されます。

Wireless Assistantについて詳しくは、以下の手順でヘルプを参照してください。

1. 通知領域のアイコンをダブルクリックして、Wireless Assistantを開きます。
2. [ヘルプ]ボタンを選択します。



[Computer Setup]で無線デバイスが無効にされている場合は、無線ボタンまたはWireless Assistantを使用してそれらのデバイスを制御することができません。

デバイスの電源投入

状態	目的	操作
■ Wireless Assistantで、どちらかまたは両方の無線LANおよびBluetoothが両方ともオフになっている	どちらかまたは両方のデバイスをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> 通知領域（タスクバーの右端にあります）の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします オンにするデバイスを選択します
■ 無線ランプが消灯している		 無線デバイスがオフになっている場合は、無線ボタンを押すと、両方のデバイスが無効になります。ボタンを押してもデバイスはオンになりません
■ Wireless Assistantで、どちらかまたは両方の無線LANおよびBluetoothが両方とも無効になっている*	どちらかまたは両方のデバイスをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> 無線ボタンを押します（デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります） 無線デバイスがオフの場合、通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします オンにするデバイスを選択します
■ 無線ランプが消灯している		
■ Wireless Assistantで、どちらかまたは一方のデバイスがオンでもう一方のデバイスがオフになっている	どちらかまたは両方のデバイスをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします オンにするデバイスを選択します
■ 無線ランプが点灯している		

*無線デバイスを無効にする前に両方のデバイスがオンにならなかった場合、再度無線ボタンを押すと、デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります。ボタンを押しても両方のデバイスはオンなりません。



ノートブックコンピュータの電源を入れたときに、無線デバイスもオンにするには、コンピュータをシャットダウンまたは再起動する前に無線デバイスをオンにしておく必要があります。

デバイスの電源切斷および無効化

状態	目的	操作
■ Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方ともオンになっている	両方のデバイスを無効にする どちらかまたは両方のデバイスをオフにする	無線ボタンを押します 1. 通知領域（タスクバーの右端にあります）の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オフにするデバイスを選択します
■ 無線ランプが点灯している	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方ともオフになっている	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが消灯している	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ Wireless Assistant で、一方のデバイスがオンでもう一方のデバイスがオフになっている*	両方のデバイスをオフにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オフにするデバイスを選択します
■ 無線ランプが点灯している	両方のデバイスをオフにする	無線ボタンを押します

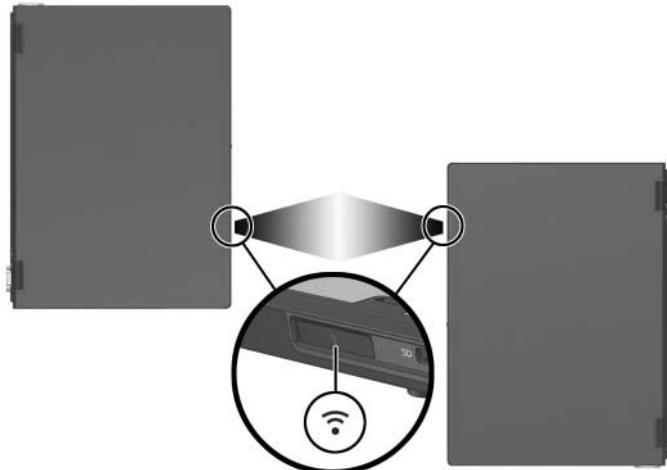
*無線デバイスを無効にする前に両方のデバイスがオフになっていた場合、再度無線ボタンを押すと、デバイスは以前のオフまたはオフの状態に戻ります。ボタンを押しても両方のデバイスはオフにならない。

赤外線通信

ノートブック コンピュータはIrDAに準拠しているため（標準4 Mbps）、IrDAに準拠した他の赤外線装置との通信が可能です。

赤外線ポートは、最大115 Kbpsまでの低速通信および4 Mbpsまでの高速通信をサポートします。赤外線通信のパフォーマンスは、赤外線装置の性能、赤外線装置間の距離、および使用するアプリケーションによって異なります。

赤外線信号は、目に見えない赤外線ビームを介して通信されるので、赤外線装置間に障害物を置かないでください。



赤外線転送の設定

赤外線ソフトウェアの設定方法については、オペレーティングシステムのヘルプ ファイルを参照してください。

赤外線装置の転送を最適化するには、以下に注意します。

- 両方の装置の赤外線ポートを、転送可能な状態にします。
- 赤外線ポートが 1 メートル以内の距離で向かい合うように装置を設置します。
- 通信しようとしている装置の赤外線ポートから相手のポートへの方向の角度が 30° 以上（中心線から±15°）ずれないようにします。
- 直射日光、フラッシュ、蛍光灯などが赤外線ポートに直接あたらないようにします。
- ワイヤレス ヘッドフォンやオーディオ機器のリモコンなどを赤外線ポートに向けないようにします。
- データ転送中に装置を動かしたり、ビームをさえぎるような物を置いたり、動作を行ったりしないようにします。

赤外線転送中のスタンバイの使用

赤外線転送を行うときは、スタンバイは使用できません。お使いのノートブック コンピュータがスタンバイ状態の場合は、赤外線転送は開始されません。赤外線転送中にスタンバイが開始されると、転送は停止します。スタンバイから復帰するには、電源/スタンバイ ボタンを押します。コンピュータがスタンバイから復帰すると、転送が再開されます。ただし、スタンバイが開始されたときに赤外線転送を使用していたプログラムは、停止した時点から続行されないことがあります。たとえば、プログラムで印刷が行われていたときにスタンバイが開始された場合、コンピュータがスタンバイから復帰したときに、そのプログラムの転送は再開されますが、印刷ジョブは再開されません。

Mobile Printing

Mobile Printing for Notebooks を使用すると、ノートブック コンピュータに必要なプリンタ ドライバが付属していなくても、PostScript対応のHP ネットワーク プリンタで印刷できます。

Mobile Printingを使用するには、以下の手順で操作します。

1. 使用しているアプリケーションで、[ファイル]→[印刷]の順に選択します。
2. プリンタのリストから**[Mobile Printing]**を選択します。
3. **[印刷]**を選択します。
4. プリンタのIPアドレスまたはネットワーク パスを入力します。
5. **[印刷]**を選択します。

Mobile Printing のダウンロード方法および使用方法について詳しくは、HP の Web サイト (<http://www.hp.com/go/mobileprinting>、英語サイト) を参照してください。

セキュリティ

セキュリティの機能



セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブックコンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

コンピュータで提供されているセキュリティ機能によって、コンピュータ本体、個人情報、およびデータをさまざまな危険から保護することができます。環境によっては、一部のセキュリティ機能が不要な場合もあります。

Windowsオペレーティングシステムのセキュリティ機能の他に使用するセキュリティ機能を決定するには、次ページの表が役立ちます。

これらの機能のほとんどは、[Computer Setup]で設定できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
コンピュータの不正な使用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源投入時パスワード (Power-on password) * ■ HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ 詳しくは、この章の「HP ProtectTools 内蔵セキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)」を参照してください
[Computer Setup]ユーティリティ (f10) HP管理者パスワード* への不正なアクセス	
ハードドライブのデータへの 不正なアクセス	DriveLock (ドライブロック) *
CD、フロッピーディスク、または 内蔵ネットワーク アダプタ ブート からの不正な起動	Device security (デバイス セキュリティ) *
Windowsユーザ アカウントへの 不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 別売のスマート カード 有効なスマート カードには、Windowsユーザ パスワードおよびWindows管理者パスワードの両方を保管できます。このため、アカウントにアクセスするにはスマート カードとスマート カードのPINの両方が必要になります ■ Credential Manager for ProtectTools 詳しくは、この章の「Credential Manager for ProtectTools」を参照してください <p> このセキュリティ機能は特定のスマート カード リーダーでのみサポートされます</p>
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ■ HP管理者パスワード ■ Windowsファイアウォール ソフトウェア ■ Windows Update ■ HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ 詳しくは、この章の「HP ProtectTools 内蔵セキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)」を参照してください

(続く)

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
BIOS設定およびその他のシステム識別 情報への不正なアクセス	HP管理者パスワード
コンピュータの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用） セキュリティ ロック ケーブル用スロットについて詳しくは、この章の「 別売のセキュリティ ロック ケーブル 」を参照してください
*このセキュリティ機能は、[Computer Setup]で設定されます。[Computer Setup]は、コンピュータが起動または再起動したときに[F10]キーを押すことでアクセスできる、Windowsが起動する前に機能するユーティリティです。[Computer Setup]を使用して特定のセキュリティ機能の設定を行う手順については、この章で説明します。システム情報の表示および他の[Computer Setup]機能の使用については、 「第13章 [Computer Setup]」 を参照してください。	

[Computer Setup]でのセキュリティ設定

ほとんどのセキュリティの設定は、[Computer Setup]で設定します。[Computer Setup]はWindowsのユーティリティではないため、ノートブック コンピュータのポインティングデバイスはサポートされません。[Computer Setup]を使用するときは、キー入力で移動や選択を行う必要があります。

[Computer Setup]について詳しくは、[「第13章 \[Computer Setup\]」](#)を参照してください。

パスワード

ほとんどのセキュリティ機能では、パスワードが使用されます。パスワードを設定したら、パスワードを書き留め、ノートブックコンピュータから離れた安全な場所に保管してください。

- 電源投入時パスワード（Power-on password）やHP管理者パスワードを忘れてしまった場合は、コンピュータを起動したりハイバネーションから復帰したりできなくなります。詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。
- HP管理者パスワードを忘れてしまった場合は、[Computer Setup]にアクセスできなくなります。
- DriveLockのuser password（ユーザパスワード）だけを忘れてしまった場合は、master password（マスタパスワード）を使用してDriveLockを解除できます。

詳しくは、この章の「[DriveLock（ドライブロック）](#)」を参照してください。

HPパスワードとWindowsのパスワード

HPセキュリティ機能とWindowsオペレーティングシステムのセキュリティ機能は、互いに独立しています。たとえば、[Computer Setup]で使用禁止にした装置をWindowsで使用可能にすることはできません。

パスワードオプションには、HPのソフトウェアで提供されるものとオペレーティングシステムによって提供されるものがあります。また、HPパスワードとWindowsのパスワードは互いに独立しています。次ページの表にパスワードとWindowsのパスワードの一覧を示し、それぞれの機能を説明します。

スクリーンセーバのパスワードなど、他のWindowsのパスワードについて詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]を参照してください。

HPパスワード	機能
HP管理者パスワード	[Computer Setup]へのアクセスを保護します
電源投入時パスワード (Power-on password)	起動時または再起動時にノートブック コンピュータにアクセスするため使用します
DriveLock (ドライブロック) の master password (マスター パスワード)	HP管理者が、DriveLockによって保護されているドライブにアクセスするため、およびDriveLockによるドライブへの保護を解除するために使用します
DriveLockのuser password (ユーザ パスワード)	コンピュータの通常のユーザが、起動時にDriveLockによって保護されたドライブにアクセスするために使用します
スマート カードのPIN	スマート カードの認証に使用します 別売のスマート カード リーダーがこの機能に対応している場合は、電源投入時パスワードおよびHP管理者パスワードをスマート カードに保管できます。[Computer Setup]でスマート カードのセキュリティ機能を有効にしてから、HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ（一部のモデルのみ）を有効にする必要があります。詳しくは、この章の 「HP ProtectTools内蔵セキュリティ マネージャ（一部のモデルのみ）」 を参照してください
Windowsのパスワード	機能
管理者パスワード*	コンピュータの内容へのアクセスを、Windowsの管理者レベルで保護します
ユーザ パスワード*	スタンバイを終了した後の、コンピュータの内容を保護します

*Windowsの管理者パスワードまたはWindowsのユーザ パスワードの設定については、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。

HPパスワードとWindowsのパスワードに関するガイドライン

HPパスワードとWindowsのパスワードは、互いに代替できるものではありません。HPパスワードの入力画面ではHPパスワードを、Windowsのパスワードの入力画面ではWindowsのパスワードを使用する必要があります。たとえば、次のようにになります。

- 電源投入時パスワード (Power-on password) を設定した場合は、ノートブックコンピュータが起動するかハイバネーションから復帰するときに、Windowsのパスワードではなく電源投入時パスワードを入力する必要があります。
- スタンバイから復帰する前にパスワードの入力を要求するようにWindowsを設定した場合、スタンバイから復帰するには電源投入時パスワードではなくWindowsのパスワードを入力する必要があります。

以下の点を考慮すれば、HPパスワードとして使用する単語、文字列、または数字を、別のHPパスワードやWindowsのパスワードとして使用できます。

- HPパスワードは32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。
- HPパスワードは、設定したときと同じ種類のキーで入力する必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHPパスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。

内蔵テンキーについては、「[第3章 ポイントティング デバイス および キーボード](#)」を参照してください。

さまざまなパスワードに対して同じ文字を使用できますが、HPパスワードとWindowsのパスワードは、互いに独立しています。HPパスワードおよびWindowsのパスワードに対して同じ文字を使用する場合でも、HPパスワードを[Computer Setup]で、Windowsのパスワードをオペレーティングシステムで設定する必要があります。



HP管理者パスワードとWindowsの管理者パスワードは、名前は似ていますが機能は異なります。たとえば、Windowsの管理者パスワードは[Computer Setup]へのアクセスには使用できず、HP管理者パスワードはコンピュータの内容への管理者レベルのアクセスは提供できません。ただし、両方のパスワードに同じ文字を使用することはできます。

HP管理者パスワード

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティ内のコンフィギュレーションの設定値とシステム識別情報を保護します。いったんこのパスワードを設定すると、次回から[Computer Setup]ユーティリティで操作するにはパスワードの入力が必要になります。

HP管理者パスワードには、次のような特徴があります。

- HP管理者パスワードとWindowsの管理者パスワードには、同じ単語、文字列、または数字を使用できますが、互いに代替できるものではありません。
- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じ種類のキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHP管理者パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

HP管理者パスワードの設定

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティで設定、変更、または削除できます。

パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [Administrator password] (管理者パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
 - HP管理者パスワードを設定する場合は、パスワードを [New password] (新しいパスワード) フィールドと [Verify new password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - HP管理者パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを [Old password] (現在のパスワード) フィールドに入力し、新しいパスワードを [New password] フィールドと [Verify new Password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - HP管理者パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを [Old password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。

5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

HP管理者パスワードの入力

管理者パスワードの入力画面が表示されたら管理者パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して入力し、[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブックコンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

電源投入時パスワード（Power-On Password）

電源投入時パスワードはノートブックコンピュータが不正に使用されることを防ぎます。パスワードの設定後は、コンピュータの電源投入時または再起動時に入力が必要になります。電源投入時パスワードには以下の特徴があります。

- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使って電源投入時パスワードを設定した場合、テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

電源投入時パスワードの設定

[Computer Setup] ユーティリティを使用して、電源投入時パスワードを設定、変更、または削除できます。パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイ ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [Power-On password] (電源投入時パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを設定する場合は、パスワードを[New Password] (新しいパスワード) フィールドと[Verify New Password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを[Old Password] (現在のパスワード) フィールドに入力し、新しいパスワードを[New Password] フィールドと[Verify New Password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを[Old Password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。

5. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

電源投入時パスワードの入力

電源投入時パスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力して[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブックコンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

再起動時の電源投入時パスワードの要求

ノートブックコンピュータを再起動するたびに電源投入時パスワードの入力を要求するよう、コンピュータを設定できます。[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して、[Security]（セキュリティ設定）→[Password options]（パスワードオプション）→[Require password on restart]（再起動時にパスワードを要求する）の順に選択します。
5. フィールドで有効または無効を選択して、[enter]キーを押します。

6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLock (ドライブロック)



注意: DriveLockのuser password (ユーザ パスワード) とmaster password (マスター パスワード) の両方を忘れてしまうと、ハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、**保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。**

DriveLockは、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止します。いったんDriveLockによるプロテクトを設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLockのパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブを別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータに装着する必要があります。

DriveLockでは、master passwordおよびuser passwordが必要です。

- DriveLockによってプロテクトされているハードドライブにアクセスするには、user passwordまたはmaster passwordのどちらかが必要です。
- DriveLockによるドライブのプロテクトを解除しないと、user password やmaster passwordを削除できません。DriveLockによるハードドライブのプロテクトを解除するには、master passwordが必要です。

- user passwordは、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザが設定する必要があります。master passwordは、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザが設定できます。
- user passwordとmaster passwordは、同じであってもかまいません。



電源投入時パスワード（Power-on password）とDriveLockのuser passwordの両方に同じパスワードを使用している場合、DriveLockでプロテクトされたハードドライブからコンピュータを起動すると、電源投入時パスワードとDriveLockパスワードの両方の入力ではなく、電源投入時パスワードの入力のみを要求されます。

DriveLockパスワードの設定

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れて（再起動してはなりません）、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security]（セキュリティ設定）→ [DriveLock passwords]（ドライブロックパスワード）の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択して、[f10]キーを押します。

6. プロテクトを有効にして、[f10]キーを押します。
7. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[f10]キーを押します。
8. user passwordを[New password]（新しいパスワード）フィールドと[Verify new password]（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
9. master passwordを[New password]フィールドと[Verify new password]フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
10. 選択したドライブに対するDriveLockのプロテクトを確定するには、確認用のフィールドに「**DriveLock**」と入力して、[f10]キーを押します。
11. DriveLockの設定を保存するには、[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLockパスワードの入力

1. ハードドライブが、別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなくノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイに装着されていることを確認します。
2. DriveLockパスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用してuser passwordまたはmaster passwordを入力し、[enter]キーを押します。



2回続けて間違えて入力した場合は、コンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

再起動時のDriveLockパスワードの要求

ノートブック コンピュータを再起動するたびにDriveLock パスワードの入力を要求するよう、コンピュータを設定できます。[Computer Setup] でこの機能を有効または無効にするには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイ ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して、[Security] (セキュリティ 設定) → [Password options] (パスワード オプション) → [Require password on restart] (再起動時にパスワードを要求する) の順に選択します。
5. フィールドで有効または無効を選択して、[enter]キーを押します。
6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLock パスワードの変更

[Computer Setup] で DriveLock の設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイ ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れて（再起動してはなりません）、[Computer Setup] を起動します。画面の左下隅に [F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10] キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2] キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1] キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security]（セキュリティ 設定）→ [DriveLock passwords]（ドライブロック パスワード）の順に選択し、[enter] キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択し、[f10] キーを押します。
6. 矢印キーを使用して、変更するパスワードに対するフィールドを選択します。[Old Password]（現在のパスワード）フィールドに現在使用しているパスワードを入力し、[New Password]（新しいパスワード）フィールドと [Verify New Password]（新しいパスワードの確認）フィールドに新しいパスワードを入力して、[f10] キーを押します。
7. 設定を保存するには、矢印キーを使用して [File]（ファイル）→ [Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup] を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロック パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、プロテクトを解除するハードドライブが取り付けられているベイを選択し、[f10]キーを押します。
6. プロテクションフィールドを無効にして、[f10]キーを押します。
7. [Old password] (現在のパスワード) フィールドにmaster passwordを入力し、[f10]キーを押します。
8. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

デバイスの無効化

[Computer Setup] の [Device Security] (デバイスセキュリティ) で、ほとんどのポートおよびドライブを使用禁止または部分的に使用禁止にできます。

[Computer Setup] でノートブックコンピュータの機能を無効または再び有効にするには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. [Security] (セキュリティ設定) → [Device security] の順に選択し、装置の有効/無効を設定します。
5. 設定を確定するには、[f10]キーを押します。
6. 設定を保存するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

システム情報

システム情報では、お使いのノートブックコンピュータおよびバッテリパックについての詳細情報が表示されます。以下の項では、他のユーザがシステム情報を表示させることを防ぐ方法、および[Computer Setup]でシステム情報のオプションを設定する方法について説明します。

[システム情報]メニューでは、次の作業を行うことができます。

- コンピュータのシリアル番号、アセットタグ (Asset Tag)、およびオーナシップタグ (Ownership Tag) の表示または入力
- バッテリパックのシリアル番号の表示



この情報への不正なアクセスを防ぐには、HP管理者パスワードを作成する必要があります。詳しくは、この章の「[HP管理者パスワードの設定](#)」を参照してください。

[システム情報]オプションを設定するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からぬ場合は、まず電源/スタンバイボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキングデバイスや外付けマルチベイではなく、コンピュータ本体のハードドライブベイにハードドライブを装着します。
3. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に[f10]キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。

4. 以下の操作を行って、選択した設定値にアクセスするか、値を設定します。
 - システム情報全般を表示する場合は、[File] (ファイル) → [System Information] (システム情報) の順に選択します。
 - システム コンポーネントの識別番号を表示または入力する場合は、[Security] (セキュリティ設定) → [System ID] (システム ID) の順に選択します。
5. 情報または設定を確定するには、[f10]キーを押します。
6. 情報または設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup] を終了すると選択した値が設定され、コンピュータの再起動時に有効になります。

ウィルス対策ソフトウェア

ノートブック コンピュータで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピュータがコンピュータ ウィルスの危険にさらされます。コンピュータ ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスを検出し、駆除できます。また、多くの場合、ウィルスの被害にあった箇所を修復できます。新しく発見されたウィルスからコンピュータを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを更新する必要があります。

Norton AntiVirus ソフトウェアは、お使いのコンピュータにプリインストールされています。Norton AntiVirus ソフトウェアの使用方法について参照するには、次の操作を行います。

» [スタート]→[すべてのプログラム]→[Norton AntiVirus]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

コンピュータ ウィルスについて詳しくは、以下の手順で参照します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
2. [検索]テキスト フィールドに「ウィルス」と入力します。
3. [enter]キーを押します。

ファイアウォール ソフトウェア

ノートブック コンピュータで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、使用者や使用しているコンピュータおよびデータ情報を、第三者が不正に取得してしまう可能性があります。ファイアウォールは、ログ、レポート、自動アラーム、およびファイアウォールの設定を変更するためのユーザ インタフェースを提供するなどいろいろな機能を使って、お使いのコンピュータでの送受信の流れを監視します。プライバシを保護するため、ファイアウォール ソフトウェアを使用することをおすすめします。

お使いのコンピュータでは、Windows オペレーティング システムのファイアウォールが利用できます。このファイアウォールについて調べるには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[Windows ファイアウォール]の順に選択します。
2. [全般]タブを選択します。
 Windows ファイアウォールについてさらに詳しい情報を参照するには、[Windows ファイアウォールのその他の詳細] リンクを選択してください。

- Windowsファイアウォールを無効にするには、[無効（推奨されません）]を選択します。
- Windowsファイアウォールを再び有効にするには、[有効（推奨）]を選択します。

3. [OK]を選択します。

状況によっては、ファイアウォールはインターネットゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタまたはファイルの共有を妨害したり、承認済みの形式の電子メール添付ファイルを開けなくしたりすることがあります。Windowsファイアウォールを使用しており、アプリケーションがコンピュータに初めて着信接続を試みる場合は、セキュリティに関する警告が表示されます。この警告では、アプリケーションへのファイアウォールによるアクセス許可を設定できます。

- アプリケーションのコンピュータへの接続を許可する場合は、[ブロックを解除する]を選択します。(アプリケーションが[例外]タブのリストに追加され、Windowsファイアウォールによってブロックされなくなります。)
- アプリケーションを常にブロックする場合は、[ブロックする]を選択します。(Windowsファイアウォールにより、アプリケーションが接続しようとするたびにブロックされます。)
- アプリケーションを一時的にブロックする場合は、[後で確認する]を選択します。(次回アプリケーションがコンピュータに接続しようとすると、セキュリティ警告が表示されます。)

アプリケーションがファイアウォールによってブロックされないように、手動で[例外]タブのリストに追加するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[Windowsファイアウォール]の順に選択します。
2. [例外]タブを選択します。
3. [プログラムの追加]を選択し、アプリケーションに関する必要な情報を入力します。

4. [OK]を選択します。(アプリケーションが[例外]タブのリストに追加され、Windowsファイアウォールによってブロックされなくなります。)

オプションのファイアウォールを使用している場合に、ブロックされているアプリケーションに接続するには、以下の操作を行います。

- 一時的に問題を解決するには、ファイアウォールを無効にし、タスクを実行してから再びファイアウォールを有効にします。
- 永続的に問題を解決するには、ファイアウォールを再設定します。ファイアウォールのマニュアルを参照するか、ファイアウォールの提供元にお問い合わせください。

Windows XPの緊急セキュリティ アップデート



注意:日々新しいコンピュータ ウィルスが検出されるため、Microsoft社から通知があった場合は直ちにすべての緊急アップデートをインストールすることをおすすめします。また、Windows Updateは毎月実行し、Microsoft社が提供する最新の推奨アップデートをインストールしてください。

ノートブック コンピュータが構成された後で提供が始まったアップデートは、Critical Security Updates for Windows XPディスクに収録されてコンピュータに付属していることがあります。コンピュータの使用期間中を通して、Microsoft社ではオペレーティングシステムのアップデートを行い、それらをMicrosoft社のWebサイト上で配布していきます。

Critical Security Updates for Windows XPディスクを使用してシステムをアップデートするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをドライブに挿入します。自動的にディスクのインストール アプリケーションが実行されます。
2. 画面上の指示に従って、すべてのアップデートをインストールします。インストールが完了するまで数分お待ちください。
3. ディスクを取り出します。

スマート カード リーダーの使用 (一部のモデルのみ)

一部のノートブック コンピュータにはスマート カード リーダーが内蔵されており、スマート カード リーダー用のドライバがプリインストールされています。ドライバをインストールするための操作は必要ありません。

スマート カード リーダーには業界標準のスマート カード（クレジット カード サイズの小さなプラスチックのカード）を使用します。スマート カードは、メモリとマイクロプロセッサが埋め込まれたマイクロチップを搭載しています。パーソナル コンピュータと同様に、スマート カードには入出力を管理するオペレーティング システムがあり、改ざんから保護するためのセキュリティ機能が組み込まれています。

マイクロチップの内容にアクセスするには、PIN（Personal Identification Number：個人識別番号）が必要です。したがって、スマート カードによって保護されているコンピュータには、正しいスマート カードを持ち、PINを知っている場合にのみアクセスできます。

スマート カードはさまざまな製造元や販売店から入手できます。スマート カードを使用すると、Windowsのユーザ アカウントを保護したりオンラインでの操作をセキュリティ保護したりできます。カードの性能は、スマート カード自体の性能のほか、スマート カードを使用するアプリケーションにも依存します。

また、スマート カード リーダーとともに個人のデジタル証明書を使用できます。このためには、個人のデジタル証明書および購入するソフトウェアがMicrosoft PC/SCスマート カード標準規格に準拠していることを確認してください。

スマート カード リーダーの保護

お使いのスマート カード リーダーを保護するために、一部のノートブック コンピュータで HP ProtectTools スマート カード マネージャ ユーティリティを使用できます。このユーティリティを使用すると、お使いのスマート カードおよびスマート カード リーダーへの不正なアクセスを防ぐことができます。

このユーティリティのダウンロードおよび ProtectTools について詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/products/security> (英語サイト) を参照してください。

HP ProtectTools スマート カード セキュリティ マネージャの使用方法については、ユーティリティのヘルプ メニューを参照してください。

スマート カードの挿入

スマート カードを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. カードのラベル側を上にし、カード上の矢印をノートブック コンピュータ側に向けて持ちます。
2. カードがしっかりとはまるまで、スマート カード リーダー スロットに静かにスライドさせて挿入します。



3. 画面上の指示に従って、スマート カードのPINを使用してコンピュータにログオンします。

スマート カードの取り出し

スマート カードを取り出すには、スマート カードの両端をつかんで、スマート カードリーダースロットから引き出します。



HP ProtectTools内蔵セキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)

お使いのノートブック コンピュータにはHP ProtectToolsセキュリティ マネージャがプリインストールされており、Microsoft Windowsの【コントロール パネル】からアクセスできます。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピュータ本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するために役立ちます。HP ProtectToolsセキュリティ マネージャのアドオン モジュールには、以下のものが含まれます。

- Embedded Security for ProtectTools
- Credential Manager for ProtectTools
- BIOS Configuration for ProtectTools
- Smart Card Security for ProtectTools

コンピュータのモデルによって、アドオン モジュールがプリインストールまたはプリロードされている場合と、HPのWebサイトからダウンロードする場合があります。詳しくは、<http://www.hp.com/jp> にアクセスしてください。

Embedded Security for ProtectTools



Embedded Security for ProtectToolsを使用するためには、オプションの内蔵セキュリティ チップが必要です。

Embedded Security for ProtectToolsのセキュリティ機能を使用して、ユーザ データや証明書を不正なアクセスから保護することができます。データや証明書には、以下のものが含まれます。

- 管理者の機能（管理者パスワードのオーナシップや管理など）
- ユーザの機能（ユーザ パスワードの登録や管理など）

- 設定情報（ユーザデータを保護するための、高度なMicrosoft EFSおよびPersonal Secure Driveのセットアップを含む）
- マネジメント機能（キー階層のバックアップや復元など）
- 内蔵セキュリティ使用時にデジタル認証の操作を保護する、他社製のアプリケーション（Microsoft OutlookやInternet Explorerなど）のサポート

オプションの内蔵セキュリティチップを使用すると、HP ProtectToolsセキュリティマネージャの他のセキュリティ機能を強化したり有効にしたりできます。たとえば、Credential Manager for ProtectToolsでは、内蔵チップをWindowsへのログオン時の認証要素として使用できます。一部のモデルでは、BIOS Configuration for ProtectToolsからアクセスする高度なBIOSセキュリティ機能を、内蔵セキュリティチップを使用して有効にすることもできます。

詳しくは、Embedded Security for ProtectToolsのヘルプ、またはNotebook Documentation CDに収録されている『HP ProtectTools内蔵セキュリティガイド』を参照してください。

Credential Manager for ProtectTools

Credential Manager for ProtectToolsでは、ノートブックコンピュータへの不正なアクセスに対するセキュリティ機能を提供します。セキュリティ機能には、以下のものが含まれます。

- Microsoft Windowsへのログオン時のパスワードに代わる、スマートカードなどの使用
- Webサイト、アプリケーション、および保護されたネットワークリソースでの証明書を自動的に記憶するシングルサインオン機能
- スマートカードおよび指紋認証機能などの、オプションのセキュリティデバイスのサポート

詳しくは、Credential Manager for ProtectToolsのヘルプを参照してください。

BIOS Configuration for ProtectTools

BIOS Configuration for ProtectToolsを使用すると、HP ProtectToolsセキュリティマネージャアプリケーション内のBIOSのセキュリティ設定にアクセスできます。これにより、システムBIOSが管理するシステムのセキュリティ機能に、より簡単にアクセスできるようになります。

BIOS Configuration for ProtectToolsを使用して、次のことができます。

- 電源投入時のユーザ パスワードおよび管理者パスワードの管理
- スマート カード パスワードおよび電源投入時パスワードなどの、ブート前の認証機能の設定
- ハードウェアの機能の有効化または無効化（CD-ROMのブート機能の有効化など）
- ブート オプションの設定（メイン ハードドライブ以外のドライブからのブートの無効化など）



BIOS Configuration for ProtectToolsの機能の多くは、[Computer Setup]でも使用できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

詳しくは、BIOS Configuration for ProtectToolsのヘルプを参照してください。

Smart Card Security for ProtectTools

Smart Card Security for ProtectToolsを使用して、次のことができます。

- スマートカードのオプションのセキュリティ機能へのアクセス。セキュリティの強化機能は、別売のHP ProtectToolsスマートカードおよび対応するスマートカードリーダー（HP PCカードスマートカードリーダーなど）でサポートされます。
- 別売のHP ProtectToolsスマートカードの初期化を行い、Credential Manager for ProtectToolsで使用できるようにします。
- BIOSを使用して、プリブート環境での別売のスマートカードによる認証を有効にし、管理者とユーザで別々のスマートカードを設定します。この操作を行うには、オペレーティングシステムのロードを許可する前に、スマートカードの挿入および任意のPINの入力を行う必要があります。

BIOSのセキュリティ機能について詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

- 別売のスマートカードでユーザの認証に使用するパスワードの設定および変更を行います。
- 別売のスマートカードに保存されている証明書のバックアップおよび復元を行います。

詳しくは、Smart Card Security for ProtectToolsのヘルプを参照してください。

別売のセキュリティ ロック ケーブル

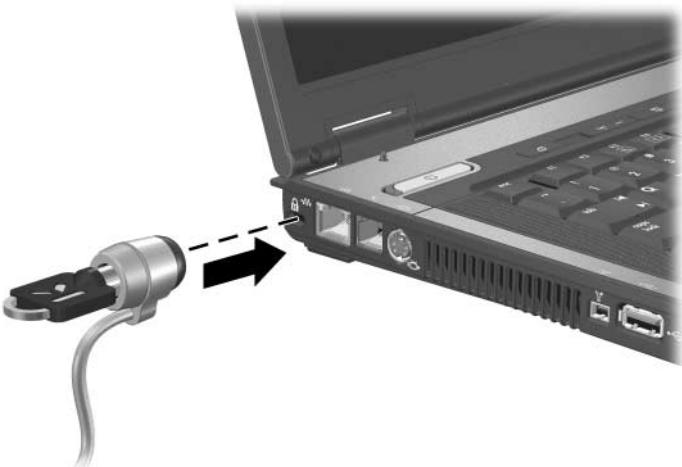
お使いのノートブック コンピュータを保護するには、セキュリティ ロック ケーブル（別売）を使用します。



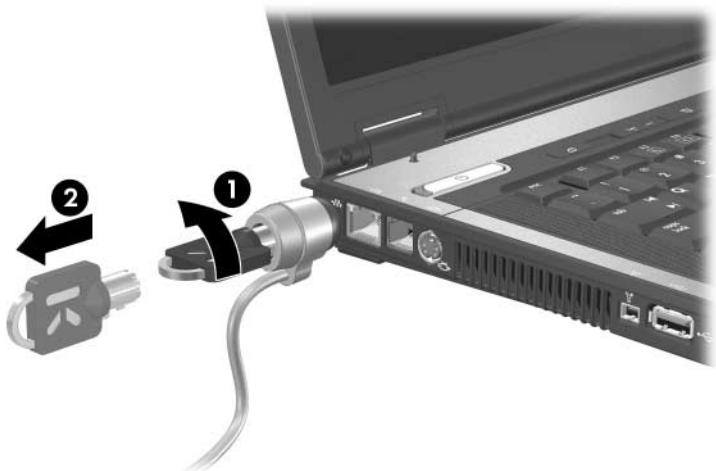
セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

別売のセキュリティ ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。

1. 机などの安定した固定物にセキュリティ ケーブルを巻き付けます。
2. セキュリティ ケーブル ロックをコンピュータのセキュリティ ロック ケーブル用スロットに差し込みます。



3. 鍵を反時計回りに回転させて①鍵を取り外し②、鍵を安全な場所に保管します。



セキュリティ ロック ケーブルを取り外すには、上記の手順を逆の順序で実行します。

[Computer Setup]

[Computer Setup]は、プリインストールされたROMベースのユーティリティで、オペレーティングシステムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。オペレーティングシステムが動作している場合は、[Computer Setup]を終了すると、オペレーティングシステムが再起動されます。



[Computer Setup]ではポインティングデバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。



[Computer Setup]では、USBレガシー サポート機能が有効な場合にのみUSB接続された外付けキーボードを使用できます。USBについて詳しくは、「[第9章 USBデバイス](#)」を参照してください。

[Computer Setup]へのアクセス

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Tools]（ツール）、[Advanced]（詳細設定）の4つのメニューからアクセスできます。

1. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
 - [Computer Setup]の初期メニューに戻るには、[esc]キーを押します。
2. [File]、[Security]、[Tools]、または[Advanced]メニューを選択します。
3. 次のどちらかの方法で[Computer Setup]を終了します。
 - 設定を保存せずに終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Ignore Changes and Exit]（設定を変更せずに終了）の順に選択してから、画面の指示に従って操作します。
 - 入力した設定を保存してから終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Save Changes and Exit]（設定を保存して終了）の順に選択してから、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が保存され、コンピュータの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]のデフォルト設定

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、[File] (ファイル) →[Restore defaults] (デフォルトに設定) の順に選択します。
3. [Restore Defaults] (デフォルト設定) を選択します。
4. 復元を確定するには、[f10]キーを押します。
5. [File]→[Save Changes and Exit] (設定を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

コンピュータを再起動すると、工場出荷時の設定が復元され、ユーザが入力した識別情報は保存されます。



工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティ関連の設定は変更されません。

[Computer Setup]のメニュー

以下の表に、[Computer Setup]のオプションの概要を示します。

[File] (ファイル) メニュー

項目	設定内容
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータおよびバッテリ パックについての識別情報を表示します ■ プロセッサ、メモリ、キャッシュ サイズ、ビ デオのリビジョン、キーボード コントローラ のバージョン、およびシステムROMについて の仕様情報を表示します
Save to floppy (フロッピーディスクに保存)	フロッピーディスクにシステム コンフィギュレー ション設定を保存します
Restore from floppy (フロッピーディスクから復元)	フロッピーディスクからシステム コンフィギュ レーションをリストア (復元) します
Restore defaults (デフォルトに設定)	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻し ます (識別情報は失われません)
Ignore changes and exit (設定を変更せずに終了)	今まで行った変更をキャンセルします。次に [Computer Setup]を終了し、コンピュータを再起動 します
Save changes and exit (設定を保存して終了)	今まで行った変更を保存します。次に [Computer Setup]を終了して、コンピュータを再起動 します。保存した変更は、コンピュータが再起動 されると有効になります

[Security] (セキュリティ設定) メニュー

選択する項目	設定内容
Administrator password (管理者パスワード)	HP管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-on password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワード (Power-on password) を入力、変更、または削除します
Password options (パスワード オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 厳重なセキュリティを有効/無効にします ■ 再起動時に要求されるパスワードを有効/無効にします
DriveLock passwords (ドライブロック パスワード)	DriveLock (ドライブロック) を有効/無効にします。ドライブロックの user password (ユーザ パスワード) または master password (マスタ パスワード) を変更します  ノートブック コンピュータを再起動するのではなく、電源を入れて[Computer Setup]を開いた場合にのみ、DriveLockの設定値にアクセスできます
Smart Card Security (スマート カード セキュリティ)	起動時のスマート カードのサポートを有効/無効にします  この機能は一部のスマート カード リーダーでのみサポートされます
Embedded Security (内蔵セキュリティ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内蔵セキュリティ チップを有効/無効にします ■ 内蔵セキュリティ チップを工場出荷時設定に復元します ■ 起動時の認証サポートを有効/無効にします ■ 自動DriveLockを有効/無効にします ■ 起動時の認証資格情報をリセットします  [Embedded Security]の設定には、コンピュータにセキュリティ チップが内蔵されている場合にのみアクセスできます
Device security (デバイス セキュリティ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ システムのデバイスを有効/無効にします ■ マルチブートに NIC を含める設定を有効にします
System IDs (システムID)	ユーザ定義の識別値を入力します

[Tools] (ツール) メニュー

項目	設定内容
HDD Self-Test options (ハードディスク セルフテスト オプション)	システム内の任意のハードドライブに高速自己診断テストを実行します
Battery Information (バッテリ情報)	ノートブック コンピュータに取り付けられているメインバッテリまたは別売のトラベルバッテリの情報を表示します
Memory Check (メモリ チェック)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンピュータに取り付けられているメモリ モジュールの自己診断テストを実行します ■ コンピュータに取り付けられているメモリ モジュールの情報を表示します

[Advanced] (詳細設定) メニュー

項目	設定内容
Language (言語) (または[f2]キーを押す)	[Computer Setup] ユーティリティの使用言語を変更します
Boot options (ブート オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ■ f10およびf12の遅延秒数を設定します ■ MultiBoot (マルチブート) を有効/無効にします。マルチブートはシステム内のブート可能なほとんどのデバイスとメディアの起動順序を設定します。詳しくは、このガイドの「付録B マルチブート」を参照してください ■ ブート順序を設定します

(続く)

項目	設定内容
Device options (デバイス オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 起動時に複数の標準ポインティング デバイスを有効/無効にします (通常標準ではないポインティング デバイスを、起動時に1つだけ有効にする場合は、[Disable]を選択します) ■ パラレル ポートのモードを、EPP (Enhanced Parallel Port) モード、標準モード、双方向モード、または ECP (Enhanced Capabilities Port) モードから選択します ■ USB対応キーボード、マウス、およびハブをサポートするUSBレガシー サポート機能を有効/無効にします。このUSBレガシー サポート機能を有効にすると、次のことが可能になります <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Windowsオペレーティング システムがロードされなくてもUSB対応キーボード、マウス、およびハブを使用できます <input type="checkbox"/> ブート可能なハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ内のフロッピーディスク、またはノートブック コンピュータか別売のドッキング デバイスにUSBコネクタで接続されたドライブに挿入されているCD-R、CD-RW、またはDVDからコンピュータを起動することができます ■ [fn]キーと左側の[ctrl]キーの機能を入れ替えます ■ LANの省電力モードを有効/無効にします ■ コンピュータが外部電源に接続されている場合のファンの常時使用を有効/無効にします ■ Intel® SpeedStepを有効/無効にします ■ LAN/無線LANの切り替えを有効/無効にします ■ Bluetoothおよび無線LANデバイスを有効/無効にします <p> コンピュータにBluetoothまたは無線LANデバイスが装備されている場合にのみ、Bluetoothおよび無線LAN設定にアクセスできます</p>

ソフトウェアの更新と修復

ソフトウェアの更新

ノートブックコンピュータの性能を最大限に活用するために、またお使いのコンピュータを技術革新に対応させていくためには、常に最新のHPソフトウェアをインストールしておくことをおすすめします。

HPソフトウェアを更新するには、以下の手順で操作します。

1. 更新する前に、お使いのコンピュータの種類、シリーズ名またはファミリ名、およびモデルを確認しておきます。この章の「ノートブックコンピュータ情報へのアクセス」を参照してください。システムROMを更新する前に、お使いのコンピュータに現在インストールされているROMのバージョンを[Computer Setup]ユーティリティで確認しておきます。



注意: お使いのコンピュータをネットワークに接続している場合は、最新のソフトウェアをインストールする前、特にシステムROMを更新する前に、ネットワーク管理者に相談してください。

2. HPのWebサイトにある更新情報にアクセスします。
3. 最新ソフトウェアをダウンロードし、インストールします。



コンピュータのシステムROMには、BIOSソフトウェアが格納されています。BIOSは、オペレーティングシステムの初期設定、コンピュータがハードウェアデバイスとやり取りする方法の決定、およびハードウェアデバイス間でのデータ（日時など）のやりとりを行います。

ノートブック コンピュータ情報へのアクセス

コンピュータの更新情報にアクセスするには、以下の情報が必要です。

- 製品カテゴリは、「ノートブック コンピュータ」です。
- 製品のファミリ名およびシリーズ番号は、ディスプレイ パネルに記載されています。
- モデル情報は、コンピュータの裏面にあるシリアル番号のラベルに記載されています。

提供されている最新ROMに、お使いのコンピュータに現在インストールされているROMのバージョンよりも新しいものが含まれているかどうかを確認するには、現在インストールされているシステムROMのバージョンを確認する必要があります。

ROMの情報を表示するには、[fn]+[esc]キーを押すか、[Computer Setup]を起動します。[Computer Setup]の使用については、[「第13章 \[Computer Setup\]」](#)を参照してください。

[Computer Setup]でROMの情報を表示するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[System Information] (システム情報) の順に選択し、[enter]キーを押します。
ROMの情報が表示されます。
3. 設定を保存せずに[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Ignore Changes and Exit] (設定を変更せずに終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
[Computer Setup]が終了すると、コンピュータが再起動されます。

ソフトウェアの更新およびHPのWebサイト

HPのWebサイトでは、ほとんどのソフトウェアを「SoftPaq」という名前の圧縮ファイルで提供しています。一部の最新ROMは、「ROMPaq」という名前の圧縮ファイルで提供しています。

ほとんどのダウンロードパッケージには、Readme.txtという名前のファイルが含まれています。Readme.txtファイルには、ダウンロードについての詳しい説明と、ファイルのインストールおよび問題解決のための情報が記載されています。ROMPaqに収録されているReadme.txtファイルは、英語で提供されています。

最新のROMのダウンロード



注意：ノートブックコンピュータに損傷を与えたり、インストールに失敗したりしないために、ACアダプタを使用して安定した外部電源にコンピュータを接続しているときにのみ、最新のROMのダウンロードおよびインストールを行ってください。コンピュータをバッテリ電源で動作させているとき、別売のドッキングデバイスに接続しているとき、または別売の電源装置を使用しているときには、ROMのダウンロードおよびインストールを行わないでください。ダウンロードおよびインストール中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コンセントからコンピュータの電源コードを抜かないでください。
- コンピュータをシャットダウンしたり、スタンバイやハイバネーションを起動したりしないでください。
- デバイスを着脱することや、ケーブルまたはコードを接続したり取り外したりすることはお止めください。

最新のROMをダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. お使いのコンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
 - [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して、最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択します。または
 - HPのWebサイト (<http://www.hp.com/support>) にアクセスします。
2. ノートブックを選択します。
3. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリ、機種、オペレーティングシステム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
4. 表示された一覧の中から、現在インストールされているシステムROMより新しいROMのパッケージを、Webページの指示に従ってダウンロードします。



ROMのインストール時に必要となる可能性がありますので、ROMのパッケージをどこにダウンロードするかメモを取っておくことをおすすめします。

最新のROMのインストール



注意:お使いのノートブックコンピュータをネットワークに接続している場合は、最新のソフトウェアをインストールする前、特にシステムROMを更新する前に、ネットワーク管理者に相談してください。

ダウンロードしたROMによってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される指示に従って操作します。指示が表示されない場合は、以下の手順で操作します。

1. Microsoft® Windows® エクスプローラを起動します。[スタート]ボタンからWindowsエクスプローラを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]の順に選択します。

2. [エクスプローラ] ウィンドウ内の左側のウィンドウで、[マイコンピュータ]→ハードドライブの順にクリックします (ハードドライブ名は通常は[ローカル ドライブ (C:)]です)。
3. ハードドライブ上の、最新のROMが含まれているフォルダを開きます。
4. 拡張子が.exeのファイル (filename.exeなど) をダブルクリックします。ROMのインストールが開始されます。
5. 画面の説明に従って、インストールを完了します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードパッケージをハードドライブから削除できます。

その他のHPソフトウェアのダウンロード

その他のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の手順で操作します。

1. お使いのノートブック コンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
 - [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して、最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択します。
 - または
 - HPのWebサイト (<http://www.hp.com/support>) にアクセスして、[サポート&ドライバ]をクリックします。
2. ノートブックを選択します。
3. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリ、機種、オペレーティングシステム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
4. 表示された一覧の中から、現在インストールされているソフトウェアより新しいソフトウェアのパッケージを、Webページの指示に従ってダウンロードします。この時、ソフトウェアのパッケージをダウンロードする場所をメモしておくことをおすすめします。

5. ダウンロードが完了したら、[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]の順に選択してWindowsエクスプローラを起動します。
6. [エクスプローラ]ウィンドウ内の左側のウィンドウで、[マイコンピュータ]→ハードドライブ(通常は[ローカルドライブ(C:)]→ダウンロードしたファイルが含まれているフォルダの順に選択します。
7. 拡張子が.exeのファイル(filename.exeなど)をダブルクリックします。インストールが開始されます。
8. 画面の説明に従って、インストールを完了します。

システムの復元

ノートブックコンピュータのシステムの復元プロセスには、システムの機能を最適な状態に復元するためのいくつかの方法があります。

Application and Driver Recoveryディスクおよびオペレーティングシステムディスクを使用すると、個人データを失わずにコンピュータを復元または修復できます。また、オペレーティングシステムディスクを使用して、コンピュータに付属のオペレーティングシステムソフトウェアを再インストールすることもできます。



最高の結果を得るために、次の操作を順番通りに実行してコンピュータの機能を最適な状態に復元するようにしてください。

データの保護

ノートブックコンピュータに追加されたソフトウェアまたはデバイスによって、システムが不安定になる場合があります。文書を保護するため、個人ファイルを[マイドキュメント]フォルダに保存し、定期的に[マイドキュメント]のバックアップコピーを作成するようにしてください。

Altiris Local Recovery

Altiris Local Recovery はコンピュータにプリロードされているアプリケーションで、コンピュータ上のファイルを複製することでこれらのファイルを保護する機能を持っています。複製されたファイルはスナップショットと呼ばれます。コンピュータ上のファイルが誤って削除されたり破損したりしても、簡単にファイルを復元できます。また、ファイルシステム全体を以前の状態に戻すこともできます。

Altiris Local Recoveryでは、復元用の隠しパーティションにバックアップを作成することによりファイルが保護されます。このソフトウェアをインストールすると[Recovery Agent Partition Wizard] (Recovery Agentパーティション ウィザード) が表示され、画面上の説明に従って操作すると復元用パーティションを作成できます。パーティションが作成されると、ノートブック コンピュータが再起動して最初のスナップショットが作成されます。スナップショットの作成後にコンピュータが再起動し、スナップショットを使用して復元を行えるようになります。

Local Recoveryのインストール時には、スナップショットが定期的に自動作成されるよう、スケジュールがデフォルトで設定されています。スナップショットの作成スケジュールは変更できます。詳しくは、Altiris Local Recoveryのヘルプを参照してください。

スナップショットには、[Altiris Recovery Agent] フォルダから以下の手順でアクセスできます。

1. デスクトップの[Altiris Recovery Agent]アイコンを右クリックします。
2. [開く]をクリックします。

フォルダ内のスナップショットの状態に復元するには、次の操作を行います。

» 使用するスナップショット ファイルをハードドライブ上の該当する場所にドラッグします。

Altiris Local Recoveryの設定方法および使用方法について詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照するか、ソフトウェアを起動してメニュー バーの[Help]（ヘルプ）を選択してください。

[システムの復元]ポイントの使用

[システムの復元]は、コンピュータへの望ましくない変更を元に戻すための、オペレーティング システムの機能です。この機能を使用すると、復元ポイントと呼ばれる、以前の状態までコンピュータが復元されます。復元ポイントは、お使いのソフトウェア、ドライバ、およびオペレーティング システム ファイルの特定の時点での「スナップショット」です。

お使いのコンピュータでは、復元ポイントが定期的に自動作成されます。また、個人設定を変更したりソフトウェアやハードウェアを追加したりするたびに、追加の復元ポイントが作成される場合があります。

また、手動で追加の復元ポイントを作成することで、システム ファイルやシステムの設定をより確実に保護することもできます。次の場合に、手動で復元ポイントを作成しておくことをおすすめします。

- ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前
- システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に設定します）

どの復元ポイントに復元しても、データ ファイルには影響はありません。たとえば、システム ソフトウェアを以前の状態に復元しても、復元ポイントの設定後に保存した文書や電子メールには影響を与えません。また、行った復元はいつでも元に戻すことができます。

システムの復元ポイントの作成

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
2. [ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]を選択します。
3. [システムの復元]を選択します。([システムの復元]ウィンドウが開きます。)
4. [復元ポイントの作成]を選択し、[次へ]をクリックします。
5. 画面の指示に従って操作します。

システムの復元ポイントへの復元

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。
2. [ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]を選択します。
3. [システムの復元]を選択します。([システムの復元]ウィンドウが開きます。)
4. [コンピュータを以前の状態に復元する]を選択し、[次へ]をクリックします。
5. 画面の指示に従って操作します。

アプリケーションの修復または再インストール

ノートブック コンピュータにプリインストールまたはプリロードされているアプリケーションはすべて、適切なソフトウェアディスクを使用して修復または再インストールできます。



オペレーティングシステムを再インストールしていない場合、一部のプリロードされているアプリケーション（[Software Setup]ユーティリティからインストールできるものなど）はハードドライブからも修復または再インストールできます。[Software Setup]ユーティリティにアクセスするには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択します。

アプリケーションを再インストールすると、アプリケーション内の壊れたシステム ファイルが修復されるか置き換えられ、アプリケーション内の削除されたシステム ファイルが再インストールされます。

- ほとんどの場合、修復または再インストールするアプリケーションがまだコンピュータにインストールされている状態で再インストールを実行しても、アプリケーション内の設定には影響しません。
- アプリケーションがコンピュータから削除された状態で再インストールを実行すると、そのアプリケーションまたはユーティリティは必ず工場出荷時の状態で再インストールされます。ただし、個人設定は復元できません。

ハードドライブからのアプリケーションの再インストール

プリロードされているアプリケーションまたはユーティリティをハードドライブから再インストールするには、次の操作を行います。

- » [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択し、画面の指示に従って操作します。再インストールするソフトウェアを選択するよう指示されたら、該当するチェック ボックスにチェックを入れるか外します。

オペレーティング システムの修復

個人データを失わずにオペレーティング システムの修復を実行するには、ノートブック コンピュータに付属のオペレーティング システム ディスクを使用します。

1. コンピュータを外部電源に接続し、コンピュータの電源を入れます。
2. すぐにオペレーティング システム ディスクをコンピュータに挿入します。
3. 電源/スタンバイ ボタンを5秒間以上押し続けて、コンピュータの電源を切ります。
4. 再び電源/スタンバイ ボタンを押し、コンピュータを起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、ディスクから起動します。
(数分後に、セットアップ ウィザードが表示されます。)



[セットアップ]画面では、手順6および手順7の操作が完了するまで、[R]キー（手順8で押すキー）を押さないでください。

6. [enter]キーを押して先に進みます。([ライセンス契約]ページが表示されます。)
7. [f8]キーを押して契約書に同意し、先に進みます。([セットアップ]ページが表示されます。)
8. 選択したWindowsインストールを修復するには、[R]キーを押します。
(修復プロセスが開始されます。このプロセスの実行には1~2時間程度かかります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。)

オペレーティング システムの再インストール



注意：オペレーティング システムを再インストールする前に、個人データやノートブック コンピュータにインストールしたソフトウェアを保護するため、これらのデータのバックアップを作成してください。ファイルのバックアップ方法について詳しくは、Windowsのオンラインヘルプ ユーティリティを参照してください。[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してから、[検索]ボックスに「バックアップ」と入力して[enter]キーを押します。



再インストール中に、プロダクト キーを入力するよう求められることがあります。プロダクト キーは、コンピュータの裏面にある Microsoft Certificate of Authenticity ラベルに記載されています。

他の復元作業でオペレーティング システムを正しく修復できなかった場合は再インストールします。

オペレーティング システムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. ACアダプタを使用してコンピュータを外部電源に接続し、コンピュータの電源を入れます。
2. すぐにオペレーティング システム ディスクをコンピュータに挿入します。
3. 電源/スタンバイ ボタンを5秒間以上押し続けて、コンピュータの電源を切ります。
4. 再び電源/スタンバイ ボタンを押し、コンピュータを起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、ディスクから起動します。(数分後に、セットアップ ウィザードが表示されます。)
6. [enter]キーを押して先に進みます。([ライセンス契約]ページが表示されます。)
7. [f8] キーを押して契約書に同意し、先に進みます。([セットアップ]ページが表示されます。)

8. [esc]キーを押して、修復ではなくオペレーティング システムの新規インストールを続行します。
9. [enter]キーを押して、オペレーティング システムをセットアップします。
10. [C]キーを押し、このパーティションを使用してセットアップを続行します。
11. [NTFS ファイル システムを使用してパーティションをフォーマット (クイック)]を選択して、[enter]キーを押します。



注意：ドライブをフォーマットすると、現在のすべてのファイルが削除されます。

12. [F] キーを押して、ドライブをフォーマットします。（再インストールのプロセスが開始されます。このプロセスの実行には1~2時間程度かかります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。）

デバイス ドライバとその他のソフトウェアの再インストール

オペレーティング システムのインストール プロセスが完了したら、ドライバを再インストールする必要があります。

ノートブック コンピュータに付属のApplication and Driver Recoveryディスクを使用してドライバを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. Windowsを実行している時に、Application and Driver Recoveryディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

自動実行を有効にしていない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。次に、「D:\\$SWSETUP\\$APPINSTL\\$SETUP.EXE」と入力します。Dはオプティカル ドライブを示します。

2. 画面の指示に従って、ドライバをインストールします。

ドライバを再インストールした後、コンピュータに追加していたすべてのソフトウェアを再インストールする必要があります。ソフトウェアに付属のインストール手順に従って操作します。

ノートブック コンピュータの手入れ



警告: ノートブック コンピュータやそのコンポーネントを清掃する場合は、必ず電源から切り離し、外付けデバイスを取り外してから行ってください。



警告: コンピュータ、ディスプレイ、またはキーボードに液体をかけないでください。コンピュータに揮発性の液体を使用すると、変色や変形、および内部コンポーネントの損傷の原因となる恐れがあります。

お使いのコンピュータは、耐久性を備えた製品として設計されています。コンピュータのパフォーマンスを維持し、長くお使いいただくために、次のガイドラインに従ってください。

- コンピュータを持ち運ぶときは、携帯用のキャリング ケースに保管してください。



注意: ディスプレイの損傷を防ぐため、コンピュータをキャリング ケースに入れているときでも、上に物を乗せないでください。

- コンピュータおよびキーボードに液体を垂らしたり、湿気にさらしたりしないでください。有償の修理が必要になる場合があります。



警告: 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、コンピュータのキーボードに液体をかけないでください。

- コンピュータを直射日光や紫外線があたる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所に長時間放置しないでください。
- コンピュータは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、内部コンポーネントを冷やすために通気孔が確保されるようにしてください。



注意: 過熱を防ぐため、通気孔はふさがないでください。通気を妨げる恐れがありますので、隣にプリンタなどの表面の硬いものを設置したり、布類や絨毯などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。

- 1週間以上コンピュータを使用しないときは、コンピュータの電源を切っておきます。
- 2週間以上コンピュータを外部電源から切断しておくときは、以下の操作を行います。
 - コンピュータをシャットダウンします。
 - バッテリ パックをすべて取り出し、涼しく乾燥した場所に保管します。

温度



警告: お使いのノートブック コンピュータは、パフォーマンスを最大限発揮した状態で、要件の多いアプリケーションを動作させることができます。多量の電力を消費するため、通常、長時間使用するとコンピュータ内の温度が上昇します。ユーザが健康を損なったり火傷したりする恐れがありますので、通気孔をふさいだり、長時間ひざの上でコンピュータを使用したりしないでください。お使いのコンピュータは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

キーボード



注意：キーボードが完全に機能しなくなる恐れがありますので、キーボードには、どのような液体も使用しないでください。また、家庭で出るごみくずがキーボードの表面にかかる恐れがありますので、家庭用掃除機等でキーボードを清掃しないでください。

キーが固まらないようにするために、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの下に空気を吹き付ける方法が最適です。



ディスプレイ



注意: 水、クリーニング液、または化学薬品をディスプレイにかけないでください。誤って使用すると、ノートブック コンピュータが完全に機能しなくなる恐れがあります。

汚れやほこりを取り除くため、糸くずの出ない軽く湿らせた柔らかい布を使って定期的にディスプレイを清掃します。汚れが落ちにくい場合は、静電気防止の画面用クリーナや軽く湿らせた静電気防止の拭き取り用の布を使用します。

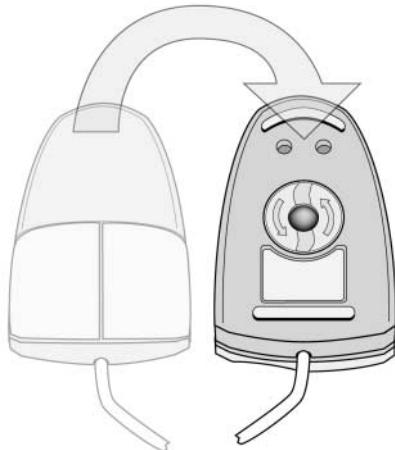
タッチパッド

タッチパッドに脂やごみが付着していると、カーソルが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、ノートブック コンピュータを使用するときは手をよく洗い、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃します。

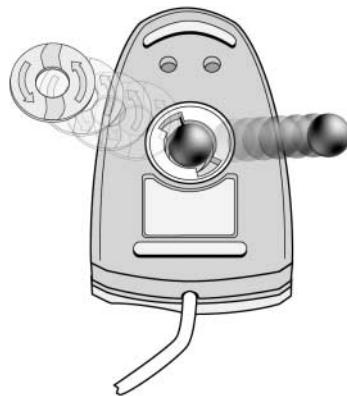
別売の外付けマウスの清掃

別売の外付けマウスを定期的に清掃しておくと、動きが非常に良くなり、マウス ポインタを最適に制御できるようになります。外付けマウスを清掃するには、以下の手順で操作します。

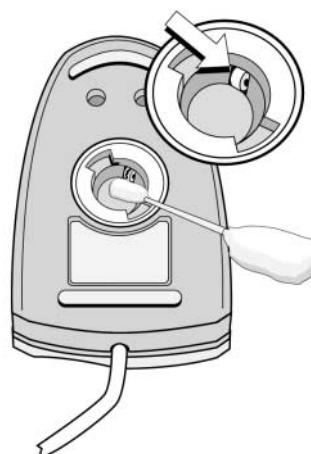
1. マウスを裏返し、円形の蓋を反時計回りに6 mm程度回転させて取り外します。通常、マウスの裏面には、蓋を回転させる方向を示す矢印が記されています。



2. マウスからボールを取り出して、静電気防止の拭き取り用の布や糸くずの出ない清潔な綿の布で清掃します。



3. 圧縮空気をマウスの内側に吹き付けるか、けば立たない綿棒を使って、マウスの内側のごみくずやほこりを取り除きます。



4. ボールと円形の蓋を元に戻します。

持ち運びおよび送付

持ち運びおよび送付の準備

お使いのノートブックコンピュータを持ち運んだり荷物として送った
りする場合は、以下の準備を行います。

1. データのバックアップを作成します。
2. CD、DVD、フロッピーディスク、またはPCカードをすべて取り出
します。
3. すべての外付けデバイスの電源を切り、コンピュータ本体から取り
外します。
4. コンピュータの電源を切ります。
5. 2週間以上コンピュータを外部電力に接続しない場合は、バッテリ
パックを取り外し、涼しく乾燥した場所に保管してください。
6. コンピュータを荷物として送る場合は、購入時の梱包箱または同様
の頑丈な箱にコンピュータと外付けデバイスを入れ、保護材を充分
に詰めてから梱包し、「コワレモノ—取り扱い注意」などのラベルを
貼付します。

持ち運びの際の注意

- データのバックアップ コピーの予備を1部作成して、持参してください。バックアップはノートブック コンピュータと別の場所に保管してください。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピュータを他の荷物と一緒に預けず、手荷物として持ち運んでください。
- コンピュータやフロッピーディスクが磁気の影響を受けることがないよう注意してください。
 - 手荷物をのせるベルト コンベア タイプの金属探知器はX線を使用しているので、コンピュータやフロッピーディスクのデータが損傷することはありません。
 - 歩いてくぐり抜けるタイプおよび検査員が手に持って押し当てるタイプの金属探知器は磁気を使用しているので、コンピュータやフロッピーディスクのデータが損傷することがあります。
- コンピュータを使用する場合は、使用できるかどうかを航空会社にあらかじめ確認してください。航空会社によっては、機内でのコンピュータの使用が制限されることがあります。
- お使いのコンピュータにGPRSマルチポート モジュールなどのGSM装置が装備されている場合は、飛行機に搭乗する前にGSM装置の電源を切り、機内でコンピュータを使用する際にも電源を切ったままにしておいてください。
- コンピュータを持って国外へ旅行する場合は、次の情報を参照してください。
 - 滞在する国に適応した電源コードを、滞在する国のHP製品販売店で購入してください。電源コードは、各国の規格に合ったものを使う必要があります。
 - △ **注意**：感電、火災、装置の損傷などを防ぐため、コンピュータを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバータは使用しないでください。
 - 滞在先の国の通関手続きを確認してください。

A

仕様

作業環境

次の表には、ノートブック コンピュータを苛酷な環境で使用する場合に役立つ、作業環境に関する情報を記載します。

動作保証温度

動作時（通常）	0～35°C
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	5～35°C
非動作時	-20～60°C
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10～90%
非動作時	5～95%
最大標高（非与圧）	
動作時（14.7～10.1 psia）	-15～3,048 m
非動作時（14.7～4.4 psia）	-15～12,192 m

定格入力電源

ここで説明する電源の情報は、ノートブック コンピュータを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピュータは、AC電源またはDC電源から供給されるDC電力で動作します。コンピュータは単独のDC電源で動作しますが、コンピュータの電力供給には、HPコンピュータ用に提供されているまたは認可されているACアダプタまたはDC電源コードのみを使用することを強くおすすめします。

お使いのコンピュータは、以下の仕様のDC電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧	19 V DC (4.74 A、90 Wの場合)
動作電流	4.74 A

マルチブート

ブート可能なメディアまたはNIC（ネットワーク インタフェース カード）には、ノートブック コンピュータの正常な起動および動作に必要なファイルが収められています。マルチブートユーティリティ（デフォルトで無効に設定されています）を使用すると、デバイスを識別したり、コンピュータの起動時にそのデバイスからブートする順序を制御したりできます。

ブート可能なデバイスには、CDやDVDなどのオプティカル ドライブ ディスク、ブート可能なフロッピーディスク、NICなどがあります。



USBデバイスやNICなど一部のデバイスは、ブート シーケンスに含める前に[Computer Setup]で有効に設定しておく必要があります。詳しくは、この付録の [\[Computer Setup\]でのブート可能なデバイスの設定](#) を参照してください。

デフォルトのブート シーケンス

デフォルトでは、システムにブート可能なデバイスが複数ある場合、ノートブック コンピュータは、有効なデバイスとその場所を特定の順番で検索することによって起動デバイスを選択します。

ブートのたびに、まずブート可能なA ドライブのデバイスが検索されます。検出されない場合は、ブート可能なC ドライブのデバイスが検索されます。A ドライブのデバイスには、オプティカル ドライブやフロッピーディスク ドライブが含まれます。C ドライブのデバイスには、オプティカル ドライブやメインハードドライブが含まれます。

メイン ハードドライブはC ドライブとしてのみブート可能です。NICにはドライブ名が割り当てられていません。



オプティカル ドライブデバイス (CDなど) はディスクの形式により、A ドライブまたはC ドライブとしてブートできます。ほとんどのブート可能なディスクは、A ドライブとしてブートします。ディスクがC ドライブとしてブートする場合は、ディスクより先にフロッピーディスク ドライブがブートします。

デフォルトでは、コンピュータは、有効なデバイスまたは場所を特定の順番で検索することによって起動デバイスを選択します。

マルチブートを有効にして新しいブート シーケンス（「ブート順序」とも呼ばれます）を入力すれば、ブートするメディアまたはデバイスの検索順序を変更することができます。また、MultiBoot Expressを使用すれば、コンピュータを起動または再起動するたびにブート場所を確認する画面が表示されるように設定することもできます。

以下に、デフォルトでドライブ番号が割り当てられる順序の一覧を示します。実際のブート シーケンスは、コンフィギュレーションによって異なります。

- A ドライブとしてブートするデバイスのデフォルトのブート シーケンスは次のとおりです。
 - a. A ドライブとして起動するディスクが挿入された、別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
 - b. A ドライブとして起動するディスクが挿入された、内蔵マルチベイII内のオプティカル ドライブ
 - c. 別売のドッキング デバイスまたは外付けマルチベイ内のフロッピーディスク ドライブ
- C ドライブとしてブートするデバイスのデフォルトのブート シーケンスは次のとおりです。
 - a. C ドライブとして起動するディスクが挿入された、別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
 - b. C ドライブとして起動するディスクが挿入された、内蔵マルチベイII内のオプティカル ドライブ
 - c. コンピュータのメイン ハードドライブ ベイ内のハードドライブ
 - d. 別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のハードドライブ



NICにはドライブ名が関連付けられていないため、NICのブート順序を変更しても他のデバイスのドライブ名には影響しません。

[Computer Setup]でのブート可能なデバイスの設定

デバイスがマルチブートに含まれるように指定されている場合にのみ、USBデバイスまたはNICからノートブックコンピュータを起動できます。

デバイスまたは場所をマルチブートに含めるには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. USB ドライブ内または別売のドッキングデバイスに取り付けられたドライバ内のブート可能なメディアを有効にするには、矢印キーを使用して [Advanced] (詳細設定) → [Device Options] (デバイスオプション) の順に選択し、[USB legacy support] (USB レガシーサポート機能) を[Enable] (有効) に設定します。

または

NICを有効にするには、[Security] (セキュリティ設定) → [Device Security] (デバイスセキュリティ) の順に選択して、[Internal Network adapter boot] (内蔵ネットワークアダプタブート) を[Enable] (有効) に設定します。
3. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が保存され、コンピュータの再起動時に有効になります。



マルチブートを使用せずに起動時にPXE (Preboot eXecution Environment) サーバまたはRPL (Remote Program Load) サーバにNICを接続するには、画面の右下隅に[Network Service Boot] (ネットワーク サービス ブート) メッセージが表示されている間に、すばやく[f12]キーを押します。

マルチブートの結果

ブート順序を変更する際には、以下の点を考慮してください。

- ブート順序を変更した後にノートブック コンピュータを再起動すると、オプティカルデバイスを除く、同じ種類の最初のデバイスのみが起動の対象になります。

たとえば、ハードドライブが取り付けられている別売のドッキングデバイス (一部のモデルのみ) がコンピュータに接続されている場合、このハードドライブは、「USBハードディスク」として[Computer Setup]のブート順序に表示されます。このドライブがブート順序内でメインハードドライブよりも前に位置していて、ドッキングステーションのドライブからブートされない場合は、メインハードドライブからではなく、ブート順序内で2番目の種類のデバイス(フロッピーディスク、オプティカルデバイス、またはNIC) からブートされます。ただし、オプティカルデバイスが2つあり、メディアが挿入されていないかブート可能でないために最初のオプティカルデバイスからブートされない場合は、2番目のオプティカルデバイスからブートされます。

- ブート順序を変更すると、論理ドライブ名も変更されます。たとえば、Cドライブとしてブートするディスクが挿入されたオプティカルドライブから起動する場合、このオプティカルドライブがCドライブになり、ハードドライブベイ内のハードドライブがDドライブになります。
- NICから起動しても、論理ドライブの指定には影響しません。NICにドライブ名が関連付けられていないためです。
- 別売のドッキングデバイス内のドライブのブートシーケンスは、外付けUSBデバイスのブートシーケンスと同様に扱われ、[Computer Setup]で有効にする必要があります。

マルチブート設定

マルチブートの順序を設定する方法には、次の2種類があります。

- ノートブック コンピュータを起動するたびに使用されるデフォルトのブート シーケンスを新しく設定する
- MultiBoot Expressを使って可変ブート シーケンスを使用する
この機能により、コンピュータの起動または再起動のたびに起動デバイスの確認メッセージが表示されます。

新しいデフォルトのブート シーケンスの設定

起動または再起動するたびに使用されるブート シーケンスを[Computer Setup]で設定するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[Advanced]（詳細設定）→[Boot Options]（ブート オプション）の順に選択し、[enter]キーを押します。
3. [MultiBoot]（マルチブート）フィールドを有効にします。
4. [Boot Order]（ブート順序）フィールドで、ブート シーケンスを変更します。
5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が保存され、コンピュータの再起動時に有効になります。

MultiBoot Express画面の設定

起動または再起動するたびにマルチブートの起動場所を指定するメニューが表示されるように[Computer Setup]で設定するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[Advanced]（詳細設定）→[Boot Options]（ブートオプション）の順に選択し、[enter]キーを押します。
3. [Express Boot Popup Delay (Sec)]（高速ブートポップアップ遅延（秒））フィールドで、コンピュータが起動場所の選択メニューを表示する時間を秒単位で選択します。この秒数を超えると、マルチブートの現在の設定値がデフォルトとして使用されます（0を選択すると、Express Bootの起動場所の選択メニューは表示されません）。
4. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が保存され、コンピュータの再起動時に有効になります。

MultiBoot Express設定の入力

起動時に[Express Boot]（高速ブート）メニューが表示された場合は、次の操作を行います。

- [Express Boot]メニューから起動場所を指定する場合は、指定時間内に希望の場所を選択し、[enter]キーを押します。
- 現在のマルチブートの設定値をデフォルトとして起動しないようにする場合は、指定時間内に任意のキーを押します。起動場所を選択して[enter]キーを押すまで、ノートブックコンピュータは起動されません。
- 現在のマルチブートの設定値に従ってコンピュータが起動するようになる場合は、指定時間が過ぎるまで待ちます。

HP Client Management Solutions

Client Managementでは、ネットワーク環境にあるデスクトップ、ワークステーション、およびノートブックコンピュータの管理の分野で、標準のソリューションを提供しています。

Client Managementの主要な機能と特長は以下のとおりです。

- 出荷時のソフトウェアイメージの展開
- リモートシステムソフトウェアインストール
- ソフトウェアマネジメントおよびアップデート機能
- ROMの更新
- コンピュータの資産情報の管理機能およびセキュリティ機能（コンピュータの資産とは、取り付けられているハードウェアやインストールされているソフトウェアのことです）
- 一部のシステムソフトウェアおよびハードウェアコンポーネントの障害通知および復旧機能



この付録で説明される機能のサポートは、コンピュータモデルまたはインストールされているマネジメントソフトウェアのバージョンにより異なることがあります。

出荷時設定の変更

HPのコンピュータには、システム ソフトウェア イメージがプリインストールされています。出荷時のソフトウェア イメージは、コンピュータの初期設定を行うときに設定されます。ソフトウェアの設定手順を簡単に済ませると、すぐにコンピュータを使用できます。

以下の方法で、カスタマイズされたソフトウェア イメージを展開できます。

- プリインストールされたソフトウェアを展開した後、追加するアプリケーションをインストールする
- Altiris Deployment Solutionsなどのソフトウェアの導入用ツールを使用して、プリインストール ソフトウェアの代わりにカスタマイズされたソフトウェア イメージを使用する
- ディスク複製手順を使用して、ハードドライブの内容を別のハードディスクにコピーする

最適なコンピュータ環境の構築方法は、所属する企業の情報技術内容や作業内容によって異なります。所属する企業に最適なコンピュータ環境の構築方法について詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/solutions>（英語サイト）を参照してください。



システム リカバリ ディスク、[Computer Setup]ユーティリティ、およびその他のシステム機能により、システム ソフトウェアのリストア、コンフィギュレーションマネジメント機能、トラブルシューティング、および省電力機能を利用することができます。

ソフトウェアの管理とアップデート

HPでは、クライアントPCのソフトウェアを管理し、アップデートするための以下のツールを提供しています。

- HP Client Manager Software
- Altiris PC Transplant Pro
- System Software Manager

HP Client Manager Software

HP Client Manager Software (HP CMS) はAltirisソフトウェア内でHPのインテリジェントマネジメント機能を統合します。HP CMSは、HPのデバイスに以下のような優れたハードウェア管理機能を提供します。

- 資産管理用のハードウェア インベントリの詳細表示
- コンピュータの状態検査の監視および診断
- マシン温度についての警告、メモリ異常の警告など、企業活動における重大な状況についての、Webサイトを利用した報告
- システム ソフトウェア (デバイス ドライバやROM BIOSなど) のリモート アップデート



HP CMSを別売のAltiris Solutionsソフトウェアとともに使用すると、機能を追加できます。詳しくは、この付録の「[Altiris PC Transplant Pro](#)」を参照してください。

HP Client Managerについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy> (英語サイト) を参照してください。

クライアント コンピュータにインストールされているHP Client Manager Softwareを、管理用コンピュータにインストールされているAltiris Solutionソフトウェアとともに使用すると、HP CMSから提供される管理機能が向上します。HP Client Managerでは、HPクライアントデバイスのハードウェアの中央管理機能が、以下のITライフサイクル分野に提供されます。

■ 資産管理

- ソフトウェア ライセンスの準拠
- コンピュータの管理および報告
- コンピュータのリース契約情報および固定資産の管理

■ システム ソフトウェアの展開と移行

- Windows 2000/XPへの移行
- システムの展開
- 個人設定の移行

■ ヘルプデスクと問題解決

- ヘルプデスク チケットの管理
- リモートでのトラブルシューティング
- リモートでの問題解決
- クライアントでの問題修復

■ ソフトウェアおよび操作の管理

- クライアント管理の実行
- HPシステム ソフトウェアの展開
- アプリケーションの自己修復（アプリケーションの一部の問題を検出し、修復する機能）

Altiris Solutions ソフトウェアには、使いやすいソフトウェア配布機能も含まれています。一部のデスクトップおよびノートブック コンピュータには、プリロード ソフトウェアの1つとしてAltirisマネジメント エージェントが含まれています。このエージェントにより Altiris Solutions ソフトウェアとの通信が可能になります。Altiris Solutions ソフトウェアを使用すると、簡単なウィザードに従って、新しいハードウェアの展開や新しいオペレーティング システムへの個人設定の移行を完了することができます。

Altiris Solutions ソフトウェアを System Software Manager または HP Client Manager と組み合わせて使用すると、管理者は ROM BIOS とデバイス ドライバのソフトウェアを中央管理コンソールからアップデートすることもできます。

詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

Altiris PC Transplant Pro

Altiris PC Transplant Proを使用すると、既存の設定、ユーザ設定、およびデータを保存し、新しい環境に迅速かつ簡単に移行することができます。

詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

System Software Manager

System Software Manager (SSM) を使用すると、複数のシステムにおいてシステム レベルのソフトウェアをリモートで同時に更新できます。クライアント コンピュータで SSM を実行すると、SSM はハードウェアとソフトウェアのバージョンを検出し、検証済みのファイル サーバから適切なソフトウェアを更新します。SSM でサポートされるドライバのバージョンは、HP のドライバのダウンロード サイトおよびサポート ソフトウェア ディスクに、独自のアイコンで示されています。ユーティリティのダウンロードまたは SSM について詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/ssm> (英語サイト) を参照してください。

索引

数字

1394コネクタ 1-12
1394ポート 1-12

A

ACアダプタ 1-15

B

BIOS Configuration for ProtectTools 12-29

BIOS情報、表示 12-3
Bluetooth 11-10
Bluetoothラベル 1-16

C

Caps Lockランプ 1-2
CD
　　挿入 5-13
　　取り出し 5-15
　　内容の表示 5-16

CD-RW

「CD」を参照
Certificate of Authenticityラベル 1-16
[Computer Setup]

　　[Advanced]メニュー 13-6
　　[File]メニュー 13-4
　　ROMの情報の表示 14-2
　　[Security]メニュー 13-5
　　[Tools]メニュー 13-6
　　USBレガシー サポート 9-3, 13-1
　　アクセス 13-1
　　言語の変更 13-2
　　システム情報のオプション 12-19
　　設定 12-3
　　操作 9-3
　　手順 13-1

デフォルト設定の復元 13-3

ノートブック コンピュータ情報 14-2

Credential Manager for ProtectTools

12-28

D

DriveLock 12-12
DVD
　　挿入 5-13
　　取り出し 5-14, 5-15
　　内容の表示 5-16
DVD ドライブ
　　DVDの挿入 5-13
　　DVDの取り出し 5-14
DVDの地域設定 4-10
DVI-D 3-8

E

Embedded Security for ProtectTools 12-27

ESD (静電気) 5-2

F

[fn]キー 1-7, 3-11

H

HP管理者パスワード 12-7

I

IDE ドライブ ランプ 1-2, 5-3
Info Center 3-20
Info Center Button 1-6, 3-14
InterVideo WinDVD 4-8
InterVideo WinDVD Creator Plus 4-8, 4-9
InterVideo WinDVD Player 4-12

L		S	
LAN節電モード	2-31	SDカード	
LCD	3-8	概要	7-1
M		挿入	7-2
Microsoft Certificate of Authenticity	ラベル	停止	7-3
	1-16	取り出し	7-3
N		SDカードスロット	1-12
Norton AntiVirus	12-21	Smart Card Security for ProtectTools	
[num lock]キー	3-11		12-30
Num Lockモード、オフにする	3-13	SoftPaq	14-3
Num Lockランプ	1-2, 3-11	Sonic RecordNow!	4-8
P		Sビデオ	3-8
PCカード		Sビデオ ケーブル	
概要	6-1	概要	4-5
仕様	6-1	接続	4-6
節電	6-4	Sビデオ出力コネクタ	1-12
挿入	6-2	概要	4-5
ソフトウェア	6-1	デバイスの接続	4-6
停止	6-4		
取り出し	6-4	U	
ドライバ	6-1	USBデバイス	9-2, 9-3
PCカードスロット	1-12	概要	9-1
Presentation Mode Button	1-6, 3-14, 3-16	使用	9-2
ProtectTools Smart Card Security		ソフトウェア	9-2
Managerユーティリティ	12-25	レガシー サポート	9-3
Q		USBハブ	9-2
Quick Launch Buttons	3-14	USBポート	
Quick Launch Buttons ソフトウェア		位置	1-10, 1-12, 9-1
起動	3-15	接続	9-2
設定	3-17	USB レガシー サポート	9-3, 13-1
通知領域へのアイコンの追加	3-15		
Quick Tile	3-19	V	
R		VGA	3-8
RAM (ランダム アクセス メモリ)	8-13	W	
RJ-11コネクタ	1-11	Windows Media Player	4-8
RJ-45コネクタ	1-11	Windows XPの緊急セキュリティ アップデート	12-23
ROMPaq	14-3	Windows アプリケーション キー	1-7
		Windows管理者パスワード	
		「パスワード」を参照	
		Windows ファイアウォール	12-2, 12-21
		Windowsユーザ パスワード	
		「パスワード」を参照	

Windowsロゴキー	1-7	か	完全なローバッテリ状態
WinDVD Creator		概要	2-24
「InterVideo WinDVD Creator Plus」 を参照		復帰	2-25
あ		管理者パスワード	
アセットタグ	12-19	「パスワード」を参照	
アプリケーション		外部AC電源	2-16
「ソフトウェア」を参照		画面の輝度	3-7, 3-9
インターネット接続ファイアウォール	12-21	キー	
ウィルス対策ソフトウェア	12-20	「ボタン」、「ディスプレイスイッチ」も参照	
オーディオ機能	4-1	[fn]	1-7, 3-11
オーディオケーブル	4-5	[num lock]	3-11
オーディオ出力コネクタ		Windowsアプリケーション	1-7
位置	1-10, 4-2	Windowsロゴ	1-7
使用	4-3	テンキー	1-7, 3-10
オーディオ入力コネクタ		ファンクション	1-7
位置	1-10, 4-2	キーボード、USB	9-2
使用	4-3	キーボード、外付け	3-10
オーナシップタグ	12-19	規定情報	
オプティカルディスク		規定ラベル	1-16
「CD」、「DVD」を参照		無線認定/認証ラベル	1-16
オプティカルドライブ		モデル認定/認証ラベル	1-16
「CD」、「DVD」、「ドライブ」も参照		緊急停止手順	2-12
挿入	5-11	空港のセキュリティ装置	5-2
ディスクの挿入	5-13	空港のセキュリティの影響を受けるドライブメディア	5-2
ディスクの取り出し	5-15	ケーブル	
取り出し	5-12	ネットワーク	10-7
オペレーティングシステム	12-21	モデル	1-15, 10-1
Microsoft Certificate of Authenticity		コード、電源	
ラベル	1-16	「ケーブル」を参照	
シャットダウン	2-9	固定ネジ	
セキュリティ	12-1	マルチベイIIへの取り付け	5-8
パスワード	12-4	コネクタ	
プロダクトキー	1-16	「ポート」も参照	
温度		RJ-11	1-11
仕様	A-1	RJ-45	1-11
バッテリパック	2-32	Sビデオ出力	1-12, 4-5, 4-6
音量ボタン	1-6, 4-1, 4-4	オーディオ出力	1-10, 4-2, 4-3
		オーディオ入力	1-10, 4-2, 4-3
		電源	1-9

トラベルバッテリ	1-14	スマートカード	
ドッキング	1-14	挿入	12-25
コンパートメント		取り出し	12-26
「ベイ」も参照		スマートカードリーダー	
メモリ	8-1	位置	1-12
メモリ モジュール	1-14	使用	12-24
コンポジット ビデオ	3-8	スリープ ボタン	2-12
コンポジット ビデオ アダプタ	4-5	スロット	
さ		PCカード	1-12
サービス タグ	1-16	SDカード	1-12, 7-1
システムROM (Read Only Memory)		スマートカードリーダー	1-12
現在のバージョンの確認	14-2	セキュリティ ケーブル	1-11
定義	14-1	静電気 (ESD)	5-2
システム情報		製品名と製品番号、ノートブック コ	
ホットキー	3-7, 3-9	ンピュータ	1-16
システム情報の管理	12-19	赤外線	11-16, 11-17
[システムの復元] ポイント	14-8	赤外線ポート	1-8
システムのロック	1-5, 2-2	セキュリティ機能	12-1
湿度の仕様	A-1	セキュリティ パスワード	2-14
周辺光センサ		セキュリティ ロック ケーブル	12-31
オン/オフの切り替え	3-18	セキュリティ ロック ケーブル用ス	
ホットキー	3-7, 3-9, 3-18	ロット	1-11
仕様		接続に関する問題、モデム	10-5
作業環境	A-1	外付けモニタ ポート	1-9, 4-7
定格入力電源	A-2	ソフトウェア	
シリアル番号	12-19	PCカード	6-1
シリアル番号、ノートブック コン		USBデバイス	9-2
ピュータ	1-16	インストール	4-9
シリアル ポート	1-10	ウイルス対策	12-20
自動再生機能	4-10	サポート	4-8
自動実行	4-9, 4-10	セキュリティ機能	12-1
スイッチ、ディスプレイ	1-5	バージョン方法のホットキー	3-9
スクロール ゾーン、タッチパッド	1-4, 3-2	ファイアウォール	12-2, 12-21
スクロールの設定	3-5	モデム	10-7
スタンバイ		ソフトウェアの更新	14-1
概要	2-4	ROMPaq	14-3
起動	2-6, 2-10	SoftPaq	14-3
赤外線転送中の防止	11-17	インターネットからの最新ROMの	
復帰	1-5, 2-2, 2-10	入手	14-3
ホットキー	3-7	システムROMのバージョンの確認	14-2
スタンバイからの復帰	2-10	ソフトウェア パッケージの確認	14-3
スピーカ、内蔵	4-1, 4-3		

た

ターミナル エミュレーション 10-7

タッチパッド 3-2

位置 1-3

使用 3-3

スタンバイからの復帰 2-10

タップの有効化 3-5

タッチパッドのスクロール ザーン 1-4, 3-2

タッチパッド ボタン 1-3, 3-2

ダイヤル設定 10-5

ダイヤル トーン 10-6

地域設定

DVD 4-10

モデム 10-4, 10-5

著作権に関する警告 4-8

通気孔

1-12, 1-13

定格入力電源の仕様 A-2

停止手順、緊急 2-12

テレビ、接続 4-5

テンキー

「テンキー、外付け」、「テンキー、内蔵」を参照

テンキー、外付け

Num Lockのオンまたはオフ 3-13

概要 3-10, 3-13

使用 3-13

テンキー、内蔵

位置 1-7

概要 3-10

キーの機能の切り替え 3-12

使用 3-11, 3-12

有効/無効の切り替え 3-12

ディスク、オプティカル

「CD」、「DVD」を参照

ディスプレイ

画面の切り替え 3-7

電源切断 2-9

表示画面の切り替え 3-8

ディスプレイスイッチ 1-5, 2-3, 2-12

ディスプレイリリース ラッチ 1-8

データの保護 14-6

電源

2-3

「バッテリ パック」、「ハイバネー

ション」、「緊急停止手順」、「スタンバイ」も参照

切り替え 2-16

バッテリの節電 2-30, 6-4

電源オプション 2-12

[電源オプション] ウィンドウ 2-13

電源コード 1-15

「ケーブル」も参照

電源コネクタ 1-9

電源/スタンバイ ボタン 1-5, 2-2

電源/スタンバイ ランプ 1-1, 2-1, 2-3

電源設定 2-8, 2-14, 2-15

電源投入時パスワード

「パスワード」を参照

[電源メーター] アイコン 2-13

電話回線の種類 10-5

トラブルシューティング

国外での接続に関する問題 10-5

ロックされたシステム 1-5, 2-2

トラベルバッテリ 2-17

トラベルバッテリ コネクタ 1-14

ドッキング コネクタ 1-14

ドライブ、PCカード 6-1

ドライブ

「CD」、「DVD」、「ハード ドライ

ブ」も参照

空港のセキュリティによる影響

5-2

種類 5-1

送付 5-2

追加 5-1

取り扱い上の注意 5-1

な

内蔵マイク 1-10, 4-2

ネットワーク ケーブル

概要 10-7

接続 10-8

ノートブック コンピュータ情報への

アクセス 14-2

ノートブック コンピュータの情報		2-32
環境の仕様	A-2	2-17
無線認定/認証ラベル	1-16	2-29
モデム認定/認証ラベル	1-16	2-22
ノートブック コンピュータの電源切 断	1-5, 2-2, 2-8	2-17
ノートブック コンピュータの電源投 入	2-8	2-33
ノートブック コンピュータの持ち運 び		2-21, 2-26
バッテリ パックの温度の確認	2-32	3-7, 3-9
は		2-22
ハードウェア情報のホットキー	3-9	2-20
ハードドライブ		2-30
DriveLockによる保護	12-12	2-26
マルチベイIIへの挿入	5-9	2-27
メイン ハードドライブの取り付け	5-4	2-20
ハードドライブ ベイ	1-13	2-16, 2-32
ハイバネーション		2-23
概要	2-5	ローバッテリ状態
起動	2-6, 2-11	2-23
ハイバネーション ファイル	8-13	バッテリ パック、トラベル
必要なファイルの空き領域	8-13	バッテリ パックのシリアル番号
復帰	1-5, 2-2, 2-11	12-19
有効化	2-6	バッテリ パック、メイン
ハイバネーションからの復帰	2-11	確認
ハイバネーションの起動	2-11	概要
ハイバネーション ファイル	8-13	充電
ハブ、USB	9-2	装着
バッテリ固定ラッチ	1-14	取り外し
バッテリ残量の表示		バッテリ ベイ、メイン
画面表示	2-22	1-13
正確な充電情報	2-22	バッテリ ランプ
読み方	2-23	1-2, 2-2, 2-20
バッテリ電源		バッテリ リリース ラッチ
「バッテリ パック」も参照		1-13
ノートブック コンピュータの実行	2-16	パスワード
バッテリ パック		HP管理者
LAN節電モード	2-31	12-7
位置の番号	3-9	セキュリティ
位置		2-14
使用		標高の仕様
プレゼンテーション モード		A-1
概要		表示画面、ディスプレイの切り替え
設定		3-7, 3-8

プロセッサ パフォーマンスの制御	2-15	赤外線	1-8, 11-16
プロダクトキー	1-16	外付けモニタ	4-7
ヘッドフォン	4-3	モニタ、外付け	1-9
ヘッドフォンコネクタ		ポートリプリケータ	
位置	1-10, 4-2	USBレガシー サポートの有効化	13-7
使用	4-3	識別情報	13-4
ペイ		ま	
「コンパートメント」も参照		マイク	4-3
ハードドライブ	1-13	マイクコネクタ	
ホットキー		位置	1-10, 4-2
概要	3-6	使用	4-3
画面の切り替え	3-8	マイク、内蔵	1-10, 4-2
クイックリファレンス	3-7	マウスの設定	3-5
外付けキーボードでの使用	3-10	マルチペイII	
電源オプションの変更	2-12	位置	1-10
ボタン		オプティカル ドライブの挿入	5-11
「バッテリリリースラッチ」、 「ディスプレイスイッチ」、「キー」 も参照		固定ネジの取り付け	5-8
Info Center	1-6, 3-14	ハードドライブの挿入	5-9
Presentation Mode	1-6, 3-14, 3-16	マルチペイ、外付け	9-3
Quick Launch	3-14	ミュートボタン	4-4
音量	1-6, 4-1, 4-4	ミュートランプ	1-2
タッチパッド	1-3, 3-2	無線LAN	
電源/スタンバイ	1-5, 2-2	確認	11-1, 11-3
ポインティングスティック	1-3, 3-2	使用	11-6
ミュート	4-4	接続	11-4
無線	1-6	トラブルシューティング	11-9
ポインティングスティック		無線LANラベル	1-16
位置	1-3, 3-2	無線認定/認証ラベル	1-16
キャップの交換	3-4	無線ボタン	1-6, 11-12
使用	3-4	無線ランプ	1-1
ポインティングスティックボタン	1-3, 3-2	名刺ホルダ	1-13
ポインティングデバイスの設定	3-5	メモリモジュール	
ポート		アップグレード	8-1, 8-7
「コネクタ」も参照		概要	8-1
1394	1-12	追加	8-2
USB	1-10, 1-12, 9-1	取り外し	8-4
シリアル	1-10	メモリモジュールコンパートメント	
		1-14, 8-1	
		モデム	
		接続	10-2
		接続に関する問題	10-5

ソフトウェア	10-7	ラベル	
ダイヤルトーン	10-6	Bluetooth	1-16
地域設定	10-4, 10-5	Microsoft Certificate of Authenticity	1-16
モデム アダプタ	1-15, 10-3	規定	1-16
モデム ケーブル		サービス タグ	1-16
確認	1-15	無線LAN	1-16
概要	10-1	無線認定/認証	1-16
接続	10-2	モデム認定/認証	1-16
モデム認定/認証ラベル	1-16	ランプ	
モニタ、外付け		Caps Lock	1-2
接続	4-7	IDE ドライブ	1-2, 5-3
ディスプレイの切り替え	3-8	Num Lock	1-2, 3-11
表示画面の切り替え	3-7, 3-8	電源/スタンバイ	1-1, 2-1, 2-3
モニタ ポート、外付け	1-9, 4-7	バッテリ	1-2, 2-2, 2-20
や		ミュート	1-2
ユーザ パスワード		無線	1-1
「パスワード」を参照		ローバッテリ状態	
ら		外部電源による解決方法	2-24
ラッチ		充電済みのバッテリ パックによる	
「ボタン」、「ディスプレイ スイッ		解決方法	2-25
チ」も参照		対処	2-23
ディスプレイ リリース	1-8	電源が利用できない場合の解決方	
メインバッテリ固定	1-14	法	2-25
メインバッテリ リリース	1-13	ハイバネーション、終了できない	
		場合	2-25